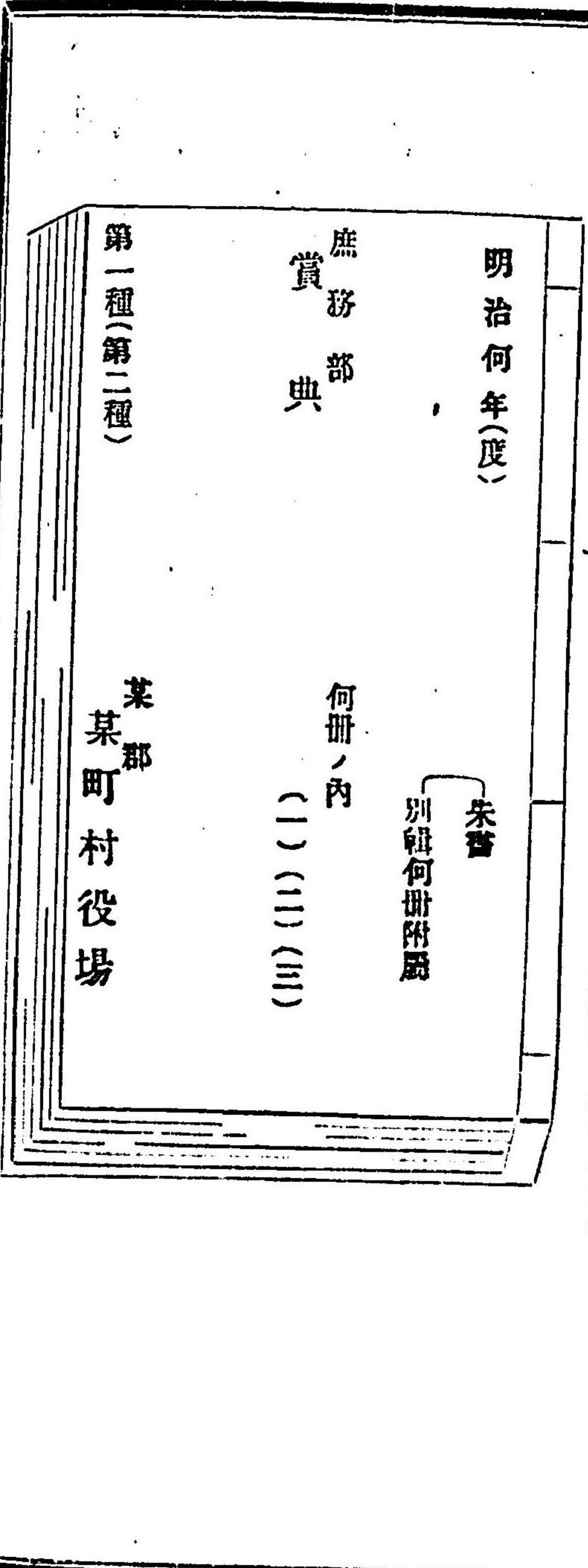


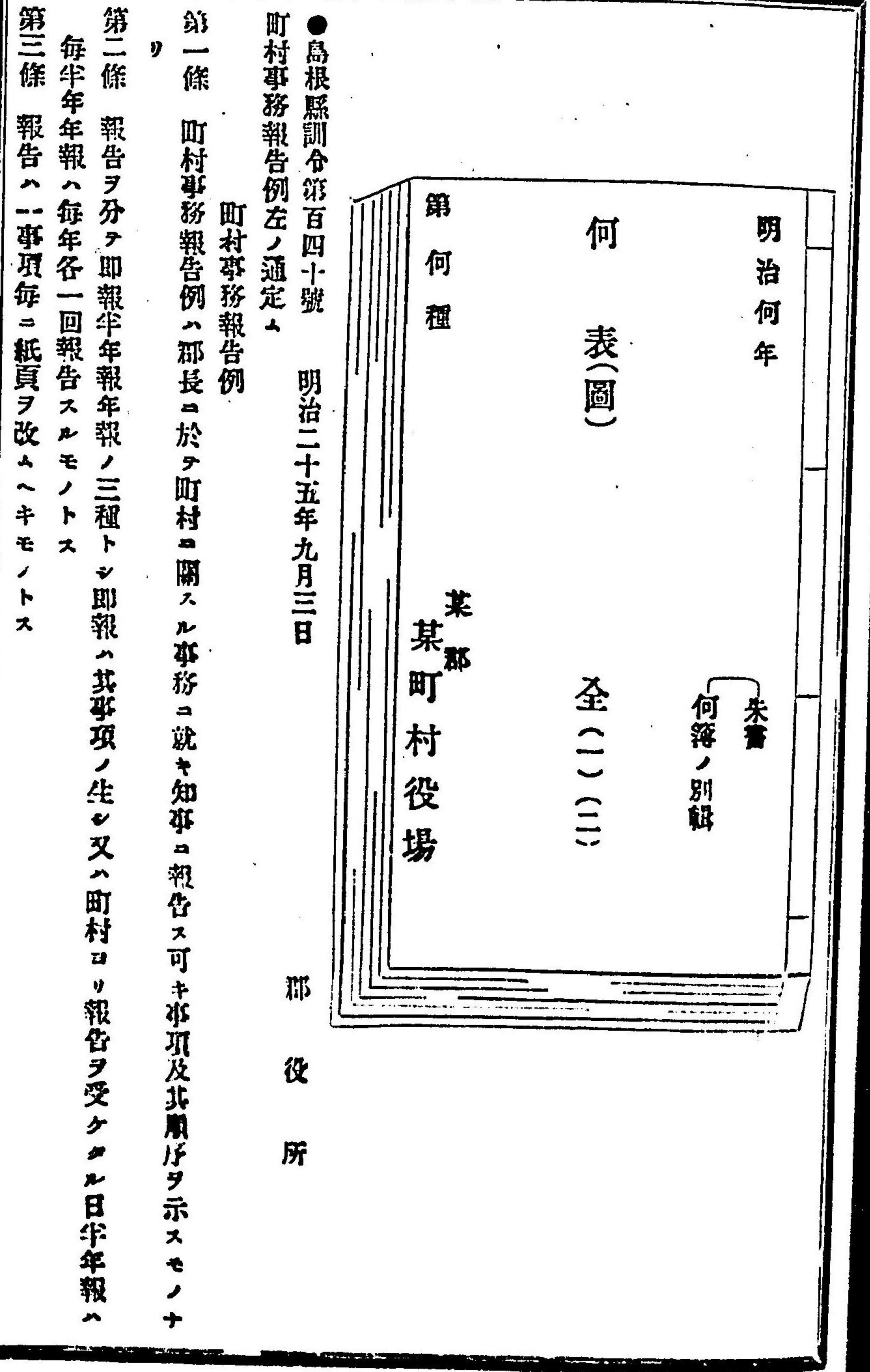
郡役所訓令訓示
 市町村公告
 諸契約書
 機密文書
 庶務
 帝國議會及縣會議員
 市町村條例規則
 基本財産
 救恤
 例規(庶務ニ關シ將來例規トナルモノヲ編纂スルモノトス) 雜款
 社寺
 明細帳 例規 雜款
 兵務
 徵兵 兵籍 馬籍 徵發 召集 例規 雜款
 戶籍
 戶籍表 戶籍異動 寄留 例規 雜款
 農工商
 農業 工業 商業 統計 例規 雜款
 學務
 小學校 教員及學務委員 小學校基本財産 統計 例規 雜款
 衛生
 市町村會議員
 市町村會議決
 市町村吏員
 行旅病人死亡人
 市町村歲入出預算決算
 市町村會議事錄
 賞典
 統計

傳染病 貧民救濟 死亡者 墓地其他 埋火葬 統計 例規 雜款
 土木
 道路橋梁 治水堤防 統計 例規 雜款
 地理
 地籍 土地水面 市町村地圖 例規 雜款
 稅務
 土地臺帳 地租 船車 國稅(地租船車ノ稅ヲ除ク) 地方稅中營業稅雜種稅 地方稅中地租割戶數制
 町村稅
 會計
 國稅收支証書 地方稅收支証書 市町村費 同收入証書 同支出証書 市町村費經濟物品
 雜部金 同收支証書 例規 雜款
 部門中官報以下機密文書マテハ各主務ニ分別セシテ編纂スルモノトス
 繼年期事業又ハ一事業ニシテ夥多ノ文書アルモノハ前項ノ部目ニ依テス別ニ其事件トシテ編纂スルコトヲ得
 區ノ出納及會計ニ關スルモノハ分別ニテ編纂スルモノトス
 第七條 處理完結ノ文書ハ七日以内ニ各主掌者ニ於テ其欄外ニ保存期限、部目ヲ記シ文書主掌者(一ノ條ニ於テハ本條ニ依リテシテ)ニ移付スルモノトス(町村ニ於テハ本條ニ依リテ處理完結ノ文書ハ各主掌者ニ於テ其欄外ニ保存期限ヲ記シテ)
 第八條 文書主掌者ニ於テ前條ノ文書ヲ受ケタルトキハ五日以内ニ第六條ニ依リ假綴シ翌年首クハ翌年度三ヶ月以内ニ之ヲ編纂シ文書目錄ヲ作り市長町村長ノ檢閱ヲ受ケルモノトス(町村ニ於テハ本條ニ依リテ處理完結ノ文書主掌者ニ於テ檢閱ヲ受ケタルモノトス改ムルコトヲ得)
 第九條 文書ハ文書主掌者ニ於テ書庫又ハ書匣ニ設置シ嚴重保管スルモノトス
 第十條 文書主掌者ニ移付シタル文書ノ必要アルトキハ該主掌者ニ就キ借覽スルモノトス

第十一條 保存期限ヲ舉リタル文書ハ文書主宰者ニ於テ其書目年號(會計年度ニ係ル)ヲ別記シ各主宰者ニ協議
 ヲ經テ市長町村長ノ裁決ヲ受ケ文書目錄ニ何年何月廢棄ト朱記シ文書中ノ印章等他ニ移用ス可キ處アルモ
 ノハ塗抹或ハ截斷シテ之ヲ物品會計主宰者ニ交付スルモノトス
 第十二條 文書ハ毎年七月一日ヨリ九月三十日迄ノ間ニ於テ文書目錄ニ對照點檢シテ隱書ヲ爲シ又平素藏置
 ノ文書ヲ整頓シ蠹魚ノ蝕害濕氣ノ浸入等ヲ厚ク豫防スルモノトス
 第十三條 各種ノ帳簿名簿類モ此規程ニ準シ取扱ヒ日常所要ノモノヲ除クノ外文書主宰者ニ於テ保管スルモ
 ノトス
 第十四條 此規程施行以前ニ係ルモノハ成ルヘン本規程ニ據リ漸次整理スルモノトス



廿六年訓令
 第十四號
 廿四年訓令
 第七號
 廿三年訓令
 第九號
 廿二年訓令
 第十五號
 廿一年訓令
 第二十四號



●島根縣訓令第四百十號 明治二十五年九月三日 郡役所
 町村事務報告例左ノ通定ム
 町村事務報告例
 第一條 町村事務報告例ハ郡長ニ於テ町村ニ關スル事務ニ就キ知事ニ報告ス可キ事項及其順序ヲ示スモノナ
 リ
 第二條 報告ヲ分テ即報半年報年報ノ三種トシ即報ハ其事項ノ生シ又ハ町村ヨリ報告ヲ受ケタル日半年報ハ
 每半年年報ハ毎年各一回報告スルモノトス
 第三條 報告ハ一事項毎ニ紙頁ヲ改ムヘキモノトス

●第三類 ○市町村吏員及事務

第四條

- 一 町村境界ノ變更及其財産處分ニ關スル郡參事會議決ノ要領並變更ニ係ル戶口繪圖及一筆限リノ反別地種地目地價地租
- 二 町村ノ境界爭論ニ關スル郡參事會議決ノ要領及境界ニ變更ヲ生シタルトキハ其變更ニ係ル戶口繪圖及一筆限リノ反別地種地目地價地租
- 三 選舉ノ効力ニ關シ郡參事會ニ付シ處分ヲ行ヒタルトキ及選舉又ハ當選ヲ取消シタルトキ其要領
- 四 町村會若クハ町村長ノ裁決ニ服セラルル諸願ニ對スル郡參事會議決ノ要領
- 五 收入役ノ撰任ヲ認可セラルトキ其事由
- 六 町村長又ハ助役ヲシテ收入役ノ事務ヲ兼掌セシムル許可ノ要領
- 七 町村制第六十八條二項ノ一ニ關スル町村長ノ意見ニ依リ再議ニ付シタル事項又ハ郡役所ノ指揮及郡參事會議決ノ要領
- 八 町村助役分掌ノ事項及其人名
- 九 町村長助役及收入役ノ給料ヲ郡參事會ノ議決ニ付シタルトキ其事由及確定額
- 十 町村長助役ノ報酬及給料額
- 十一 町村制第十六條及第五十八條ノ處分若クハ議決ノ要領
- 十二 郡參事會ニ於テ町村會ニ代テ議決シタル事項及事由
- 十三 町村吏員懲戒處分ノ要領
- 十四 町村吏員及使丁ノ賠償ニ關スル郡參事會議決ノ要領
- 十五 町村長助役ノ就任退任及死亡
- 十六 區ヲ設ケタルトキ其數及區名
- 十七 村町債募集及借入ニ關スル件內務大臣ノ許可ヲ得テ借入シタルトキ其金額

- 十八 町村費ノ支出額ヲ定額豫算表ニ加ヘ又ハ臨時支出セシメタルトキ其金額及事由
- 第五條 左ノ事項ハ半年報トシテ報告スヘシ
 - 一 町村基本財産調 (別紙表式) 十一月末日
 - 第六條 左ノ事項ハ年報トシテ報告スヘシ
 - 一 町村費收支決算額 (別紙書式) 八月末日
 - 二 町村會議員撰舉調 (別紙表式) 三月二十日
 - 三 町村收入滞納處分調 (別紙表式) 七月末日
 - 第七條 第四條ニ依リ既ニ報告セシ事項中爾後増減變更ヲ生シシモノ又ハ町村役場ニ係ル風水火災盜難其他變災等ハ其都度報告ス可キモノトス

町村財産調 (明治何年九月末日現在)

郡名	町村名	土地反別建物坪數		穀物數		株券		預金	貸付金	現金	會台	計
		全價格	全價格	全價格	全價格	全價格	全價格					
何	何											
計	何											
何	何											
何	何											

總計	郡										
	何村	何村									

一 每年三月及九月末日ノ現在ヲ調査スルモノトス
 一 町村名ハ基本財産ヲ所有スル町村ノミヲ記入スヘシ
 一 土地、建物、穀物、公債證券、株券、其他諸品共其種類ヲ細別スルハ及ハス其價格土地ハ比隣同等地ノ賣買
 實價^{土地}ハ見積^{建物}價^{穀物}ハ評價^{公債證券}及^{株券}ハ時價、其他諸品ハ其品物ニ應^{時價}及^{評價}ノ以テスヘシ
 一 合計ハ土地、建物、穀物、公債證券、株券、其他諸品ノ價格及預金、貸附金、現金ノ合高ヲ記入スルモノトス
 明治何年度某郡^{町村}町村費收支決算額調

第一
 収入ノ部
 應 名

一金
 内 譯
 財產ヨリ生スル收入
 使用料及手数料
 雜收入
 前年度繰越金
 地方稅補助金
 寄附金

一金
 内 譯

一金
 内 譯
 但人夫若干人
 但物品若干點
 支出ノ部
 町村公債

國庫交附金
 地方稅交附金
 町村稅

地價割
 制限外課稅
 町村内區費
 營業割
 戶別割
 反別割
 所得稅附加稅
 何稅附加稅
 夫 役
 現 品

●第三類 ○市町村吏員及事務

一金	町村役場費	町村内區費	土木費	臨時費	教育費	衛生費	救育費	警備費	勸業費	諸稅及負擔	町村公債費	雜支出	基本財産編入	明治何年度某郡幾町村村費收支決算額調	第二	收入ノ部	一金
----	-------	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-----	--------	--------------------	----	------	----

四〇〇

一金	財産ヨリ生スル收入	雜收入	前年度繰越金	地方稅補助金	寄附金	各町村へ負擔額	何々	支出ノ部	內譯	金
----	-----------	-----	--------	--------	-----	---------	----	------	----	---

(内譯第一書式ニ準ス)

- 第一書式ハ各町村費及第二書式ニ屬セサル町村組合費ヲ每郡ニ調査スルモノトス
- 全書式中組合町村費ヲ算入スルハ各町村へ負擔セシムルモノハ收入部ニ於テハ各町村負擔額ノ目ヲ設ケ
スシテ各町村ニ於テ實際收入ノ科目ニ從フヘシ又支出部ニ於テハ各町村ノ支出科目即負擔ノ目ヲ存セス
シテ組合町村決算ノ科目ニ據リ表出シ彼是重複セサルヲ要ス尤モ第二書式取調書ニ調査スル組合費ノ負
擔額ハ尙負擔ノ科目ヲ存シ掲表スルモノトス
- 但二郡以上ニ跨ル組合費ハ各町村負擔額ヲ標準トナシ收入支出共各郡ニ分割シテ調査スルモノトス
- 第二書式ハ郡役所轄内全町村ニ涉ル町村組合費ヲ調査スヘキモノトス
- 全書式中各町村負擔額ハ第一書式取調書ノ金額ト重複スルモノトス
- 收入支出ノ科目ハ町村歳入歳出豫算表ノ款項ニヨリ
- 地租制限外賦課金、臨時費支出町村内ノ區ニ屬スル町村費ノ收入支出ハ各科目ノ内譯ニ表出スヘシ

●第三類 ○市町村吏員及事務

一〇七

七 地方稅補助金、國庫交附金、地方稅交附金等の縣廳より交附ノ金額を對比スヘキモノハ付若シ對比セシル事由アルトキハ表尾ニ附記スルヲ要ス

町村會議員撰舉調

(明治何年十二月三十一日現在)

種別	會議員數	撰舉權有者數	姓名
町會		華族 士族 平民	
村會		華族 士族 平民	
町村總會			
總計			

會數ハ開會ノ度數ニアラス設置ノ數ナリ

- 一 町村總會ハ町村制第十六條ニ依リ數町村全部ノ事務處辨ノ爲メ設置スル者ヲ指シヘシ
- 一 町村總會ハ町村制第三十一條ニ依テ設置スルモノヲ指シヘシ但シ其職員數ハ掲載スルニ及ハス
- 一 議員ハ撰舉權ヲ有スル者ノ内ニ包含スルモノトス
- 一 學事組合會及町村内ノ區會ハ設置ノ會數議員等調査スルコト及ヘズ
- 一 撰舉權ヲ有スル者ノ調ハ十二月三十一日ノ現在ニ據リ難キモノハ其年最近調査ノ現在數ヲ掲載シ其月日ヲ説明スヘシ

●島根縣訓令第四十八號

明治二十六年四月二十二日

郡役所

●島根縣訓令第九十五號 明治二十七年五月九日

●島根縣訓令第九十九號 明治二十七年五月九日

明治二十五年 島根縣訓令第四百四十號町村事務報告例中町村收入滯納處分調表式別紙ノ編改正ス

町村收入滯納處分調第一

明治何年度

町名

地價割	戶別割	營業割	何々	合計	賣却ノアル物件			買上タル物件			貸通	貸主ノ金額	借主ノ金額	差引ノ金額	滞納者ノ金額
					土地	家屋	動産	土地	家屋	動産					

町村收入滯納處分調第二

明治何年度

町名

●第三類 市町村吏員及事務

四〇二

合計

四〇四

備考

- 一 第一表督促令狀ヲ發シタル税額人員ハ差押前完納ノモノ以下ノ税額人員ヲ合計シタル員數ト符合スヘキモノナルヲ以テ若シ本表區畫ノ事項ニ洩レタルモノアルトキハ適宜區畫ヲ設ケテ之ヲ記入スヘシ
 - 一 他管廳ニ處分ヲ囑託セシモノハ事項ノ區別ニ從ヒ總テ其相當ノ區ニ記入スヘシ
 - 一 人員ハ成ルヘシ重複セサルコトニ注意シ一人ニシテ二目以上ノ税金ヲ滯納セシモノ又ハ滯納處分ニ依リ其幾分ハ通貨ヲ差押ヘ其幾分ハ財産ヲ賣却シ或ハ其幾分缺損ニ屬セシモノ、如キハ其一方ノ人員ヲ墨書シ他ハ朱書スヘキモノトス
 - 一 土地ハ地目段別、家屋ハ棟數ヲ掲ケ動産ハ品目箇數又ハ何々外幾品ト記載スヘシ
- 島根縣訓令第四百四十四號 明治二十七年八月十六日 郡役所
- 明治二十五年九月島根縣訓令第四百四十號町村事務報告例中左ノ如ク改正ス
- 第二條 報告ヲ分テ即報年報ノ二種トシ即報ハ其事項ノ生シ又ハ町村ヨリ報告ヲ受タル日年報ハ毎年一回報告スルモノトス
- 第四條 第一及第二中一筆限リノ五字ヲ刪除シ左ノ但書ヲ加フ
- 但官有地ハ字地番反別地種地目ヲ記シタル一筆限取調帳ヲ添付スヘシ
- 第五條 ヲ刪除ス
- 第六條 ヲ左ノ如ク追加ス
- 四 町村基本財産調 (別紙表式)五月末日
- 町村基本財産調表式初行明治何年ノ下九ノ一字及同記載例第一項三月ノ下及九月ノ三字ヲ刪除ス
- 島根縣訓令第四百四十一號 明治二十五年九月三日 郡役所 市役所 町村役場

廿七年訓令
第四百四十一號
五號發照

市町村行政事務報告例左ノ通定ス

市町村行政事務報告例

- 第一條 市町村行政事務報告例ハ市參事會ニ於テ市行政事務ニ就キ知事ニ町村長ニ於テ町村行政事務ニ就キ郡長ニ報告ス可キ事項及其順序ヲ示スモノナリ
- 第二條 報告ヲ分テ即報年報ノ三種トシ即報ハ其事項ノ生シタル日半年報ハ半年年報ハ毎年各一回報告スルモノトス
- 第三條 報告ハ一事項毎ニ紙頁ヲ改ム可キモノトス
- 第四條 左ノ事項ハ即報トシテ報告ス可シ
- 一 市役所町村役場印鑑
 - 二 市參事會員町村長助役及收入役職印檢印若クハ實印々鑑
 - 三 市町村會議員選舉執行ノ公告
 - 四 町村會議員選舉分會ヲ設ケルトキ其事由及場所
 - 五 市町村會議員選舉錄本
 - 六 市町村會議員ノ退任及死亡
 - 七 市町村會開閉及場所事由及其議決裁決ノ事項
 - 八 議員三分ノ二以上ニ充テスル議決シタルトキハ其事由
 - 九 名譽職市參事會員ノ選舉効力及資格要件ノ有無ニ關スル市參事會ノ議決
 - 十 市町村稅及營造物並財產ニ關スル訴訟ノ裁決
 - 十一 市參事會町村長ノ意見ヲ以テ市町村會議決ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議ニ付シタルトキ其事項及事由
 - 十二 市町村公民權ノ特免停止及市町村費增加處分
 - 十三 市町村吏員ノ身元保證金額

第三類 C市町村吏員及事務

PC五

- 十四 區ヲ設ケタルトキ其數及區名
- 十五 常設及臨時委員ヲ設ケタルトキ其組織及分掌事項
- 十六 市町村長助役名譽職市參事會員收入役及書記ノ就任退任及死亡
- 十七 市會議長及其代理者ノ就任退任及死亡
- 十八 市町村行政事務ヲ市參事會員又ハ助役ニ分掌シタルトキ其人名及事項
- 十九 市町村會議事細則
- 二十 市町村長及收入役事務引繼ノ顛末
- 二十一 市町村吏員ノ懲戒處分
- 二十二 市町村事務報告書及市町村財產明細表原本
- 二十三 例月及臨時出納検査ノ顛末
- 二十四 一時借入レ金及三年以内ノ公債ヲ募集及借入レタルトキ其金額償還期限及事由並償還シタルトキ其金額
- 二十五 市町村債募集及借入ニ關スル件内務大臣ノ許可ヲ得之ヲ借入レ又ハ償還シタルトキ其金額
- 第五條 左ノ事項ハ半年報トシテ報告ス可シ
 - 一 基本財產調(別紙表式)十一月(市)末日(町)十日
- 第六條 左ノ事項ハ年報トシテ報告ス可シ
 - 一 市町村會議員選舉調(別紙表式)三月(市)二十日(町)五日
 - 二 市町村收入滯納處分調(別紙表式)六月末日
- 第七條 第四條ニ依リ既ニ報告セシ事項中爾後増減變更ヲ生センモノ又ハ市役所町村役場ニ係ル風水火災盜難其他變災等ハ其都度報告スヘキモノトス

種別	市町村會議員選舉調	華族	士族	平民	計		員	選舉權ヲ有スル者	姓名
					華族	士族			
總計									
町會									
村會									
町村組合會									

市町村	土地反別		建物坪數		穀物數量		諸公債證		株券		其他諸品價格	預金	貸付金	現金	合計	一ヶ年收入概算
	全價格	全價格	全價格	全價格	全價格	全價格	面積	面積	面積	面積						
何市																
何町																
何村																

一 每年三月及九月末日ノ現在ヲ調査スルモノトス

一 土地、建物、穀物、公債證書、株券、其他諸品共其種類ヲ細別スルニ及ハス其價格土地ハ比隣同等地ノ賣買實價(主石竹木建物ハ評價穀物公債證書及株券ハ時價、其他諸品ハ其品物ニ應ジ時價又ハ評價ヲ以テスヘシ)

一 合計ハ土地、建物、穀物、公債證書、株券、其他諸品ノ價格及預金、貸付金、現金ノ合高ヲ記入スルモノトス

市町村會議員選舉調 (明治何年十二月三十一日現在)

第三類 ○市町村吏員及事務

町村總會

- 一 町村組合會ハ町村制第十六條ニ依リ數町村全部ノ事務處辦ノ爲メ設置スル者ヲ指シ可シ
- 一 町村總會ハ町村制第三十一條ニ依テ設置スルモノヲ指シ可シ但シ其議員數ハ掲載スルニ及ハス
- 一 議員ハ選舉權ヲ有スル者ノ内ニ包含スルモノトス
- 一 學事組合會及市町村内ノ區會ハ調査スルニ及ハス
- 一 選舉權ヲ有スル者ノ調ハ十二月三十一日ノ現在ニ據リ難キモノハ其年最近調査ノ現在數ヲ指シ其月日ヲ說明ス可シ

●島根縣訓令第九十四號 明治二十七年五月九日

郡役所

市役所

町村役場

市町村收入滞納處分調第一

明治何年度

署名

合計	何々	營業割	戸別割	地價割	金額		將促令狀差押前完ラ發シテ	納手以前完納ノモノ	差押後公告後債財產ヲ賣却公告著却決行以却シテ徵收シテモセシモノ	財產ヲ買取貨ヲ差押前完納ノモノ	上ク徵收押へ徵收シテモセシモノ	裁別所ニテ五分法第百條ニ依リ徵收シテモセシモノ	處分法第百條ニ依リ徵收シテモセシモノ	公買代價不足ノ額	
					人員	金額									

市町村收入滞納處分調第二

明治何年度

署名

合計	何々	地價割	賣却シタル物件		買上タル物件		差押ヘタル物件		裁別所ニテ五分法第百條ニ依リ徵收シテモセシモノ	處分法第百條ニ依リ徵收シテモセシモノ	公買代價不足ノ額
			土地	家屋	土地	家屋	土地	家屋			

備考

- 一 第一表督促令狀ヲ發シタル稅額人員ハ差押前完納ノモノ以下ノ稅額人員ヲ合計シタル員數ト符合スルキモノナルヲ以テ若シ本表區畫ノ事項ニ洩レタルモノアルトキハ適宜區畫ヲ設ケテ之ヲ記入スヘシ
 - 一 他管轄ニ處分ヲ關託セシモノハ事項ノ區別ニ從テ總テ其相當ノ區ニ記入スヘシ
 - 一 人員ハ成ルヘシ重複セサルコトニ注意シ一人ニシテ二日以上ノ稅額ヲ滞納セシモノ又ハ滞納處分ニ依リ其幾分ハ通貸ヲ差押ヘ其幾分ハ財産ヲ賣却シ或ハ其幾分缺損ニ屬セシモノハ如キハ其一方ノ人員ヲ墨書シ他ハ朱書スヘキモノトス
 - 一 土地ハ地目段別、家屋ハ棟數ヲ揚ケ動産ハ品目箇數又ハ何々外機品ト記載スヘシ
- 島根縣訓令第四百五號 明治二十七年八月十六日 郡役所 市役所 町村役場
- 明治二十五年島根縣訓令第四百一十一號市町村行政事務報告例中左ノ如ク改正ス
- 第二條 報告ヲ分テ即年報ノ二種トシ即報ハ其事項ノ生シタル日年報ハ毎年一回報告スルモノトス
- 第四條 第七及第十六左ノ如ク改正ス

●第三類 ○市町村吏員及事務

七 市町村會開會ノ期日場所事由及開會並其議決裁決
 十六 市町村長助役及收入役ノ退任及死亡並名譽職市參事會員及市町村書記ノ就任退任及死亡
 同條中第十二第十三第十四第十五第十八第十九ノ各項及第五條ヲ刪除ス
 第六條ニ左ノ如ク追加ス

三 市町村基本財産調 (別紙表式)(市)末日
(町)十日

市町村基本財産調表式初行明治何年ノ下九ノ一字及調査例第一項三月ノ下及九月ノ三字ヲ刪除ス
 ●島根縣訓令第四百四十四號 明治二十五年九月三日 郡役所 町村役場

廿八年訓令
 第三十六號
 參照

町村出納檢閱規程ノ通定ス

- 町村出納檢閱規程
- 第一條 郡長ハ此例規ニ依リ毎年一回部内各町村ノ出納ヲ檢閱セシム可シ
 - 第二條 郡長ニ於テ必要ト認ムル場合ニ於テハ前項ノ外臨時檢閱ヲ行フコトアル可シ
 - 第二條 檢閱員ハ郡書記ヲ以テ之ニ充ツ可シ
 - 第三條 檢閱員ハ郡長ヨリ命令狀ヲ附與スルモノトス
 - 第四條 郡長ニ於テ前項ノ命令狀ヲ附與シタルトキハ其氏名ヲ知事ニ申報ス可シ
 - 第四條 檢閱員ハ出納檢閱ヲ爲ス前ニ於テ郡長ヨリ附與セラルル命令狀ヲ其町村長ニ示スモノトス
 - 第五條 檢閱員ハ出納檢閱ヲ爲ス前ニ於テ檢閱ヲ要スル簿書ノ目錄並檢閱着手前日ノ現在金及物品圖書ヲ檢スヘシ
 - 第六條 定例ノ檢閱ハ前年度ノ歳入歳出決算ニ就キ之ヲ行フヲ例トス
 - 第七條 歳入ニ對シテハ概テ左ノ要領ニ據リ其正否ヲ檢閱スヘシ
 - 一 諸徴収金ハ町村會議決ノ賦課額及徴収方法ニ適合スルヤ否
 - 二 滯納處分法ニ依リ收入シタル金額及買上ケ品ハ正當ナルヤ否
 - 三 諸收入金ノ不納ニ歸セシ分ハ一々其處分ヲ經シヤ否
 - 四 過納若シハ誤納ノ下戻方正當ナルヤ否
 - 五 寄附金其他雜收入金ノ徴収力ハ適當ナルヤ否
 - 六 不用品拂下ノ收入金額ハ適當ナルヤ否
 - 七 豫算ニ對シテ増減アルモノハ其事由正當ナルヤ否
 - 第八條 歳出ニ對シテハ概テ左ノ要領ニ依リ其正否ヲ檢閱ス可シ
 - 一 支出ハ總テ例規及命令又ハ町村會議決ノ旨意ニ背戻セシモノナキヤ否
 - 二 支出ハ總テ正當領収人ノ領收證書ニ符合スルヤ否及其證書正當ナルヤ否
 - 三 物價ハ購入地ノ相場若シハ前年度ニ比較シ不相當ノモノナキヤ否
 - 四 年度編入違若シハ正當町村費ニ屬セサル支出ナキヤ否
 - 五 監督官廳ノ命令ニ出ツル支出ニシテ支出セサルモノナキヤ否
 - 六 豫算ニ對シテ増減アルモノハ其事由正當ナルヤ否
 - 第九條 簿記ノ調理金穀物品ノ監守財産ノ保管ニ對シテハ概テ左ノ要領ニ依リ檢閱ス可シ
 - 一 帳簿ノ調整及記簿ハ書式ニ適合スルヤ否
 - 二 金穀物品並帳簿等保護安全ナルヤ否
 - 三 金穀物品現在高ハ帳簿ニ對照符合スルヤ否
 - 四 財産ノ保存方法適當ナルヤ否
 - 第十條 檢閱員ニ於テ出納正當ト認定シタルトキハ檢閱ヲ經タル帳簿及證書種類ハ年月日檢閱済ト朱記シ官
 氏名ヲ署シ捺印ス可シ
 - 第十一條 檢閱員ニ於テ檢閱シタル事項ニ付郡長ノ命令ヲ待タズ直ニ指揮スルコトヲ得ス但法律命令ニ違ヒ
 又ハ錯誤アルコトヲ發見シ事輕微ニシテ直ニ更正シ得ヘキモノハ町村長ニ注意ヲ與フルハ妨ケナキ若シ錯

- 第三類 ○市町村吏員及事務

誤違法ノ産輕微ナラスニテ差指キ難キモノハ即時郡長ニ申報シ可シ

第十二條 檢閱員ニ於テ檢閱了リ歸隱シタルトキハ七日以内ニ檢閱ノ現況ヲ詳記シタル復命書ニ第五條ニ依リ徵シタル目録及調書ヲ添ヘ郡長ニ提出ス可シ

第十三條 郡長ニ於テ檢閱員ノ申報又ハ復命ヲ受ケタルトキハ之ヲ勘査シ違法錯誤等ノモノハ速ニ相當ノ措置ヲ爲シ其檢閱及措置ノ顛末ヲ知事ニ申報ス可シ

●島根縣訓令第三十六號 明治二十八年四月一日 郡役所 町村役場
明治二十五年九月本縣訓令第四百十四號町村出納檢閱例中左ノ通改正追加ス

第一條中毎年ノ下度ノ一字ヲ加フ
第三條二項ヲ刪除ス
第五條中現在金ノ下及物品ノ三字ヲ刪除ス
第十條ニ左ノ但書ヲ追加ス

但帳簿及証憑書類多數ナルトキハ重要ナルモノニ限リ本條ノ手續ヲ爲シ其他ハ適宜認印ヲ爲シ置シモ妨ケナシ

●島根縣訓令第五百五十七號 明治二十五年十月十九日 郡役所 町村役場
町村役場出納帳簿等例式別冊ノ通定ス

- 第一條 町村ノ出納整理ノ爲メ左ノ帳簿ヲ調製スヘシ
 - 町村費收入命令原簿 (様式第一號)
 - 町村費支出命令原簿 (様式第二號)
 - 町村費現金出納簿 (様式第三號)
 - 町村歳入内譯簿 (様式第四號)

町村歳出内譯簿 (様式第五號)
雜部金出納簿 (様式第六號)

以上諸帳簿ハ當分ノ内様式第十四號乃至第十九號ニヨルコトヲ得
現在金報告簿 (様式第七號)

町村稅徵收臺帳 (様式第八號)
夫役現品徵收臺帳 (様式第九號)

基本財產臺帳 (様式第十號)
基本財產貸預金臺帳 (様式第十一號)

町村有財產臺帳 (様式第十二號)
町村有財產貸預金臺帳 (様式第十三號)

消耗品出納簿 (様式第十四號)
備品出納簿 (様式適宜)

右ノ外町村稅及夫役現品外ノ歳入徵收臺帳、歳入滞納處分臺帳、假渡金及繰換金明細簿其他補助簿ノ調製ヲ必要トスルトキハ適宜調製スヘシ

第二條 町村内ノ區ニ屬スル歳入出及財產ニ關スル帳簿ハ此例式ニ準シ別冊ニ調製スヘシ

第三條 國稅及地方稅徵收金ニ關スル帳簿ハ別段ノ規定アルモノ、外此例式ヲ斟酌シテ調製スヘシ

第四條 徵收令狀ハ様式第十二號ヲ保令狀ハ様式第十三號ニ依リ調製スヘシ

第五條 各種帳簿ノ記帳ハ其命令又ハ出納當日ニ於テ完了スヘキモノトス

第六條 記帳ノ正誤ハ其原簿ニ朱線ニ條ヲ畫シ正字ヲ記シ置シモノトス尤後日ニ至リ員數ノ誤謬ヲ發見シタルトキハ其事由ヲ詳記シ之ヲ訂正シ誤謬ノ當日ニ遡リ正誤セサルモノトス

第七條 歳入出ニ關スル証憑書類ハ歳入歳出内譯簿ノ科目ニ區分編綴スヘキモノトス

●第三類 ○市町村吏員及事務

第八條 臨時及例月検査ヲナシタルトキハ帳簿及證書等ニ檢印シ置クヘシ

(様式第七號) (表紙)

四一四

現在金報告簿

何郡何町(村)役場

- 一 本簿ハ收入役ニ於テ日々現金ヲ調査シ町(村)長ニ報告スルモノトス
- 二 本簿ハ町村費經濟ニ屬セサル國稅地方稅徵收金及區費等ハ勿論役場ニ保管スル一切ノ現金ヲ調査スルモノトス

年月日

種	目	現在金額		町(村)長印	收入役印	摘
		町(村)費	圓			
町(村)基本財産						
町(村)有財産						
某區費						
國稅						
地方稅徵收金						
雜部金						
合計						

(様式第八號) (表紙)

明治何年度町(村)稅徵收臺帳

何郡何町(村)役場

第三類 ○市町村吏員及事務

四一五

一本簿ハ町村ノ便宜ニ依リ數冊ニ分割シ又ハ稅目毎ニ調製スルモ妨クナシ

大字何番屋敷(他町村ノモノハ郡町村名ヲ記ス)

氏名

一金何程 地價割

一金何程 營業割

計金何程 何々

一金何程 何割第何期ヨリ増

計金何程 或ハ何割追加

内金何程 何割第何期ヨリ減

差引金何程

稅目	第一期	第二期	第三期	何期	追加
地價割	何	何	何	何	
營業割	何	○	何	何	
何々	何	何	○	何	
合計	月日(徵稅令ヲ發布ノ月日)何日 何日領収 内何日領収 何々割 金何程 何日誤納又ハ他町村 ヨリ移轉ニ付還付	月日何日 何日 内何日領収 何々割 差引何圓何々割 差分ノ未納損	月日何日 何日 内何日領収 何々割	月日何日 何日領収 何々割	

第何期何々割合計 (毎期各項毎ニ區分合計ス)

月日	摘要	賦課額	増額	減額	徵收額	還付	款捐	納未	殘額
何月何日	徵稅令書ヲ發ス	五百圓			五百圓			未納	五百圓
何月何日	徵收		貳拾圓		參百圓			未納	貳百圓
何月何日	何々ニ付増							未納	貳百圓
何月何日	何々ニ付減			拾圓				未納	貳百圓
何月何日	過納又ハ他町村 へ移轉ニ付下戻							未納	貳百圓
何月何日	徵收				貳百拾貳圓	五圓		未納	貳百拾五圓
何月何日	滞納處分ノ未納損				五百拾貳圓			未納	貳百拾五圓
計	○	五百圓	貳拾圓	拾圓	五百拾貳圓	五圓	參圓	完結	○

(様式第九號) (表紙)

明治何年度夫役現品徵收臺帳

何郡何町(村)役場

第三類 ○市町村吏員及事務

一 夫役何百人		(一事業毎ニ口別トナス)	
使用目的	何道改修工事	某	所
使用場所	何拾圓一人ニ付金何錢		
見積金	内		
使用濟月日	賦課額	摘	要
何月何日	何人		納人氏名
何月何日	何人		某
計	何百人	見積金何程ヲ以テ徴収	何
何人 現人夫使用濟	此見積金何程		
内 何人 見積金ヲ以テ徴収	此見積金何程		
一 夫役何百人	此見積金何程		
(前ニ準ス)			
一 何物品何十點			
(前ニ準ス)			

(様式第十號) (表紙)

基本財産臺帳

何郡町(村)役場

一本簿ハ年度ニ拘ハラサルモノトス

土地之部															
町村名	大字	地番地目	反別地價	地租價格	編入年月日	除却年月日	摘	要	何町	何村	通計	何月何日	差引殘		
建築物之部															
町村名	所在地	大字及全地番種	目坪數	種類	用途	分價格	編入年月日	除却年月日	摘	要	何町	何村	通計	何月何日	差引殘
一價格ハ買入代價又ハ見積代價ヲ記入スルモノトス以下之ニ準ス															
何町(村)有財産編入 本町(村)何某ハ賣却															
賣却減															

第三類 ○市町村吏員及事務

公債證書之部

番號	種類	額	面	利子歩合	價格	編入年月日	除却年月日	摘要
----	----	---	---	------	----	-------	-------	----

- 一 公債證書ノ種類毎ニ區分スルモ適宜ナルヘシ
- 二 諸會社株券ノ類モ之ニ準スヘシ

積立金之部

年月日	金額	種類	摘要
何年何月何日	五〇〇〇〇		本村有金ヲ編入ス
何年何月何日	五〇〇〇〇		村費ヨリ編入ス
通計	五五〇〇〇		
何年何月何日	三〇〇〇〇		整理公債證書何百圓購入ノ爲メ支出
小計	五〇〇〇〇		何某ノ貸附金ノ内察指
差引残	二〇〇〇〇		

積立穀之部

一 積立金ノ内貸付或ハ預ケ入トナスモ本簿ニ登記セサルモノトス故ニ貸預金當帳ノ金額ト重複ス

年月日	石	數	種類	類	價	格	蓄積場所	摘要
何年何月何日	一五五〇		秬(或ハ米)		七五〇〇		某所郷藏	何々ヨリ編入
何年何月何日	四五〇〇				二五〇〇			何々ヨリ編入
通計	二〇〇〇				一〇〇〇			
何年何月何日	三〇〇〇				一五〇〇			何々ヨリ欠損
差引残	一七〇〇				八五〇〇			

- 一 本簿ハ貸附ヲ登記セサルコト積立金ニ同シ
- 二 穀物ノ種類毎ニ部ヲ分ツモ便宜ニヨルヘシ

(様式第十一號) (表紙)

基本財産貸預金穀臺帳

何郡何町(村)役場

一本簿ハ年度ニ拘ハラサルモノトス

貸附金之部

貸附年月日返済期限	子割合保証人氏名	抵	常住	所	負債主氏名
何年何月何日	何年何月何日	土地或ハ建物	何處何郡何町(村)	何	何某
何年何月何日	何年何月何日	何番地敷			
金何百圓	附	利	子	金	
内		金何拾圓	自何年何月何日分		
金何百圓	年月日返納	内	至何年何月何日分		
差引金何拾圓		差引金何拾圓			
内		内			
金何拾圓	年月日返納	金何圓	年月日納入		
差引金〇	完結	金何圓	年月日納入		
		小計金何拾圓	全日何々ニヨリ乘出		
		差引金〇	完結		

一 貸附金一歳毎ニ此例ニ依リ登記ス
二 預金及貸附費物ニ之ニ準スヘシ

(様式第十二號)

徵收令	徵收	額	書
明治何年度町(村)税第何期(追加)	一 金何程 一 金何程 一 金何程 一 金何程 一金何程	明治何年度町(村)税第何期(追加)	一 金何程 一 金何程 一 金何程 一金何程 一金何程
人納	大字何番屋敷(他町村ノモノハ郡町(村)名ヲ記入ス)	人納	大字何番屋敷(他町村ノモノハ郡町(村)名ヲ記入ス)
何町(村)長	何氏 名 印	何町(村)長	何氏 名 印
君明治何年何月何日限本町(村)収入役ニ納付スヘシ	右、領收候也	何町(村)収入役	

第三類 ○市町村吏員及事務

年月日

氏名印

一町村税外ノ歳入ニ關シ徴収合書ヲ發スルトキモ之ニ準スヘシ
(様式第十三號)

明治何年第何期町(村)税何々割

納入
大字何番屋敷(他町村ノモノハ郡町(村)名ヲ記入ス)

一金何程

滞納税金

一金何程(手数料ヲ徴スルノ規定ナキトキハ之ヲ省ク)督促合狀手数料
右金額合狀ヲ受ケタル日ヨリ何日以内ニ當町(村)收入役ニ納付スヘシ(若シ其期限ヲ過クルトキハ直ニ財産差押ノ處分ヲ爲スヘシ)

督促

年月日

何町(村)長
氏名印

一町村税外ノ収入ヲ督促スルトキモ之ニ準スヘシ

(様式第十四號) (表紙)

明治何年度町村費收入命令原簿

何郡何町(村)役場

一本簿ハ項(款)ノ内譯ニ整理スヘキモノトス
何々(款)何々(項)

月日	豫算額	命令番號	收入命令済額	命令未済額	摘要
何月何日	四五〇〇〇				豫算決定高
通計	四五〇〇〇		三〇〇〇〇	一五〇〇〇	第何期徴収金
何月何日	五〇〇〇〇				豫算追加高
通計	五〇〇〇〇		三〇〇〇〇	二〇〇〇〇	

(様式第十五號) (表紙)

明治何年度町(村)費支出命令原簿

何郡何町(村)役場

一本簿ハ目(項)ノ内譯又ハ節(目)ノ内譯ニ整理スヘキモノトス

第三類 (市町村吏員及事務)

何々(款)何々(項)何々(目)

月日	豫算額	命令番號	支出命令簿額	命令未済額	備考
何月何日	一〇〇〇〇〇				豫算決定高
何月何日			一〇〇〇〇〇		何月分給料何々(渡)
通計	一〇〇〇〇〇		一〇〇〇〇〇		
何月何日			五〇〇〇		何々何々(渡)
小計			一〇〇〇〇		何々何々(渡)
通計	一〇〇〇〇〇		二五〇〇〇		
小計			一五〇〇〇		
通計	一〇〇〇〇〇			七五〇〇〇	

(様式第十六號)

(表紙)

明治何年度町(村)費現金出納簿

何郡何町(村)役場

一本簿ハ町村ニ屬スル一切ノ現金ヲ登記スルモノコトニテ其後地方官廳及支那金ノ除クハ其ノ他ノ金ハ
 簿ニ登記セサル基本財産原資金ノ如キモノト雖トモ町村經濟ニ屬スルモノハ簿ニ登記ス
 二差引殘金ハ現在金ト符合スヘキモノトス

月日	元請額	支拂額	差引殘額	備考
何月何日	一〇〇〇〇〇			地價割(項)ノ記ス以下同シ(收入)
小計	五〇〇〇			督促手数料收入
何月何日	一〇五〇〇〇		一〇五〇〇〇	村長給料(目)ノ記ス以下同シ(支拂)
小計		五〇〇〇		議員實費辦償額支拂
通計	一〇五〇〇〇	一五〇〇〇	九〇〇〇〇	
何月何日		二〇〇〇〇		何々(費)繰替拂
通計	一〇五〇〇〇	三五〇〇〇	七〇〇〇〇	
何月何日		五〇〇〇		地價割(課)納還付
通計	二〇〇〇			村長給料過渡返納
何月何日	一〇〇〇〇			何々繰替金戻入

●第三類 ○市町村吏員及事務

小計	二二〇〇〇	五〇〇〇		
通計	一一七〇〇〇	四〇〇〇〇	七七〇〇〇	
何月何日	二〇〇〇〇			
通計	一三七〇〇〇	五七〇〇〇	八〇〇〇〇	
		一七〇〇〇		

基本財産貸附金返納
訓導給料支拂

(様式第十七號)

(表紙)

明治何年度何町(村)歳入内譯簿

何郡何町(村)役場

- 一本簿ハ項(款ノ内譯)ニ依リ整理スヘキモノトス
- 二毎款或ハ各款ヲ通シ便宜合計若クハ總計ヲ附スルモ妨ケナシ
- 三各町村ノ便宜ニ從ヒ歳入歳出ヲ一帳トナシ部類ヲ分ツモ妨ケナシ
- 四過誤納ニシテ年度内ニ還付シ歳出部ヨリ支出セサルモノハ收入済額ノ内ヨリ扣除記帳スルモノトス

何々(款)何々(項)

月	日	豫算額	収入済額	不納欠損額	豫算残額	摘要
---	---	-----	------	-------	------	----

何月何日	二〇〇〇〇				二〇〇〇〇	豫算決定高
何月何日			一五〇〇〇		五〇〇〇〇	何々何某外何名納 豫算追加高
通計	二五〇〇〇	一五〇〇〇			一〇〇〇〇〇	
何月何日			八〇〇〇〇			何々何某外何名納
通計	二五〇〇〇	三〇〇〇〇				何々何某納
小計			一一〇〇〇〇			
〇						
島						
根						
縣						
通計	二五〇〇〇〇	二六〇〇〇〇			一〇〇〇〇	
何月何日			一五〇〇〇			何某外何名過誤納還
差引残	二五〇〇〇〇	二四五〇〇〇			五〇〇〇〇	
何月何日						何某過納處分ノ未欠損
通計	二五〇〇〇〇	二四五〇〇〇		三〇〇〇	二二〇〇〇	

(様式第十八號) (表紙)

第三類 ○市町村吏員及事務

明治何年度何町(村)歳出内譯簿

何郡何町(村)役場

一本簿ハ目(項ノ内譯)ニ依リ整理スヘキモノトス尤モ豫算表ニ細節(目ノ内譯)ノ掲ケルモノハ其細節ニ依リ整理ス

二毎款或ハ各款ヲ通シ便宜合計或ハ總計ヲ付スルモ妨ケナシ

三旅費仮渡ノ如キ決算拂ニアラサルモノモ本簿ニ登記スヘキモノトス

四誤拂ニシテ年度内返納セシメ歳入ニ編入セサルモノハ支拂濟額ノ内ヨリ扣除記帳スルモノトス

何々(款)何々(項)何々(目)

月	日	豫算額	支拂濟額	豫算残額	摘要
何月	何日	一〇〇〇〇		一〇〇〇〇	豫算決定高
何月	何日		一〇〇〇〇	九〇〇〇〇	何々何々渡

何月何日

一〇〇〇〇

小計

五〇〇〇

豫算追高
何費ヨリ流用

通計

一一五〇〇

何費ニ流用

何月何日

二五〇〇〇

差引

九〇〇〇〇

〇島根縣

何月何日

一〇〇〇〇

小計

一〇〇〇〇

通計

九〇〇〇〇

何月何日

五〇〇〇

差引

九〇〇〇〇

何々過渡ニ付何々返納

(様式第十九號) (表紙)

明治何年度雜部金出納簿

何郡何町(村)役場

一本簿ハ國稅地方稅徵收金及町村歳入出ニ屬セサル行旅死亡人費、貧困患者費、上級經濟ニ寄附金其他ノ雜種金ヲ登記スルモノトス

二雜部金中科目ノ較著ナルモノアレハ其部ヲ分テ末尾ニ合計ヲ附スルモ妨ケン假令ハ行旅死亡人費、雜部ノ二部ニ分テ更ニ末尾ニ合計ヲ附スルノ類トス

三雜部金ハ歳入出金ト其性質異ナルヲ以テ年度末日ニ至レハ翌年度帳簿ニ繰越スモノトス

月 日	元 請 額	支 拂 額	差 引 残 額	摘
何月何日	五〇〇〇〇			前年度ヨリ繰越高
何月何日	二〇〇〇〇			
通 計	七〇〇〇〇		七〇〇〇〇	何費何郡役所ヨリ領収
何月何日				
通 計		三〇〇〇〇		何寄附金何郡役所納
何月何日				

要

何費何郡役所

小 計	通 計	何月何日	通 計
二〇〇〇〇	七〇〇〇〇		七〇〇〇〇
五〇〇〇〇	五〇〇〇〇		二〇〇〇〇
	二〇〇〇〇		七〇〇〇〇
	七〇〇〇〇		七〇〇〇〇

翌年度ニ繰越

訓令第百五號

明治二十二年五月二十二日

郡役所 町村役場

明治二十一年法律第一號町村制ニ據リ町村ヨリ内務大臣大臣及縣知事ノ許可若シハ認可ノ受ケ可キ書面ハ總テ郡役所ヲ經由ス可シ若シ郡長ニ於テ意見アルトキハ知事ニ上申スヘシ

訓令第百四十號

明治二十二年七月九日

郡役所

町村組合協議ノ規定ニ依リ郡長ニ管理ヲ請フモノ其組合ニ郡若シハ縣郡ノ全般ニ渉ルモノハ郡長ニ於テ直ニ之ヲ許可シテ後々之ヲ知事ニ報告スルコトヲ得

訓令第百五十三號

明治二十二年七月二十二日

郡役所

町村組合協議ノ規定ニ依リ郡長ニ於テ管理スルトキ該費出納簿冊ノ義ハ明治二十年十月訓令第百二十二號郡役所金錢物品計算簿記規程ニ據リテ限リニアラス

訓令第百二十二號

明治二十二年十二月十六日

郡役所 市役所 町村役場

官有物件ノ拂下若クハ諸稅及公儲金不納處分ノ際其財產公賣ニ方リ市町村長フシテ關係セシムルトキハ勿論市町村有物件ヲ其市町村ニ於テ公ケノ入札法ヲ以テ拂下候節ト雖モ其市町村吏員ハ之ニ投票スルコトヲ得ス
島根縣訓令第百六十一號 明治二十三年七月十六日 郡役所 市役所 町村役場
市役所町村役場印章左ノ式ニ據リ調製スヘシ

第三類 ○市町村吏員及事務

方一寸四分

島根縣
松江市
役所印

方一寸二分

島根縣
郡役所
場印

一印材適宜字休楷書又ハ捺書

●訓庶第十四號 明治二十三年八月二十五日
 市長町村長並助役ニ於テ忌服私事旅行等ノ爲メ公務ニ從事スルヲ得サルトキハ除服ハ第一次監督官廳ニ於テ之ヲ達シ旅行ハ第一次監督官廳ノ認可ヲ受クヘシ
 右訓示ス

●訓市第二七號 明治二十三年三月十七日

市町村ハ其不動産積立金數等ヲ以テ基本財産ト爲シ之ヲ維持スヘキ義ハ市制町村制第八十一條ニ制定セラルケル所ニシテ各市町村トモ目下之レカ計畫中ナルヘク而シテ復々之ヲ等閑ニ付スルモノアリサルヘシ然レトモ凡ソ財産ヲ増殖スルハ之ヲ一己人ニ比スルモ頗ル難事ニシテ果生ノ精神茲ニ在ルコトアレハ到底能ハサルトコロナリ況ンヤ市町村ニ在テハ自治創設ノ際新ニ施設スヘキ事業夥多ニシテ之レカ費途ニ苦ムノ今日ニ於テヲヤ或ハ基本財産ヲ設置スルニ限アラストナシ之ヲ等閑ニ付スルトキハ實ニ默視スヘカナルノ大事ニシテ自治制ノ基礎已ニ廢頽セリト謂フ可シ復々其發達ヲ望ム可カラサルナリ抑モ市制町村制ノ發布セラルヤ市町村ハ法律上法人ノ資格ヲ有シ自治ノ運動ヲ爲スコトヲ得以テ國ノ最下級ニ立テリ是以市町村ニシテ鞏固ナル手固隨テ鞏固ナルヲ得實ニ市町村財政ノ如何ハ國ニ重大ノ關係ヲ有スルモノト謂フヘシ爾レテ其發

郡長 市長 町村長

固ナルト否ハ主トシテ基本財産ノ多寡ニ因ラレリナシ今ヤ市町村ニシテ基本財産ヲ等閑ニ付シ備後且年々正ニ經常費額ノ一切ヲ市町村稅ニ仰カン手一度凶歉ノ災アリ郡民市町村稅ノ負擔ニ堪ヘサルトキハ將ク何ヲ以テ之ヲ支ヘン國縣郡委任ノ事務ハ之ヲ執フサルヲ得又自治ノ政亦中止スヘカラルモノアリ終ニ自治團體ハ紛擾シテ應ニ底止スルトコロヲ知ラサルヘシ是豈自治制ニ悖ルノ太甚キモノト云ハサルヘケンヤ之ニ反シ平素意ヲ基本財産ニ注キ年々之レヲ増殖シテ解テ以テ數十年ノ後ニ至ラハ市町村自治ノ發達ニシテ市町村稅ニ仰カサルヲ得サルモノナギノミナラス水旱凶荒ノ至ルアルモ毫モ痛痒ヲ感スルコトナシ市町村行政ノ機關ハ依然トシテ運轉ヲ止メス自治團體ノ内部モ亦紛亂スルノ虞ナカルヘシ於テ是手市町村ノ基礎初メテ鞏固ナルヲ得ト謂フヘシ市制町村制中基本財産ヲ設置スルノ制定アル所以蓋シ亦茲ニ外ナシナル可キナリ因是觀之基本財産ノ多寡ハ實ニ其市町村ノ利害ノミナラス國家ニ對シ重大ノ關係ヲ有スルモノナレハ各市町村ハ一層意ヲ茲ニ注キ適宜ノ方法ヲ案出シ漸次増殖ノ計畫ヲナク且暮之ヲ緩ルヘカラルヲ要ス

●訓市第四〇號 明治二十三年五月五日

町村基本財産ノ義ニ付茲者訓示セシ次第モ有之候處町村ノ申報ニ據レハ町村ニ於テ未ダ基本財産ヲ設ケサルモノ十中ノ七八ニ居リ稀ニ之ヲ設ケタルモノアルモ其額寡少ニシテ町村前途ノ經濟實ニ憂慮ニ堪ヘサルモノアリ今ニシテ而シテ之ヲ等閑ニ付シ之レカ誘導ヲ怠ルトキハ將來如何ナル不幸ニ陷ルヤモ測リ難シ故ニ郡長ハ此際町村長及町村議員等ヲ説諭シ各地適宜ノ方法ヲ示シ未ダ之ヲ設ケサルモノハ之ヲ設ケ已ニ之ヲ設ケタルモノハ益之レカ増殖ヲ計畫セシムル様精々注意ス可シ

郡長

●島根縣訓令庶第二號 明治廿七年一月十二日

町村制第六條及水利組合條例第四十一條ニ依リ募集スル公債ハ法文ノ示ス如ク町村又ハ水利組合ノ財政上

●第三類 ○市町村吏員及事務

郡役所

特ニ必要アル場合ニ限リ其他ハ務メテ之ヲ避クヘキハ勿論ノ處往々必要ナラサル負債ヲ起サントシ又ハ其財政ニ照シ過度ノ負債ヲ起サントスルモノ有之將來町村ノ財政上不都合ヲ生スルノ恐レナキ能ハサルコト付際上充分注意スヘシ若シ自今止ヲ得サルノ必要アリテ公債募集ノ議決ヲ爲シ許可ヲ稟請スルニ當テハ募集及償還ノ方法等ニ就キ精査調査ヲ遂ケ其事業ノ緩急負擔ノ堪否ニ付テハ詳細意見ヲ具陳シ尙ホ調査ノ参照トシテ募集ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ關スル議決書ハ勿論左ノ事項ヲモ無誤調査ヲ進達セシムヘシ

- 一 公債並ニ利子償還ノ財源
- 但將來収入ヲ生スヘキ事業ノ爲メ公債ヲ起シ其収入ヲ以テ償還ニ充テントスルトキハ償還期限ノ終リマテ毎年収入ノ年次見込書ヲ添付スヘキハ勿論ナリトス
- 一 公債元利償還ノ年次表(第一表)
- 一 當該年度歳入歳出豫算表
- 一 當該年度諸稅負擔一覽表(第二表)
- 基本財産ノ有無並ニ其額

負債償還年次表

(第一表)

年	度	償還元金	利子(割合)	計
何	年	度		
全		〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇
全		〇,〇〇〇	〇,〇〇〇	〇,〇〇〇

諸稅負擔一覽表

(第二表)

稅目	金額	納稅者總數	對スル平均一人當	總人口	對スル平均一人當	戶數	對スル平均
直接國稅	〇,〇〇〇						
地方稅	〇,〇〇〇						
市町村稅	〇,〇〇〇						

總人口總戶數及納稅者ノ總數(納稅者ノ總數ハ一人ニシテ直轄國稅市町村稅ヲ納ムルモノモ或ハ)ヲ備考トシテ記載スヘシ
 水利組合ニ於テ要スル負債ニ付テハ水利組合區域内ヨリ納ムヘキ諸稅目ヲ前表ニ準シ調製シ尙ホ左表添付スヘシ

費目	金額	附記
水利組合費	〇,〇〇〇	普通水利組合ニ於テハ組合内ノ總反別總地價及地價平均壹圓當並ニ出費一人ノ平均負擔額
	〇,〇〇〇	水害豫防組合ニ於テハ組合内家屋ノ總數土地ノ總反別並ニ出費一人ノ平均負擔額

●島根縣訓示庶第一號 明治二十七年一月十二日
 市制第六條及水利組合條例第四十一條ニ依リ募集スル公債ハ法文ノ示ス如ク市又ハ水利組合ノ財政上特ニ必要アル場合ニ限リ其他ハ務メテ之ヲ避クヘキハ勿論ノ處自今止ヲ得サルノ必要アリテ公債募集ノ議決ヲ爲シ許可ヲ稟請スルニ當テハ調査ノ参照トシテ募集ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ關スル議決書ハ勿論左ノ事項ヲモ無誤調査ヲ進達スヘシ

松江市長宛

(左記事項ハ二十七年訓令庶第二號ト同一ニ付答ス)

●島根縣訓令第九號

明治二十五年六月二十日

郡役所

市役所

町村役場

●第三類 ○市町村吏員及事務 ○水利組合

市町村ニ於テ維持保存スル公園地内使用及其使用料徴收等ハ舊來ノ慣行ニ依リ特ニ使用スル者ノ外ハ渾テ市町村營造物規則並使用料細則ノ規定ニ依リ取扱フ可シ

●島根縣訓令第六十九號 明治二十五年五月二十六日
某郡役所

町村長ニ訴願シ其裁決ヲ受ケタル事件ト雖トモ郡長ノ裁決ニ服セス縣知事ニ訴願スル場合ニ於テハ訴願法第二條第二項ニ依リ郡役所ノモテ經由シ町村役場ヲ經由スヘキモノニ無之ニ付若シ町村役場ニ提出スルモノアルモ之ヲ受理セサル様豫メ訓示シ置クヘシ

水利組合

●島根縣令第二十七號 明治二十五年三月三日
出雲國 石見國

明治二十三年六月法律第四十六號水利組合條例明治二十五年四月一日ヨリ施行ス

隱岐國町村 附水利土功會

●乙第七十二號 明治十五年七月三日
郡町村

町村會若クハ聯合會及土木會ニ於テ議決シタル事件ノ施行ニ付願届ノ書面ハ何年何月何日何會議ニ於テ議決ノ旨ヲ明記シ其施行者タル郡部長ノ名ヲ以テ會議ノ成議書寫ヲ添遞送可致此旨相違候事
但本年五月乙第五十四號達ハ廢止ス

●甲第七十三號 明治十七年六月二十一日
區町村會法第二條ニ據リ本縣町村會規則別冊之通相定メ本年七月一日ヨリ施行ス此旨布達候事
但從前ノ町村會ニ關スル規則達ハ總テ全日ヨリ廢止ス

八十七年甲第
八十五號全
第八十六號全
第八十七號全
第八十八號全
第八十九號全
第九十號全
第九十一號全
第九十二號全
第九十三號全
第九十四號全
第九十五號全
第九十六號全
第九十七號全
第九十八號全
第九十九號全
第一百號全

町村會規則

第一章 總則

第一條

第一條 町村會ハ町村會ヲ以テ支辨スヘキ事件及ヒ其經費ノ支出徴收方法ヲ議定ス其出ノ費目左ノ件々トス
一 戶長役場費
一 町村會費
一 土木費
一 教育費
一 衛生費
一 救助費
一 災害豫防及警備費

第二條

第二條 第一條ノ費目ハ土地ノ情況ニヨリ町村會ノ議決ヲ經テ取捨スルコトヲ得若シ別ニ費目ヲ增加セントスルコトキハ縣令ノ指揮ヲ請フヘシ

第三條 町村會ハ通常會ト臨時會トノ二類ニ別ツ定時ニ開クモノヲ通常會トシ臨時ニ開クモノヲ臨時會トス

第四條 臨時會ハ特ニ會議ヲ要スル事件ニ限リ其他ノ事件ヲ議スルヲ得ス

第五條 町村會ハ毎年通常會ノ初メニ於テ町村費ニ係ル前年度ノ出納決算報告ヲ受テ戶長ニ説明シ求ムルコトヲ得

第六條 本會ハ議員ノ正當ノ故ナク議會ニサレモノヲ審查シ退議者トナヌヲ得

第七條 町村費ノ徴收科目ハ地價割又ハ反別割營業割戸別割トス町村ノ情況ニ據リ町村會ノ議決ヲ經テ之ヲ取捨スルコトヲ得但現品又ハ夫役ヲ以テ徴收スルモ妨ケナシ

第八條 區町村會法ニ據リ戶長ヨリ縣令ノ指揮又ハ認可ヲ請フトキハ郡長ヲ經由スヘキモノトス

第九條 議員ハ俸給及旅費日當ヲ給セズ

第十條 本則ノ外議事ノ細則ヲ要スルトキハ戶長ニ於テ便宜取置之ヲ施行スルヲ得

第二章

第三類 隱岐國町村水利土功會

第十一條 町村會議員ノ數ハ其町村人口ノ多寡ニヨリ左ノ區別ヲ以テ之ヲ定ム
但議長ハ此人員外トス

人口三百人以下	五	人
全 三百人以上	七	人
全 千五百人以上	十	人

第十二條 町村會書記ハ議長ニ於テ議員外ヨリ之ヲ撰ヒ庶務ヲ整理セシム其俸給ハ會議ノ評決ヲ以テ之ヲ定メ會議費ヨリ支給ス

第十三條 議員ヲ撰舉セントムルトキハ戶長ヨリ豫メ撰舉會ヲ開クヘキ場所投票ヲ爲スヘキ時日投票書式ヲ定メ遲クモ五日以前ニ之ヲ町村ニ公告スヘシ

第十四條 撰舉ノ投票ハ當日其豫定ノ場所ニ於テ戶長之ヲ調査シ撰舉會中ノ取極ヲナスヘシ

第十五條 撰舉人ハ戶長ヨリ公告シタル書式ニ從ヒ被撰人ノ姓名及自己ノ姓名年齢ヲ記シテ投票ヲ作リ當日之ヲ戶長ヘ出スヘシ投票ハ多數ノモノヲ以テ當撰人トシ全數ノモノハ年長ヲ取リ同年ノモノハ圖シ以テ之ヲ定ム

但投票ハ代人ニ托シ差出スモ妨ケナシ若シ豫定ノ時限ニ後レ差出シタルトキハ其數ニ加フルヲ得ス

第十六條 投票終ルノ後戶長ハ撰舉人名簿ニ就キ投票ノ當否ヲ査シ撰舉人ノ内二名以上ヲシテ之ヲ披封セシメ被撰人名簿ニ付キテ當撰人ノ當否ヲ査ス若シ被撰ノ權ナキモノアルカ或ハ當撰人自シ其被撰ノ權ナキカ又ハ投票ノ日ヨリ三十日以内欠員アルトキハ順次投票ノ多數ヲ得タルモノヲ取ル

第十七條 戶長ハ當撰人ニ當撰狀ヲ交付シ受書ヲ取リ其姓名ヲ郡長ニ報告シ町村内ニ公告スヘシ

第十八條 議員ノ任期ハ六年トシ三年毎ニ全數ノ半數ヲ改撰ス第一回二年期ノ改撰ヲナスコトハ抽籤ヲ以テ其退任ノ人ヲ定ム

第十九條 前條ノ場合ニ於テハ前任ノ者ヲ再撰スルコトヲ得

第二十條 議員中若シ欠員アルトキハ更ニ之ニ代ル者ヲ撰舉ス其欠ニ代ル議員ノ任期ハ補テ所ノ先議員ノ撰出タル年ヨリ通算ス

第二十一條 縣令ヨリ解散ヲ命ジタルトキハ日數三十日以内更ニ議員ヲ改撰スヘシ

第三章 議 則

第二十二條 議員半數以上出席セザレハ當日ノ會議ヲ閉クコトヲ得ス

第二十三條 會議ハ出席議員ノ過半數ニヨリ決ス可否全數ナルトキハ議長可否スル所ニヨル

第二十四條 戶長若シハ代理人ハ會議ニ於テ議案ノ旨趣ヲ辨明スルヲ得但可否ノ數ニ入ルヲ得ス

第二十五條 會議ハ傍聽ヲ許ス但議長ノ意見又ハ議員半數以上ノ要メニヨリ傍聽ヲ禁スルコトヲ得

第二十六條 議員ハ會議ニ方リ充分討論ノ權ヲ有ス然レトモ人身上ニ就キ褒貶毀譽ニ涉ルコトヲ得ス

第二十七條 議場ヲ整理スルハ議長ノ職掌トス若シ議則ニ背キ議長之ヲ制止スルモ其命ニ順ハサル者アルトキハ議長ハ之ヲ議場外ニ退去セシムルヲ得

第四章 開 閉

第二十八條 通常會ハ每年一度四月五月兩月ノ間ニ之ヲ開ク其開閉ハ戶長之ヲ命ジ會期ハ七日以内トス

第二十九條 臨時會ノ會期ハ三日以内トス但此ヲ開カントスルトキハ其事由ヲ具シ郡長ニ報告スヘシ

聯合町村會

第三十條 聯合町村會通常會期ハ十日以内トシ臨時會期ハ五日以内トス

但縣令ニ於テ特ニ會期ヲ指定スルモノハ此限コトヲス

第三十一條 聯合町村會議員ハ聯合三ヶ町村以下ハ每町村三人四ヶ町村以上ハ二人十ヶ町村以上一人五十ヶ町村以上ハ一戶長役場所轄町村ニ一人町村會議員中ヨリ互撰スヘシ

第三十二條 聯合町村會ヲ開クヘキ町村ノ内ニ於テ町村會ヲ開カサル所アルトキハ前條互撰ノ法ヲ用キス左ノ區別ニ從ヒ議員ヲ撰舉スルヲ得

一 戸長役場所轄内ハ聯合町村ヨリ撰選ス
 二 戸長數人ノ所轄ニ涉ルトキハ前項ノ議員中ヨリ互換ス
 第三十三條 聯合町村會區域戸長數人ノ所轄ニ涉ルモノハ郡長之ヲ管理スヘシ但便宜戸長ヲシテ其評決ヲ施行セシムルコトヲ得
 第三十四條 聯合町村會議員ハ片道二里以上旅費日當ヲ支給ス其額左ノ如シ
 旅費 一日金六拾錢
 但一日十里詰六里未満ハ往返ニテ一日分ヲ給ス
 滞留日當 金三十錢
 第三十五條 前條々ニ掲ケル規則ノ外本會ニ要スル規則ハ總テ町村會規則ニ準據スヘシ
 但郡長ノ管理スル聯合町村會ニ於テ郡長ハ戸長ノ町村會ニ於ケルニ同シ
 ● 甲第八十五號 明治十七年七月十四日
 本年^六本縣甲第七十三號布達町村會規則第一條第二條第七條ヲ刪除^シ第三條ヲ第一條トシ以下順次繰上ケ候條此旨布達候事
 ● 甲第八十六號 明治十七年七月十九日
 本年^六本縣甲第七十三號布達町村會規則第二十七條中十日ヲ七日五日ノ三日ト改正^シ同條及第三十二條各但書削除ス
 右布達候事
 ● 甲第四百十三號 明治十七年十月十四日
 本年^六本縣甲第七十三號布達町村會規則第三十條ノ次ヘ左條ヲ加ヘ以下順次繰下ケ
 第三十一條 聯合町村會ハ聯合町村會ニ於テ毎町村ノ負擔割合ノミヲ評決シ其賦課徵收方法ハ各町村ニ於テ評決スルヲ得

學區衛生區
ハ自然消滅

右布達候事
 ● 甲第十號 明治十八年一月十七日
 客年^六本縣甲第七十三號布達町村會規則第二十五條中四月五月ヲ九月十月ト改メ本年九月一日ヨリ施行ス
 右布達候事
 ● 縣令第九十八號 明治二十年十月七日
 明治十七年^六甲第七十三號布達町村會規則中第二十五條及第二十七條左ノ如ク更正ス但本年^六限^リ從前ノ會期ヲ用フルコトヲ得
 第二十五條 通會^ハ毎年一度一月二月ノ間ニ之ヲ開^ク其開閉ハ戸長之ヲ命^ジ會期ハ七日以内トス
 第二十七條 郡長ニ於テ臨時會ヲ開^クトスルトキハ其事由ヲ具^シ知事ニ報告スヘシ
 ● 甲第七十五號 明治十七年六月廿一日
 區町村會法第十四條水利土功會ノ規則ハ町村會規則ヲ適用スヘシ此旨布達候事
 但此布達ハ本年七月一日ヨリ施行ス
 ● 乙第八十五號 明治十七年六月廿一日
 町村會ハ各町村ニ開設スヘシト雖トモ實地之ヲ開設スルコト能ハサルモノハ其狀況ヲ詳具シ伺出^シ此旨相達候事
 ● 乙第百一號 明治十七年八月二日
 戶長役場及教育衛生ノ各費及其事件ニ付戶長役場所轄又ハ學區衛生區ヲ各一區域トシ聯合町村會ヲ開設スヘシ
 右相達候事
 ● 乙第百四十八號 明治十七年九月九日
 郡戶長欠員或ハ旅行等ノ場合之レカ代理者ヲ書記用係生等ニ於テ町村會若ハ聯合町村會ノ議長ハ勿論議長ヲ指定スルヲモ得サル儀ト心得^シ此旨相達候事

郡 町 村
 郡 町 村
 郡 町 村

● 第三類 ○ 隱岐國町村水利土功會

但旅行之場合ニ於テハ豫メ議長ヲ指定シ置ク等實際差支ナキ様便宜處辨スヘシ

●乙第百六十九號 明治十七年十一月十四日 郡 町 村

自今郡長若クハ戸長ニ於テ聯合町村會開設ヲ要請シ又ハ報告或ハ評決ヲ不適當トシ指揮ヲ請フ場合等ニ於テハ別紙書式ニ準依スヘシ

但町村會ノ評決ヲ不適當トシ指揮ヲ請フ亦本文ニ準ス

右相違候事

△聯合會開設要請上申例

聯合町(村)會開設ノ義ニ付上申

△印ハ朱書

某費議定ノ爲メ別紙區域内各町(村)會ヲ併セ聯合會御開設相成度此段上申候也

明治何年何月何日

△聯合會開設要請上申ノ別紙

何 費

某 郡	某 町	某 村
某 郡	某 町	某 村
全 郡	右一區域	某 町
某 郡	某 村	某 村
某 村		某 町

右一區域

△臨時聯合會開設報告ノ例

臨時聯合會開設報告

明治何年度臨時某費評決ノ爲メ全何年何月何日庶達第何號御達ノ區域ニ據テ來ル何日ヨリ何日マデ臨時聯合町(村)會開設候條此段及報告候也

明治何年何月何日

△聯合會評決報告ノ例

通常(臨時)聯合會評決報告

明治何年何月何日庶達第何號御達ニ據リ通常(臨時)聯合會開設候處別紙之通評決認可候條此段及報告候也

明治何年何月何日

本文ニ添附スヘキ別紙ハ原案ヲ墨書シ評決ヲ朱記シ別紙不認可同ニ添附スヘキ書式ニ準シ唯其但書ヲ零スヘシ

△評決不認可同ノ例

聯合會評決不認可之義ニ付同

明治何年何月何日庶達第何號御達ニ據リ通常(臨時)聯合會開設候處別紙某費記載ノ何項評決ノ紙不認可原案ノ通施行致廣此段相候候也

明治何年何月何日

△評決不認可同ノ別紙

明治何年度某費豫算書

原案

一金若干

某

費

但原案金若干ト計算セシム云々(計算ハヒ不詳可ノ) 此評決

金若干

但評決金若干ト減セシム云々(評決ノ事由ヲ) 評決スヘシ)

乙第三號 明治十八年一月十六日

勸業費及其事件ニ付戸長役場所屬ノ一區域トシ各町村會ヲ併セ聯合會開設スヘシ

郡 町村

乙第七十六號 明治十八年五月九日

聯合町村會ニシテ向來評決スヘキ事件ナシ全ク不用ニ尉セシトキハ該會管理者ニ於テ解會シ其郡度開申スヘシ

郡役所 戸長役場

右相違候事

訓令第二百三十七號 明治二十年十一月廿一日

郡役所 戸長役場

町村公共ノ經濟ニ屬スヘキ共有物ニ關スル事件ハ渾テ町村會ニ評決セシムヘシ

郡 町村

十七年乙第百二十五號訓令第六號

町村會ニ於テ議定スヘキ費目ハ戸長役場所屬會議費土木費教育費衛生費救助費警察防費備費トシ其徵收科目ハ地價割反別割營業割戸別割トス町村ノ情況ニ由リ現品若クハ夫役ヲ以テ徵收スルモ妨ケナシ但費目ノ增加ヲ要スルトキハ議會ノ評決ヲ經テ指揮ヲ請フヘシ此旨相違候事

乙第百十號 明治十七年八月七日

郡 町村

本年七月本縣乙第九十五號達町村費日中整備費ノ下勸業費ノ三字ヲ挿入ス

乙第百二十五號 明治十七年八月十六日

郡 町村

本年七月本縣乙第九十五號達中反別割ノ三字ヲ削リ地價割ノ下括弧ヲ「又ハ反別割」ノ五字ヲ挿入シ但書議會ノ評決ヲ經テアルヲ戸長ヨリ直ニト改正候條此旨相違候事 但本文ニ抵觸スル從前ノ指令ハ取消ス

訓令第六號 明治十九年八月九日

郡役所 戸長役場

乙第八十六號 明治十七年六月廿一日

郡 町村

町村會規則第一條費目ニハ神社祭典費ノ如キ人々ノ申合ニ任スヘキモノヲ加フルヲ得ス此旨爲心得相違候事

郡 町村

本年六月本縣乙第八十六號達中町村會規則第一條アルヲ本年七月本縣乙第九十五號達ト改正ス

乙第百二十六號 明治十七年八月十六日

郡 町村

町村共有物取扱費ハ町村各費日中ニ屬スヘキモノトス

甲第百六十一號 明治十七年十二月一日

凡ソ官有地ハ人民ニ使用ヲ許シタルモノヲ除ク外其所在町村費ノ賦課ニ應セス其使用地ニ係ルモノハ使用人ヨリ出サシムルモノトス

但明治十六年九月本縣甲第八十五號布達ハ廢止ス

右布達候事

甲第九號 明治十八年一月十七日

町村費ハ明治十九年度以降其年四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテヲ以テ會計一週年度トス 但明治十八年度ハ全年七月一日ヨリ全十九年三月三十一日迄九ヶ月ヲ以テ一週年度トス

第三類 C 隱岐國町村水利土功會

十七年乙第百二十五號訓令第六號

右市達候事

●乙第四十七號 明治十九年四月十日

町村共有物取扱費ハ成ルヘク現在ノ町村費目中ハ屬セシムヘシト雖トモ若シ實際屬シ得カキモノ之レノ郡長又ハ戸長ニ於テ該費目ヲ必要ト認ムル場合ニ於テハ其町村費中ハ共有物取扱費ノ一費目ヲ増加スルヲ得但本文ニ抵觸スル達指令ハ取消ス

右相達候事

●訓令第百五號 明治二十年四月廿二日

郡役所及戸長役場ニ於テ便宜町村費ノ現金預リ人ヲ置クコトヲ得現金預人ヲ限カントスルトキハ郡長又ハ戸長ニ於テ規約書ヲ定メ町村會若クハ聯合町村會ノ評決ヲ取リ知事又ハ郡長ノ認可ヲ得テ施行スヘシ其現金預リ人ハ町村會若クハ聯合町村會ノ職員ヲシテ撰舉セシムルモ妨ケナシ

●訓令第六十八號 明治二十一年四月廿六日

町村費目ノ流用ハ町村會ノ評決ヲ經テ施行スヘシ但明治十八年一乙第八號達ヲ廢止ス

●島根縣訓令第五號 明治廿六年二月二日

戸長役場出納檢閱規左ノ通定ム

戸長役場出納檢閱規

第一條 島司ハ此例規ニ依リ毎年一回部内各戸長役場ノ出納ヲ檢閲セシム可シ

島司ニ於テ必要ト認ムル場合ニ於テハ前項ノ外臨時檢閲ヲ行フコトアル可シ

第二條 檢閱員ハ島廳書記ヲ以テ之ニ充テ可シ

第三條 檢閱員ハ島司ヨリ命令狀ヲ附與スルモノトス

四四八

郡役所 戸長役場

郡役所 戸長役場

郡役所 戸長役場

島 戸長役場

廿八年訓令
第三十七號
參照

島司ニ於テ前項ノ命令狀ヲ附與シタルトキハ其氏名ヲ知事ニ申報ス可シ

第四條 檢閱員ハ出納檢閱ヲ爲ス前ニ於テ島司ヨリ附與セラルル命令狀ヲ其戸長ニ示スモノトス

第五條 檢閱員ハ出納檢閱ヲ爲ス前ニ於テ檢閱ヲ要スル簿籍ノ目録並ニ檢閱着手前日ノ現在金及物品調査ヲ徵ス可シ

第六條 定例ノ檢閱ハ前年度ノ歳入歳出決算ニ就キ之ヲ行フ例トス

第七條 歳入ニ對シテハ概テ左ノ要領ニ依リ其正否ヲ檢閲ス可シ

一 諸徴収金ハ町村會議決ノ賦課額及徴收方法ニ適合スルヤ否

二 滞納處分法ニ據リ收入セラルル金額及買上ケ品ハ正當ナルヤ否

三 諸收入金ノ不納ニ歸セシ分ハ一々其處分ヲ經シヤ否

四 過納若クハ誤納ノ下戻方正當ナルヤ否

五 寄附金其他雜收入金ノ徴收方ハ適當ナルヤ否

六 不用品拂下ノ收入金額ハ適當ナルヤ否

七 豫算ニ對シテ増減アルモノハ其事由正當ナルヤ否

第八條 歳出ニ對シテハ概テ左ノ要領ニ依リ其正否ヲ檢閲ス可シ

一 支出ハ總テ例規又ハ町村會議決ノ旨意ニ背反セシモノナキヤ否

二 支出ハ總テ正當領收人ノ領收証書ニ符合スルヤ否及其証書正當ナルヤ否

三 物價ハ購入地ノ相場若クハ前年度ニ比較シ不相當ノモノナキヤ否

四 年度編入違若クハ正當町村費ニ屬セラルル支出ナキヤ否

五 豫算ニ對シテ増減アルモノハ其事由正當ナルヤ否

第九條 簿記ノ調理金穀物品ノ監守財産ノ保管ニ對シテハ概テ左ノ要領ニ依リ檢閲ス可シ

一 帳簿ノ調整及記簿ハ例式ニ適合スルヤ否

●第三類 (陸奥國町村水利土地)

四四九

二 金穀物品並帳簿等保藏安全ナルヤ否
 三 金穀物品現在高ハ帳簿ニ對照符合スルヤ否
 四 財産ノ保存方法適當ナルヤ否
 第十條 檢閱員ニ於テ出納正當ト認定シタルトキハ檢閱ヲ經タル帳簿及証憑書類ニ年月日檢閱済ト朱記シ官
 氏名ヲ署シ捺印ス可シ
 第十一條 檢閱員ニ於テ檢閱シタル事項ニ付島司ノ命令ヲ待タズ直ニ指揮スルコトヲ得ス但法律命令ニ違ヒ
 又ハ錯誤アルコトヲ發見シ事輕微ニシテ直ニ更正シ得ヘキモノハ戶長ニ注意シ與フルハ妨クナシ若シ錯誤
 違法ノ廉輕微ナラズシテ差置キ難キモノハ即時島司ニ申報ス可シ
 第十二條 檢閱員ニ於テ檢閱了リ歸廳シタルトキハ七日以内ニ檢閱ノ現状ヲ詳記シタル復命書ニ第五條ニ
 依リ徵シタル目錄及調書ヲ添ヘ島司ニ提出ス可シ
 第十三條 島司ニ於テ檢閱員ノ申報又ハ復命ヲ受ケタルトキハ之ヲ勘査シ違法錯誤等ノモノハ速ニ相當ノ措
 置ヲ爲シ其檢閱及措置ノ頗末ヲ知事ニ申報ス可シ
 ●島根縣訓令第三十七號 明治二十八年四月六日 島 廳 戶長役場
 明治二十六年ニ本縣訓令第五號戶長役場出納檢閱例規中左ノ通改正追加ス
 第一條中毎年ノ下度ノ一字ヲ加フ
 第三條二項ヲ刪除ス
 第五條中現在金ノ下及物品ノ三字ヲ刪除ス
 第十條ニ左ノ但書ヲ追加ス
 但帳簿及証憑書類多數ナルトキハ重要ナルモノニ限り本條ノ手續ヲ爲シ其他ハ適宜認印ヲ爲シ置クモ妨ク
 ナシ
 ●島根縣訓令第六號 明治二十六年二月二日 島 廳 戶長役場

町村ニ於テ償還期限三年以上ノ負債ヲ起サントスルトキハ豫メ知事ノ認可ヲ受ク可シ
 町村有ノ不動産ヲ賣却讓與並賃入書人ト爲サントスルトキハ豫メ島司ノ認可ヲ受ケ其島司ノ管理ニ屬スルモ
 ノハ知事ノ認可ヲ受クヘシ
 ●島根縣訓令第七號 明治二十六年二月二日 島 廳 戶長役場
 町村歳入歳出ノ決算ハ會計年度ノ終ヨリ三月以内ニ之ヲ結了ス可シ
 ●島根縣訓令第八號 明治二十六年二月二日 島 廳 戶長役場
 町村歳入歳出豫算表ヲ通常町村會ニ提出スルトキハ併セテ其町村事務報告書及財産明細表ヲ提出ス可シ
 ●島根縣訓令第十號 明治二十六年二月二日 島 廳 戶長役場
 町村歳入歳出豫算表式左ノ通相定メ明治十八年ニ本縣乙第五號達ヲ廢ス
 町村歳入歳出決算報告書ハ豫算表式ニ準據調製スヘシ
 島根縣某郡某町(村)某町(村)聯合會 明治何年度歳入出總計豫算

一金	歳 入	歳 入 豫 算 高
一金	歳 出	經常費豫算高
一金		臨時費豫算高
合計金(臨時費ノ豫算ナキト)		
歳入出差引		
殘金		

歳入出差引殘金及歳入出ノ精算殘金ハ翌年度繰越金ニ編入スルヲ通例ト爲スト雖トモ若シ特ニ其處分
 ヲ要スルトキハ豫メ其方法ヲ議定シ本案ニ列揭スヘシ

●第三類 ○隱岐國町村水利土功會

島根縣 某町(村) 某町(村) 聯合 明治何年度 歳入出豫算表

科	目	歳入		附	記
		前年度豫算額	本年度豫算額		
第一款	財產ヨリ生スル收入				
一	地所貸下料				某所字何々宅地(山林)反別(坪數)何程貸地料 一ヶ月金何圓宛
二	家屋貸下料				某所七藏幾棟一ヶ月金何圓宛
三	貸付金利子				以下前ニ準シ記入スヘキモノトス
四	公債証書利子				
第二款	雜收入				
一	竹木拂代				
二	不用品拂代				
三	小學校授業料				
四	地價割年度後追納				
五	過誤拂返納金				
六	雜入				

第三款		前年度繰越金	
一	前年度繰越金		
第四款 地方稅補助金			
一	土木費補助		
二	勸業費補助		
第五款 寄附金			
一	土木費寄附		
二	救助費寄附		
第六款 地方稅交附金			
一	地方稅交附金		
第七款 賦課金			
一	地價割		
二	二段別割		
三	營業別割		
四	戸別割		

第三類 ○肥前國町村附水利土功會

科	目	前年度豫算額			本年度豫算額			附記
		計	材	夫	計	材	夫	
歲出								
經常費								
第一款	戶長役場費							
第一項	給料							
	一戶長給料						月給何圓	
	二用係給料						月給何圓何人何圓何人	
	三筆生給料						以下前ニ準シ記入スヘキモノトス	
	四小使給料							
第二項	雜給							
一旅	費							

二惠	三雇	第三項	一印	二備	三文	四消	五助	六通	七筆	八雜	第四項	一役	二物	三示
費	料	費	費	費	料	費	費	費	料	費	費	費	費	費

第三類 隱岐縣町村水利士功會

第二款會 議 費	
一 議員旅費	
二 議員滞在日當	
三 議員辨當料	
四 書記給料	
五 小使給料	
六 雇人料	
七 印刷費	
八 備品費	
九 消耗品費	
十 郵・便費	
十一 雜費	
第三款土 木 費	
第一項道路橋梁費	
一 道路修繕費	

第二類	
二 橋梁修繕費	
三 測量費	
第二項治水堤防費	
一 河川浚渫費	
二 河岸修繕費	
三 堤防修繕費	
四 測量費	
第三項用惡水路費	
一 用水路修繕費	
二 惡水路修繕費	
三 溜池修繕費	
四 井堰修繕費	
第四款救 育 費	
第五款衛 生 費	
第六款救 助 費	

前例ニ依・項若シハ項目ニ編次スヘキ者トス
以下之ニ同シ

●第三類 ○隱岐國町村附水利土功會

第七款 災 害 豫 防 費	第八款 警 備 費	第九款 勸 業 費	第十款 負 擔	第十一款 雜 支 出	合 計	臨 時 費	科 目	前 年 度 豫 算 額	本 年 度 豫 算 額	附 記
							第一欸、			
							合 計			
							通 計			
明治何年何月何日提出										

島根縣某郡某町(村)戸長

記 載 例

- 一 經常支出ハ毎會計年度普通支出ヲ要スヘキ該出ヲ編入シ臨時支出ハ時ニ依リ若クハ偶然生スヘキ歳出例ハ異常ノ土木工事ニ係ル出用及臨時傳染病ノ豫防費等ノ類ヲ編入スヘシ
- 二 費目増加ノ許可ヲ得タルトキハ別ニ一欸ヲ増設スヘキモノトス
- 三 豫備費ヲ置クノ必要アルトキハ雜支出ノ次ニ其一欸ヲ設クルコトヲ得
- 四 歳入出科目中其節目數多シハ適宜節目ヲ設クルヲ得
- 五 徵收金ノ納期ハ豫算表ニ掲記セズ別ニ議決ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
- 六 聯合町村ニ在テ分擔法ニ依ルトキハ歳入科目第七欸賦課金ノ欸ニ於テ左ノ如ク掲載スヘシ

何 某 邑

第七款 賦 課 金	某 町 (村) 負 擔	一 地 價 割	二 戸 別 割

海 外 行

●訓令第六十五號 明治二十年六月廿二日 郡役所 戸長役場

海外旅券下付願書ニ戸長ノ奥印ヲ請フモノ之レアル節ハ戸長ニ於テ其渡航ノ目的出費ノ證明書 返附事實

●第三類 (海外行)

ニ副申スヘシ又其本人戸主ニ非サルトキハ其戸主又戸主ト雖トモ未丁年者ナルトキハ其後見人或ハ親族ノ内必ス連署調印ノ上願書差出サスヘシ

●島根縣告示第二號 明治二十五年七月四日

北米合衆國ニ於テハ千八百八十五年二月二十六日外國人契約労働者移住禁止條例ナルモノヲ發布シ右ニ違犯ノ徒ハ何國人ニ不拘上陸拒絕ノ例ニ候處昨年三月ニ至リ該條例ヲ追加條例ヲ制定シ契約労働者ノ移住禁止ヲ一層嚴重實施ニ付萬一本邦人ノ同國ニ渡航シ該條例ニ抵触シ上陸拒絕ノ不幸ニ罹リテハ不相成義ニ有之然ルニ爾來渡米スル者陸續相踵キ遂ニ本年四月十三日横濱發ノ英國郵船「メルジック」號ニ乗込タル渡米者中桑港到若ノ上陸検査ニヨリ條例違犯ノ庶ヲ以テ上陸ヲ拒絕セラレ空シク歸國シタル者二十六名モ有之趣右ノ畢竟渡米者カ未ダ善ク該條例ノ何物タルヲ知ラサルニ基因スルモノニシテ其弊ヤ單ニ渡航人自身カ上陸ヲ拒マルハノ不幸ニ陷リ莫大ノ旅費ヲ失ヒ進退ニ窮スル而已ナラス終ニハ之カ爲帝國ノ名譽ノモ毀傷セラル、ニ至ルノ虞ナシトモ云ヒ難シ就テ渡米者ニ於テ最モ注意スヘキハ第一ニ千八百八十五年制定ノ條例(昨申六月二十九日載ア)及ヒ昨年制定ノ追加條例(昨申六月十六日官報)アルコト及ヒ其全文ノ主意條項ヲ普ク熟知センコトニ可有之即チ其要項ヲ擧ケレハ白痴、瘋癲及貧困者若クハ公共ノ扶助ヲ受ケルノ虞ナル者嫌疑スヘキ疾病又ハ危險ナル傳染病者重罪又ハ破廉耻罪ノ宣告ヲ受ケタル者ヲ始メ直接又ハ間接ニ契約ヲ結ビ一定ノ給料又ハ就役ノ場所ヲ定メ又ハ豫約ヲ爲シ或ハ書面口頭ノ勸誘ニ依リ渡米セタルモノハ契約移住者ニ該當スヘキモノト認定セテ上陸ヲ禁セラル、コト等ニ有之候條自今渡米セントスル者ハ豫メ前述ノ條例ヲ充分ニ熟知シ漠然渡航ヲ企テ一身ノ不幸ハ勿論我國體ニモ關係ヲ來スカ如キ不都合ヲ生セサル様精々注意スヘシ

●島根縣訓令第二十一號 明治二十六年二月十六日

近來不良ノ徒各地ヲ徘徊シ甘言ヲ以テ海外ノ事情ニ諷キ婦女ヲ誘惑シ遂ニ種々ノ方法ニ因リテ海外ニ渡航セシメ渡航ノ後ハ正業ニ就カシムルコトヲ爲サス却テ之ヲ強迫シテ醜業ヲ營マシメ若クハ多少ノ金銀ヲ貪リテ

島 郡 郡役所 市役所 戸長役場 町村役場

他人ニ交付スル者アリ之カ爲ニ海外ニ於テ言フニ忍ビサルノ困難ニ陥ル婦女追々増加シ在外公館ニ於テ救護ヲ勉メラル、ト雖モ或ハ遠隔ノ地ニ在リテ其所在ヲ知ルコト由ナク困難ニ陥レル婦女モ亦種々ノ障碍ノ爲ニ其事柄ヲ出訴スルコト能ハサルモノ多キ趣ニ付右等婦女ヲ誘惑渡航セシメントスルモノアルトキハ市長戸長又ハ町村長ニ於テ精々之ヲ論止シ若其説諭ニ應セサルトキハ市長ハ本縣知事ニ戸長町村長ハ島司又ハ郡長ニ申出ツ可シ島司郡長ニ於テハ尙懇諭ヲ加ヘ若シ之ニ服セサルトキハ直ニ申出ツ可シ且又婦女ニシテ妄リニ渡航ヲ企圖スルモノアルトキハ前同様取扱フ可シ

●島根縣告示第九十五號 明治二十六年四月廿七日

山口縣ニ於テハ朝鮮國行旅券附與方從赤間關市長ニ委任之處本月限、右委任ヲ解キ來五月一日以降更ニ赤間關警察署ニ於テ附與取計候旨同縣ヨリ通知アリタリ

●島根縣訓令第百十八號 明治二十七年六月廿二日

島 郡 郡役所 市役所 戸長役場 町村役場
明治二十七年四月外務省告示第二號ニ該當スル移民ノ旅券願ハ身元引受人連署セシムヘシ
●島根縣令第六十四號 明治二十八年十月十七日
本年十月勅令第四十四號ニ依リ朝鮮國ニ渡航ノ許可ヲ受ケントスルモノハ渡航ノ地名及目的並ニ住所身分年齡職業ヲ詳記シ保証人連署ノ上町村役場及郡役所又ハ戸長役場及島廳又ハ市役所ヲ經テ當廳ニ出願スヘシ本令ハ發布ノ當日ヨリ施行ス

●行旅病人及死亡人

乙第百七十七號 明治十七年十一月廿八日 郡 町 村
行旅死亡人取扱手續及行旅病人救護手續更ニ左之通知定メ明治十六年一月本縣乙第百六號同月乙第九十八號達ハ廢止ス
右相達候事

●第三類 ○行旅病人及死亡人

十八年乙第
十八號令第
十九號令第
廿六年訓令
第九十五號

行旅死亡人取扱手續

- 第一條 凡引取人ナキ行旅病死行倒變死人假埋葬ノ入費ハ別紙第一號費額ニ超過セザル様取扱フヘシ
 - 第二條 全上本籍詳ナル者ニシテ原籍へ通報及餘金送付スルトキハ別紙第一號ヨリ第六號迄ノ書類添付スヘシ
但行倒變死人ハ第四號ニ換フルニ其住所姓名等判明セシ事由書ヲ以テス尤第五號ヲ除ク
 - 第三條 全上本籍詳ナラサル者公告満期尙不詳ナルトキハ前條各號書類相添(行倒變死人ハ第四號ニ換フルニ其住所姓名等判明セシ事由書ヲ以テス尤第五號ヲ除ク)第八號書式ニ據リ右満期後二日以内其實用ヲ郡役所へ請求スヘシ
 - 第四條 本籍戸長ニ於テ他ヨリ死亡ノ通報ヲ請グルニ其家赤貧コシテ費用辨償スル能ハサルトキハ該家赤貧ノ証明書(附赤貧ノ記載)ヲ添付シ死亡戸長ヨリ通報ノ書類共相添第七號書式ニ據リ前條同様請求方郡役所へ申出ヘシ
 - 第五條 前兩條ニ據リ請求セントキ郡役所ニ於テハ書類調査ノ上經費ヲ以テ替下渡置其郡度戸長ヨリ差出シタル書類相添第七號書式ニ準シ速ニ請求方常務へ申出ヘシ
 - 第六條 本籍不詳者餘金戸長役場ニ於テ保管期限ヲ過シルトキハ計費書相添(行倒變死人ノ別紙第一號ヨリ第六號迄ノ書類相添)速ニ郡役所ヲ經テ上納スヘシ
- 行旅病人救護手續
- 第七條 行旅病人重症餓餓ニ迫リ他ニ救護スルモノナク目下難聞モノニ限リ所在地戸長ニ於テ醫療ヲ始メ惣切ニ救護ヲ加ヘ本籍詳ナル者ハ第四號第五號書類ヲ添付本籍戸長へ通報シ看護人又ハ引取人來テ直ニ可引渡若引取人ナキモ輕快ニ至レハ醫師ノ診断ニ據リ救護ヲ罷ムヘシ
但救護費額ハ第一條ニ準スヘシ
 - 第八條 救護費用本人ヨリ辨償シ能ハサルトキハ第一號第四號第五號第六號書類相添身元ヨリ債却方本籍戸長へ照會スヘシ其本籍詳ナラサル者ハ右書類相添第三條ニ準シ郡役所へ請求スヘシ

第九條 其町村ノ者旅行中重症餓餓ニ迫リ救護ヲ請ケ該費用債却方他ヨリ照會ヲ得タルトキハ速ニ家元ヨリ辨償セシメ若赤貧コシテ辨償シ能ハサルトキハ第四條ノ取扱ヘシ

第十條 前兩條ニ依リ請求セントキ郡役所ニ於テハ第五條ヲ適用シ該費用下渡置其郡度速ニ償還ヘ請求スヘシ

(第一號)

何府縣何國何郡何町何某旅行中何某行假埋葬(又ハ重症餓餓ニ迫リ救護)諸費明細書

名	稱	員	數	金				
藥	劑	何日ヨリ何日迄	貼	何程 普通藥一貼ニ付金貳錢以内全水藥一日分金六錢以内 但此額ヲ超ニルモノハ別紙ヲ以テ藥名並觀書相添ムヘシ				
賄	料	何日ヨリ何日迄	度	何程一度ニ付金四錢以内				
看	護	人	人	何日ヨリ何日迄 何程 一日				
小	家	一	軒	何程 金貳拾錢以内				
小	家	一	軒	何程 金六拾錢以内				
小	家	二	人	全一人ニ付 金拾五錢以内				
醫	師	診	察	料	人	何程 金拾拾錢以内		
棺	桶	棒	總	共	一	筒	全	金五拾錢以内

第三類 ○行旅病人及死亡人

埋葬人夫賃	二	人	全一人二付	金貳拾五錢以内
埋葬所印シ木	一	箇	全	金四錢以内
掲示札	一	枚	全	金四錢以内
新聞紙公告料	二	度	全	費

右之通實際消費相違無之候也
年 號 月 日

(第二號)

行旅病死者何府縣何國何郡何村何某父ハ本籍不詳何某
遺金取調書

一金何程
右之通相違無之候也
年 號 月 日

何郡何村戸長 某印

(第三號)

行旅病死者何府縣何國何郡何村何某父ハ本籍不詳何某遺物
公賣代仕證書

一何々
代金何程
全、全、
全、全、

計金何程

右之通公賣取計候也
年 號 月 日

何郡何村戸長 某印

(第四號)

住所姓名聞札書

何府縣何國何郡何村番地族籍

職業

何某父ハ長男女 何、
但寄留所アレハ其寄留地ノ縣國郡町村番地併記スヘシ

- 一 生年月日又ハ年齢
 - 一 改姓名セシコトアレハ其元姓名
 - 一 養子女或ハ他ノ附籍等ナレハ其實家ノ國郡町村番地姓名等
 - 一 生國發途ノ原山及年月日又ハ所向
 - 一 祖父父母兄弟姉妹等アレハ同居別居ヲ區別シ其國郡町村番地姓名等
- 但親戚又ハ隣保ト雖トモ原籍取調ニ必要ト認ムルモノハ皆記スヘシ
右之通申立候也
年 號 月 日

(第五號)

診斷書

何郡何村戸長 某印

第三類 ○行旅病人及死亡人

何府縣何國何郡何村何族籍

又ハ本籍不詳

何 何

某 某

一發病原因

一既往症候

一現時症候

一病名

一治法及藥名

一豫后

右年號月日何所ニ於テ診斷施術致候處相違無之候也

年號月日

何郡何村族籍

醫師

何

某印

何郡何村戸長

姓名殿

(第六號)

一金何程

内譯

金何程

全

全

賄料何度何日ヨリ何日ニテ

藥料何貼或ハ水藥何日分何日ヨリ何日迄

右ハ何府縣何國何郡何村何某又ハ本籍不詳何某ノ埋葬費或ハ莫ク(註)賄料(註)即持被下正ニ受取候也

年號月日

何郡何村族籍

何

某印

何郡何村戸長

姓名殿

(第七號)

一金何程

内

地方税ヨリ御下渡可相成分

金何程

内

本人遺金又ハ遺物公賣代ヲ以テ差繼

右ハ當村何某又ハ長男女何某儀旅行中年號月日何府縣何國何郡何村ニ於テ(病死)致候ニ付埋葬(又ハ重症餓餓

ニ追リ救護)費用前書之通該村戸長ヨリ通知越候處別紙証明書之通赤貧ニシテ辨償シ能ハサルモノニ付地方

年號月日

何郡何村戸長

何

某印

何郡長姓名殿

(第八號)

一金何程

本籍不詳死亡人(又ハ本籍不詳重症餓餓ニ追ル者救護)費用請求書

以下同前

第三類 (行旅病人及死亡人)

右ハ年號月日當村ニ於テ旅人男女病死行救護ニ付過ル何月何日縣廳ニ御届及置候處又ハ市症候儀迫リ一時救護取扱候處本籍不詳ノ者ニ付埋葬又ハ救護費用トシテ地方税ヲ以御渡相成度候也
年 號 月 日 何郡何村戸長 某印

何郡長姓名殿

●乙第十八號 明治十八年二月十二日 郡 町 村

客年十一月本縣乙第七十七號達第八號書式中御届及置候處ノ下ハ年月日公告満期相成候マノ十一字ヲ挿入ス
右相達候事

●乙第五十九號 明治十八年四月十一日 郡 町 村

客年十一月本縣乙第七十七號達離形中第六號ヲ刪除第七號ヲ第六號第八號ヲ第七號トシ並ニ第二條中第六號迄ヲ第五號迄第三條中第八號書式ヲ第七號書式第四條中第七號書式ヲ第六號書式第五條中第七八號書式ヲ第六七號書式ト改正第八條中第六號ノ三字ヲ削除ス
右相達候事

●乙第十號 明治十九年一月廿七日 郡 役 所 戸長役場

明治十七年十一月本縣乙第七十七號達第四條中辨償スル能ハサルノ下ハ「旨申出タル」ノ五字ヲ挿入シ「該家赤貧ノ」ノ五字ヲ其申立書ニ戸長ハ「ノ八字ニ改ム
右相達候事

●島根縣訓令第九十五號 明治二十六年九月十九日 島 郡 役 所 市 役 所 戸 長 役 場 町 村 役 場

明治十七年十一月本縣乙第七十七號達行旅死亡人取扱手續及行旅病人救護手續中左ノ通改正ス

第三條第四條及第八條中「郡役所」ヲ「縣廳」ト改ム
第五條第六條ヲ刪除シ第十條ヲ左ノ如ク改ム

●乙第四十四號 明治十六年四月九日 郡 町 村

客年十一月本縣乙第七十七號達行旅病人取扱及置候處ニ付テハ行旅病人取扱ニ送附出ルル戸長ニ於テ送附不可
計ハ勿論ニ候付共重延續等ニ付目下開示ノ限リ適宜救護シ其費用ハ本人又ハ家元ニ負擔スル
右相達候事

●乙第三十八號 明治十九年三月三日 郡 役 所

但地方税ヲ以テ支辨スルル本年一月本縣乙第六號達ニ據リ郡役所ニ於テ換替相渡當期ニ受取方可申出
明治十九年三月三日 郡 役 所 戸 長 役 場

●乙第四十一號 明治十九年四月一日 郡 役 所

但本文本籍ニ引取フントストキハ前以本人ノ所於其地租及引取候方利便トシ「註等詳細具其長
用ノ開示書ヲ添ヘ戸長ハ郡長ハ本廳ニ伺出許可ノ上實施スヘ
右相達候事

●島根縣訓令第二號 明治二十二年一月十日

第三條

右ハ年號月日當^明ニ於テ旅人男女^明死行救護取扱候處本籍不詳ノ者ニ付埋葬^明又ハ救護費用トシテ地方稅ヲ以テ補渡相成度候也

何郡長姓名殿

●乙第十八號 明治十八年二月十二日

客年十一月本縣乙第百七十七號違第第八號書式中(御前及置候處)ノ下(一年月日)公普滿期相成候モ(一)十一字ヲ挿入ス

郡 町 村

何 某 印

右相違候事

●乙第五十九號 明治十八年四月十一日

客年十一月本縣乙第百七十七號違第中第六號ヲ刪除第七號ヲ第六號第八號ノ第七號トシテ第一條中第六號迄ヲ第五號迄第三條中第八號書式ヲ第七號書式第四條中第七號書式ヲ第六號書式第五條中第七八號書式ノ第六七號書式ト改正第八條中第六號ノ三字ヲ削除ス

郡 町 村

●乙第十號 明治十九年一月廿七日

明治十七年十一月本縣乙第百七十七號違第四條中辨償スル能ハサルノ下(一)旨申出(一)ノ五字ヲ挿入(一)該家赤貧ノノ五字ヲ其申立書ニ戸長ハ(一)ノ八字ニ改ム

郡 役 所 戸 長 役 場

右相違候事

●島根縣訓令第九十五號 明治二十六年九月十九日

明治十七年十一月本縣乙第百七十七號違行旅死人取扱手續及行旅死人救護手續中(一)旨申出(一)ノ五字ヲ挿入(一)該家赤貧ノノ五字ヲ其申立書ニ戸長ハ(一)ノ八字ニ改ム

島 郡 役 所 市 役 所 戸 長 役 場 町 村 役 場

第三條第四條及第八條中「郡役所」ヲ「縣廳」ト改ム
第五條第六條ヲ刪除シ第十條ヲ左ノ如ク改ム

第十條 此手續ニ依リ請求シタル費用ハ市長ヘハ縣廳ヨリ直ニ其他ハ島廳又ハ郡役所ヲ經テ下付ス
第六號及第七號書式中「何郡長」ヲ「島根縣知事」ニ改ム

●乙第四十四號 明治十六年四月九日

客年九月第五十號布告行旅病人取扱規則廢セラレ候付テハ行旅病人原籍ヘ遞送願出ルモ戸長ニ於テ遞送不可取計ハ勿論ニ候得共重症候等ニ迫リ目下開キ難キ者ニ限リ適宜救護シ其費用ハ本人又ハ家元ヨリ辨償ヒン若シ赤貧ニシテ辨償不能ハサルトキハ原籍地方稅ヲ以テ支辨シ原籍不詳トキハ救護地々方稅ヲ以テ支辨可致義ニ候條此旨相違候事

郡 町 村

但地方稅ヲ以支辨スヘキモノハ本年一月本縣乙第六號違ニ準テ郡役所ニ於テ提替相渡當廳ヘ受取方可申出事

●乙第二十八號 明治十九年三月十三日

明治十六年四月本縣乙第百七十七號違ヲ以行旅病人取扱方相違候條有之處其家元赤貧等ニテ引取人離送出モノ現在地ニ於テ永々救護スルトキハ費用尙重却テ地方稅經濟ノ不利トナルヘキニ付自今引取候方便利ト認ムルモノハ其費用全稅中ヨリ支辨スヘキニ付本籍ヘ引取候條不苦候條此旨相違候事

郡 役 所 戸 長 役 場

●乙第四十一號 明治十九年四月一日

本年三月本縣乙第二十八號違但書左ノ通改正ス
但本文本籍ヘ引取ラントスルトキハ前以本人ノ病狀其他里程及其引取候方便利ト認ムル點等詳細具其費
用ノ豫算書ヲ添ヘ戸長ハ郡長ハ本廳ヘ伺出許可ノ上實施スヘシ

郡 役 所 戸 長 役 場

●島根縣訓令第二號 明治二十三年一月十日

右相違候事

第三類 ○雜

十九年乙第
四十一號

青森縣人民ニシテ本縣下行旅中疾病ニ罹リ救護セントキハ其費額ノ概算調ヲ都ヘ五日以内ニ原籍郡長若シ
ハ市町村長ヘ通報スヘシ

●島根縣訓令第二十號 明治廿三年二月十三日

本年一訓令第二號ヲ以テ青森縣人民ニ係ル行旅病人取扱方ノ義及訓令既候處自今他管下人民ハ總テ同例ニ
據リ取扱フ可シ

●島根縣訓令第二百二十二號 明治廿七年六月三十日

北海道廳及他府縣人民ニシテ縣下行旅中重症候儀ニ迫リ救護セントキハ其費額ノ概算調ヲ都ヘ五日以内ニ原籍郡長若シ
場ヘ照會スルモ何等ノ回答ヲナサズ又ハ其取扱候儀ナリト認ムル場合ニ於テハ戶長役場町村役場ハ所轄島門
郡役所ヘ申報シ島根郡役所市役所ハ原籍地島根郡役所ヘ照會ヲ送テ原籍市役所ニ係ルハトハ當廳ヘ申報スヘシ
但明治二十七年ハ島根縣訓令第百一十一號ハ廢止ス

●島根縣訓令第九十一號 明治廿八年八月三十一日

行旅中疾病ニ罹リ救護セントキモノ引取方又ハ費用償却方等原籍市町村ヘ照會ヲ爲スモ取扱方候儀ニ涉リ或ハ何
等ノ回答ヲモ爲カサル向ハ市長ハ當廳ニ戶長町村長ハ島根郡役所ヘ報告シ島根郡役所ニ於テハ原籍郡市役所
ニ照會ヲ速ニ完結候様取扱フ可シ

雜

●第二百二十九號 明治六年六月二十日 各區正副戶長ニ
士民一般呼出シ之兩今人病氣故等ニテ出立難相成人ヲ以補助候節其旨無遺之同モ有之不都合之事ニ候條

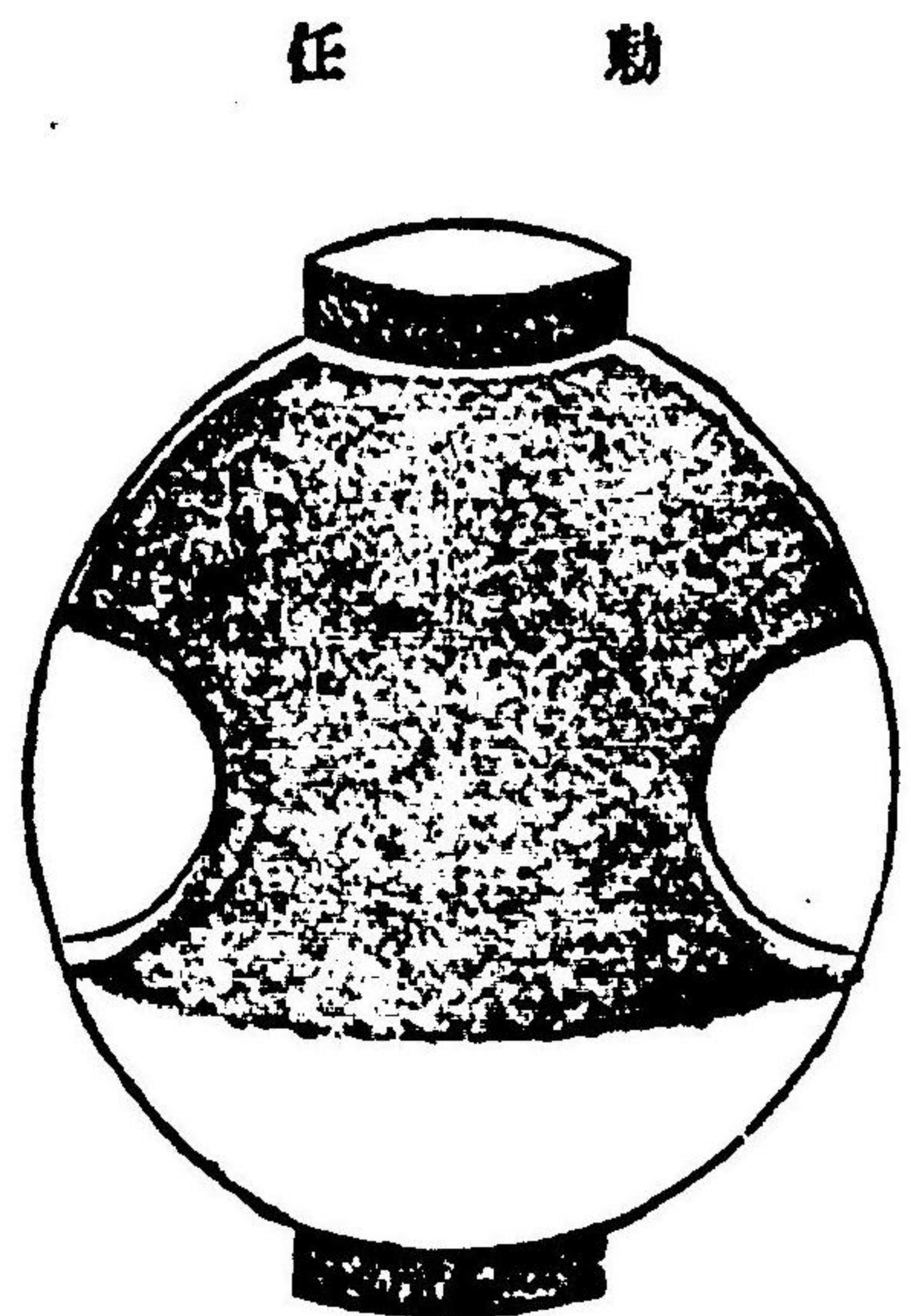
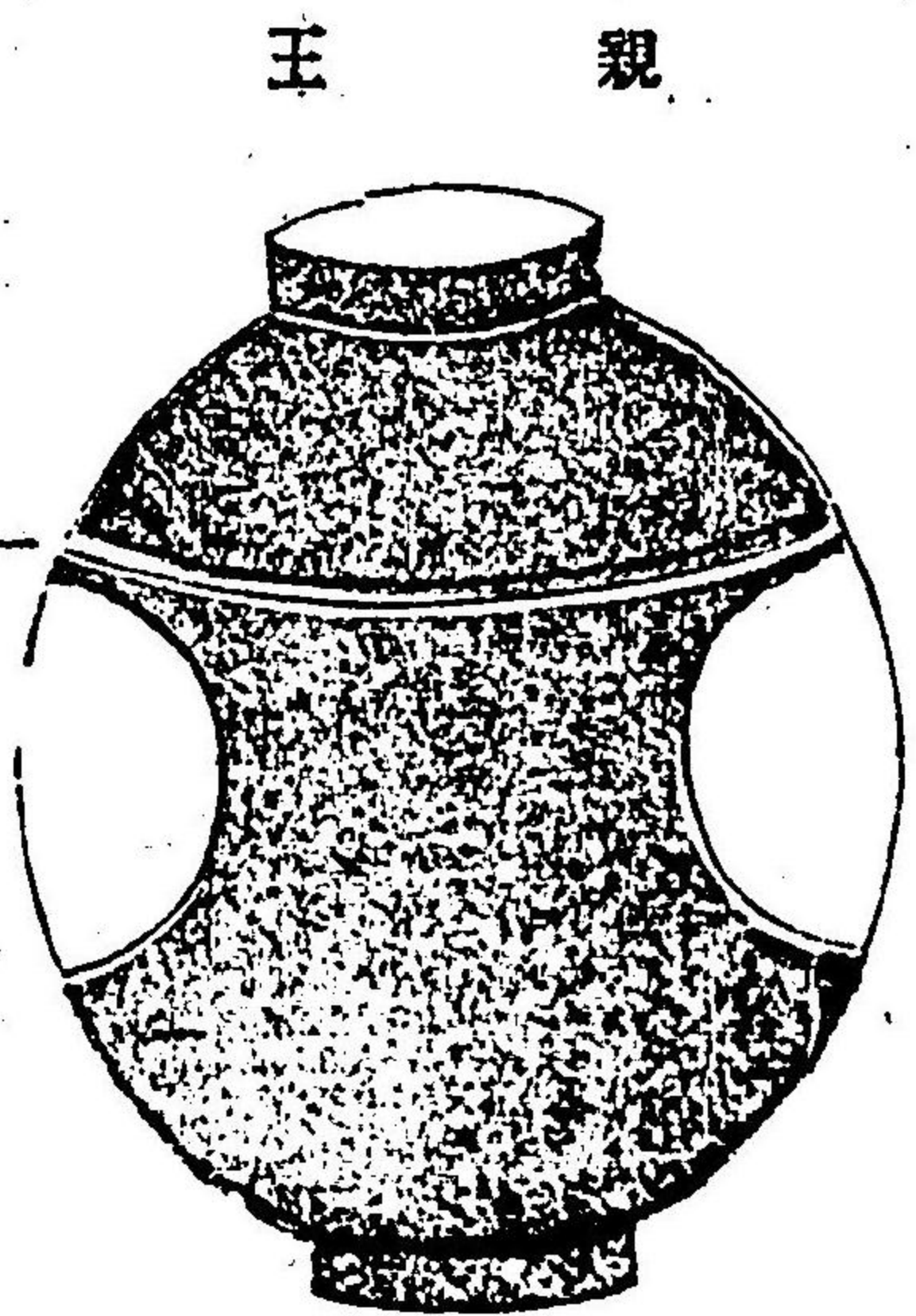
以來代人差出候節ハ其事故委請書取ヲ以可出出事
右之通管内無遺相違スル者也

●第二百三十八號 明治七年五月二日 各區正副戶長ニ
菊御紋ノ儀ニ付テハ御一新以來御禁令ノ趣モ有之願ニ各寺院ハ勿論其他ニ於テモ可相改ノ處今以寺院建物屬
具ノ内又ハ賣藥店看板等ニ菊御紋ノ印存シ置候向モ有之哉ニ相見ヘ以テ外ノ事ニ候因テハ速ニ相改メ可申
尙此未等閑ニ心得候者ハ訖度可及證議此旨更ニ相違候事

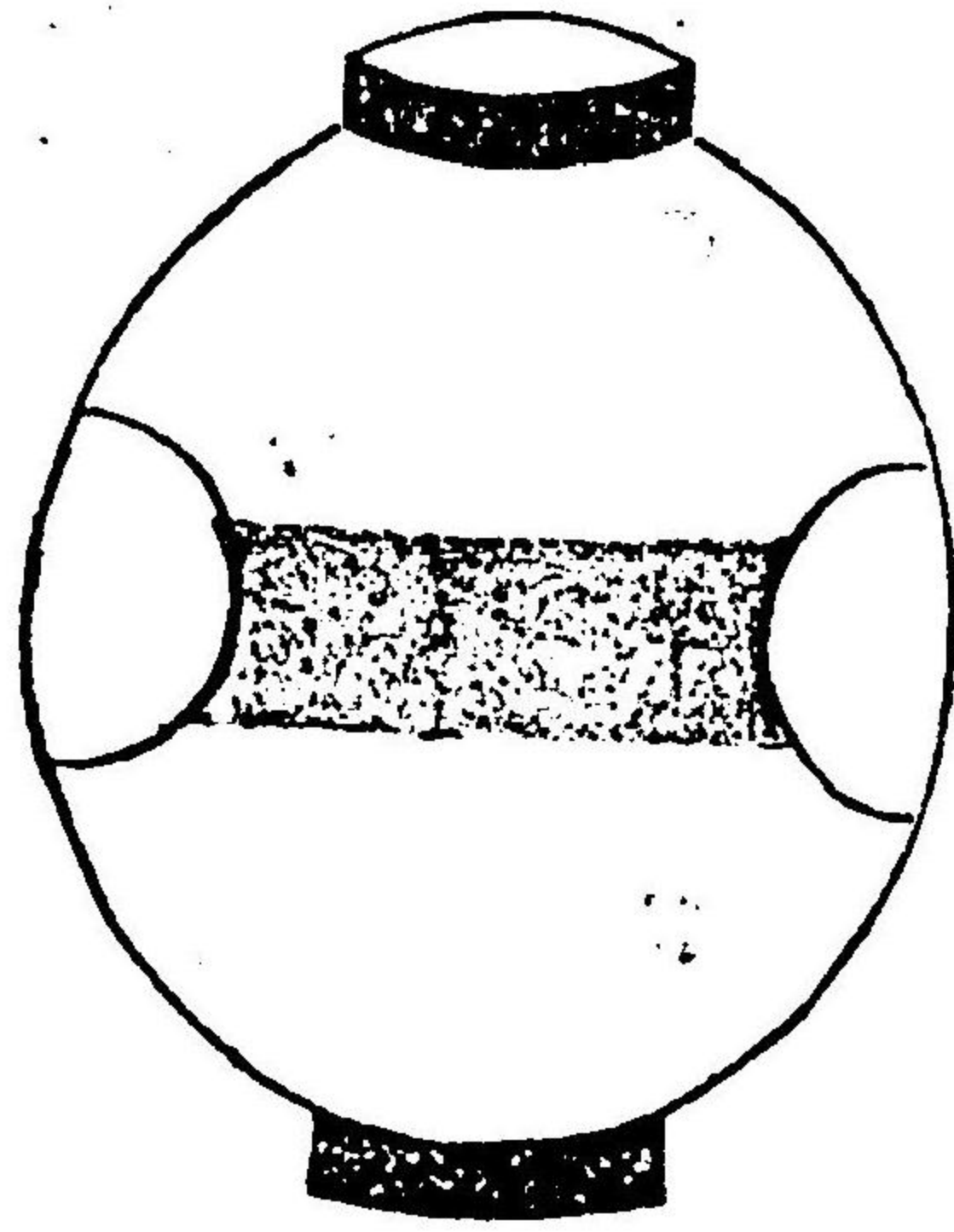
●第二百六號 明治七年四月十八日
挑灯御印ノ儀ハ先般及布告似寄且紛敷品アリトモ其當ニ非ナサル者ハ不相用答ノ處中ニハ心得違ノ者モ有之
哉ニ相聞不都合ノ事ニ候條更ニ左ノ圖面ヲ以テ及布達候且挑灯渡世ノ者ヘ圖ノ如ク説ノ向モ於有之ハ官名宿
所姓名篤ト開糾シ置挑灯出來前其旨伺出可請差聞事
右之通管内無遺相違スル者也

何レモ自分紋白ニ處

紋ヨリ下白

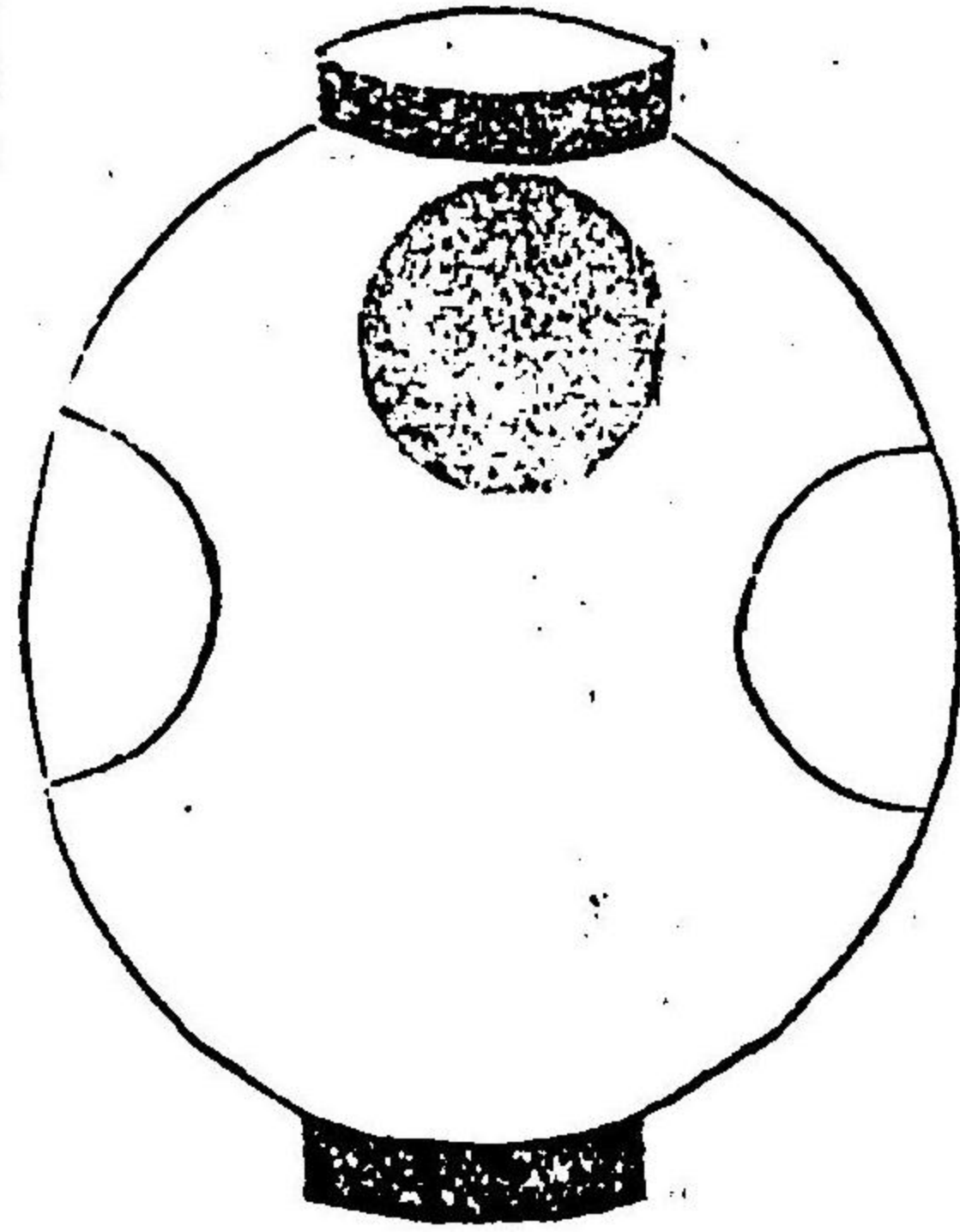


位有役非



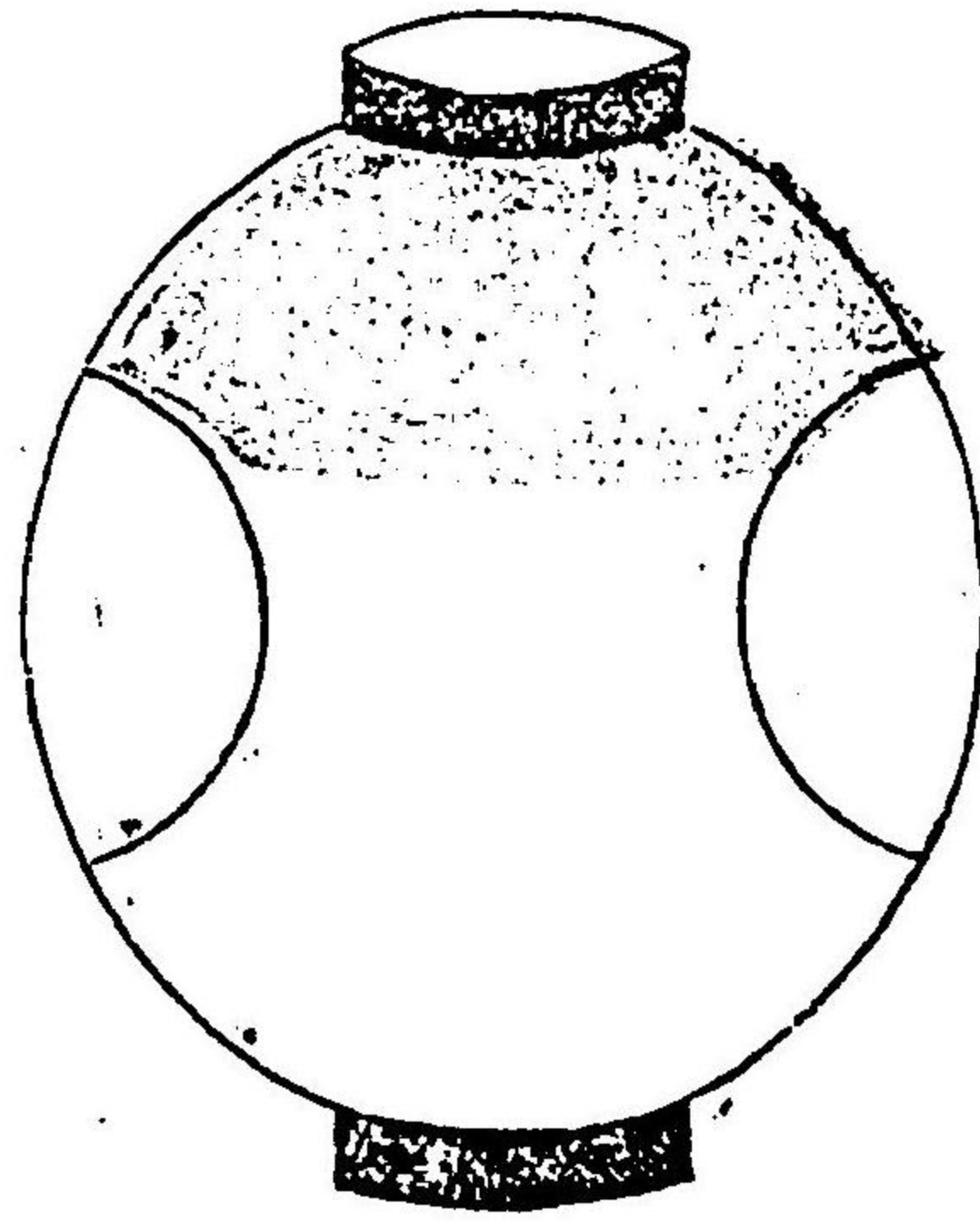
紋黒紋三分ノニヲ赤クス

以下 仕丁 使部



印赤丸三處ソマリニ寸

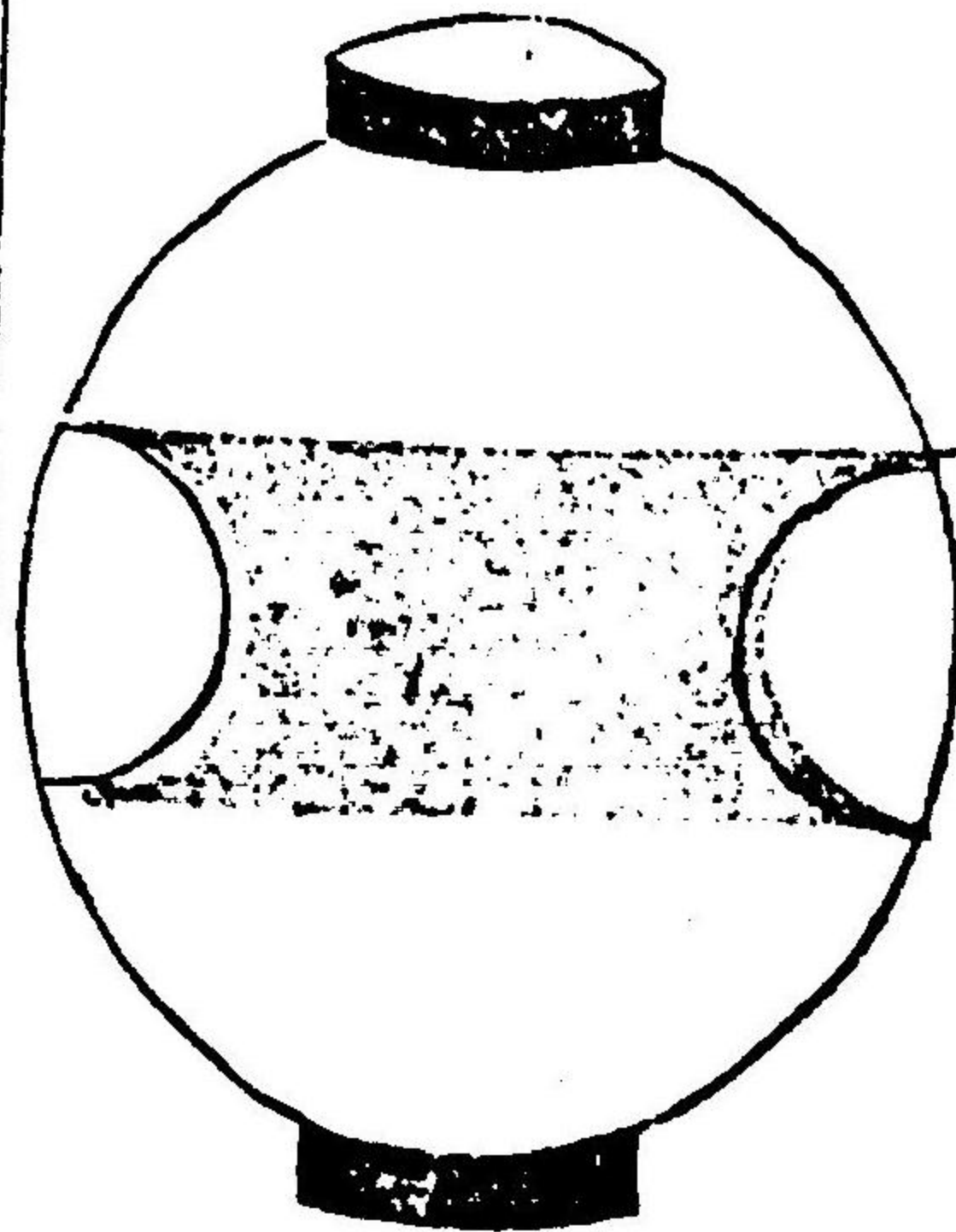
任 奏



以下何レモ紋ヨリ上赤

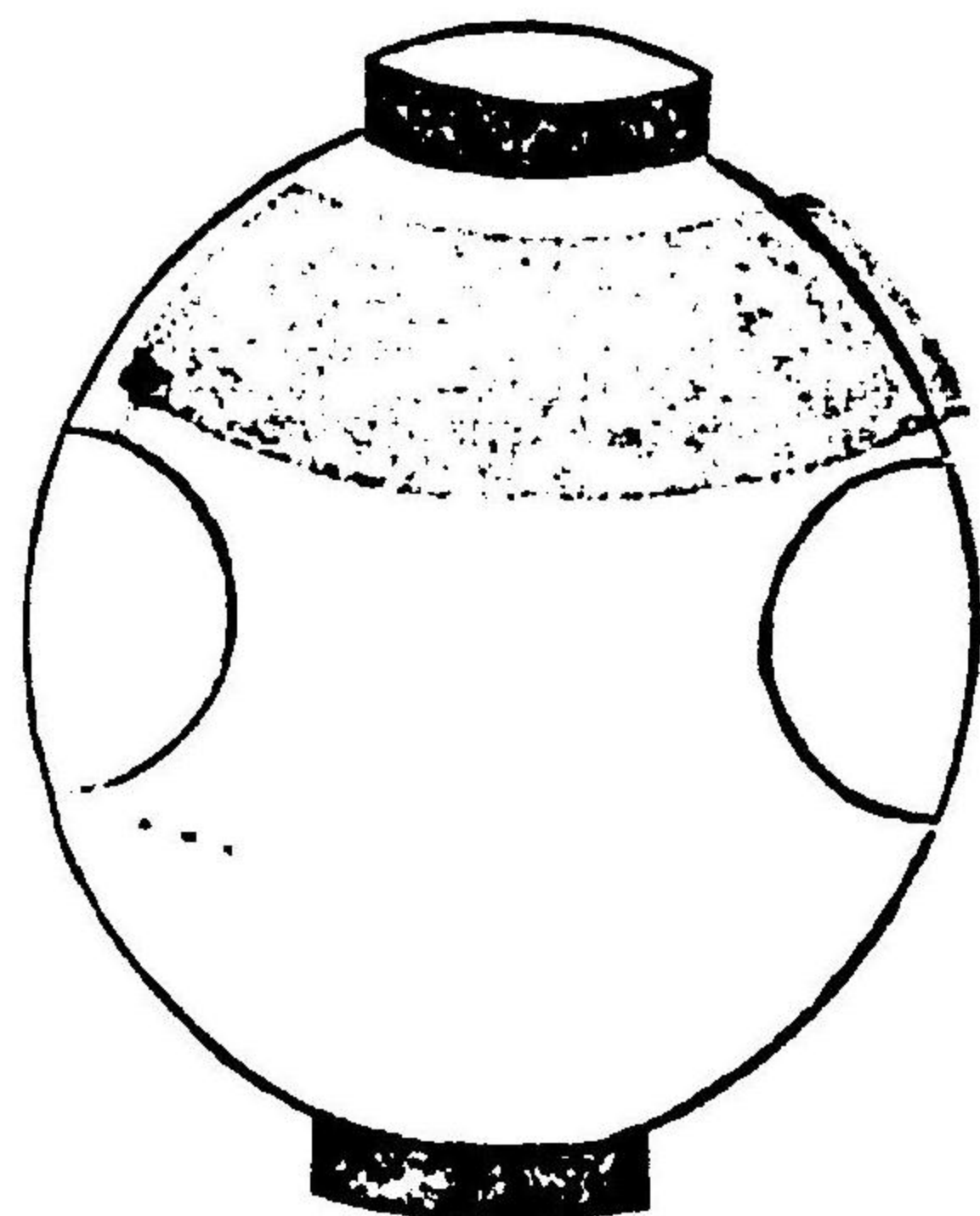
自分紋黒三處

非役_給族
及非役
四位以上



紋白紋ヨリ上下白

任 判

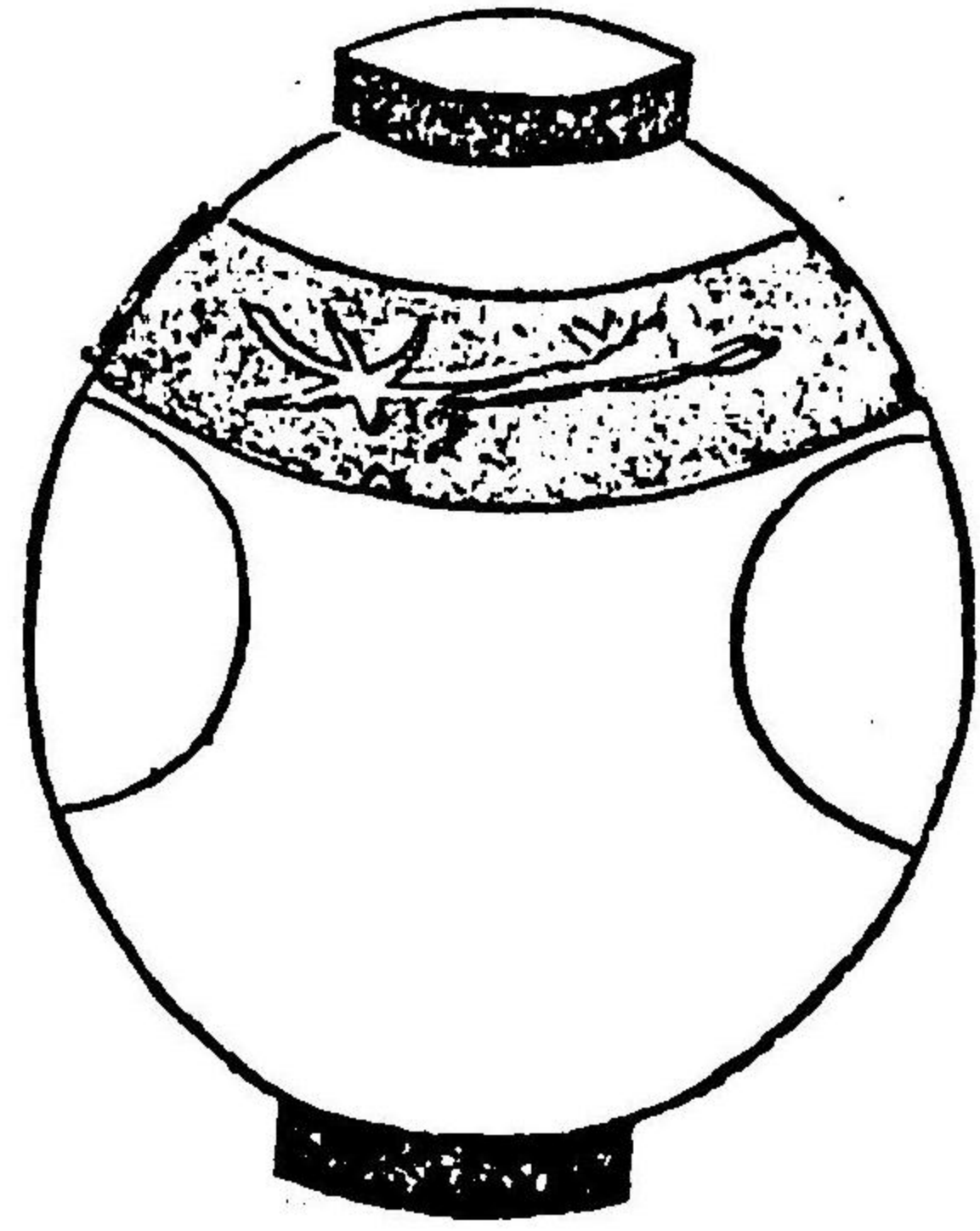


紋ヨリ上其半ハヲ赤クス

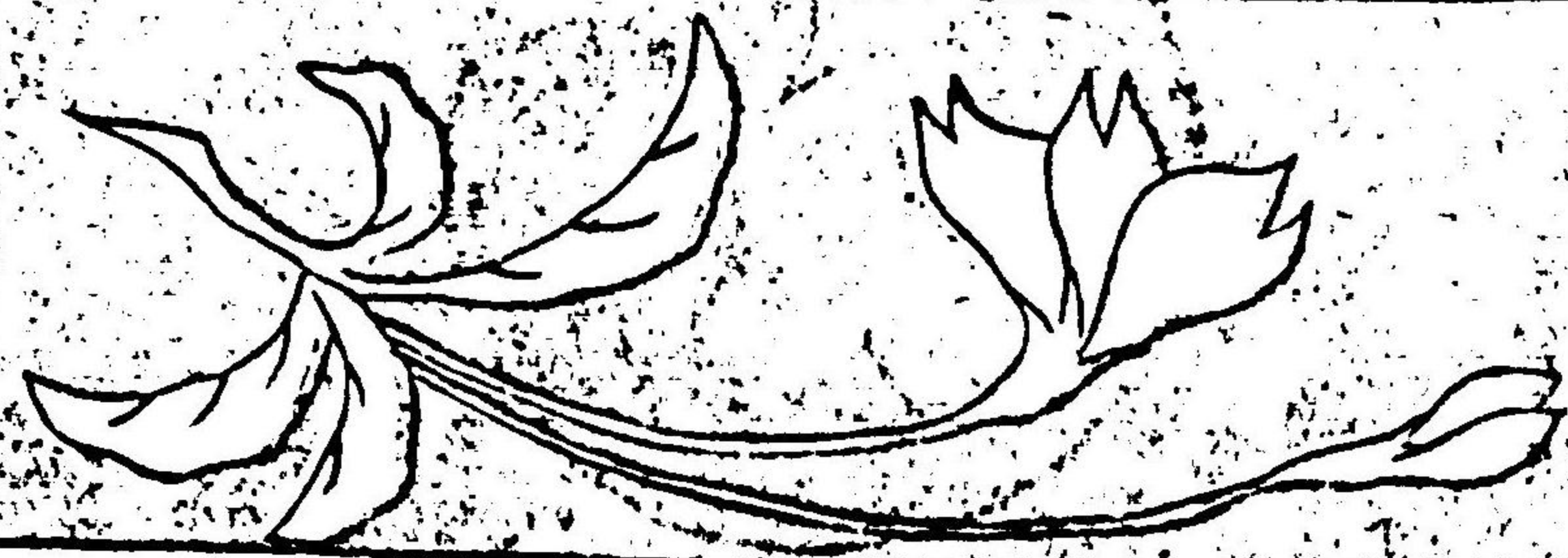
四七二

女官等中

櫻白一處彫形下圖ノ如シ

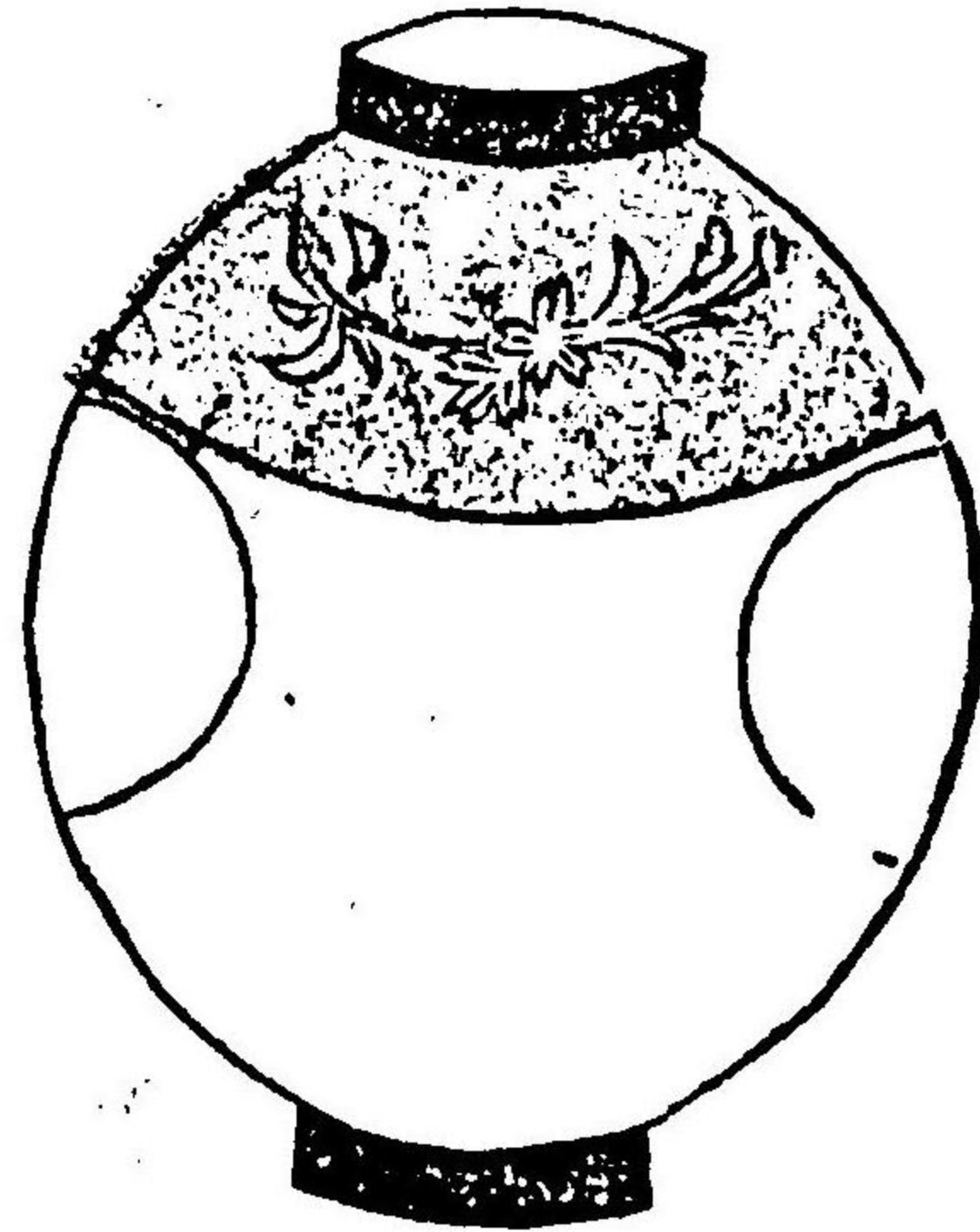


紋ヨリ上其中ハヲ赤クス



女官等上

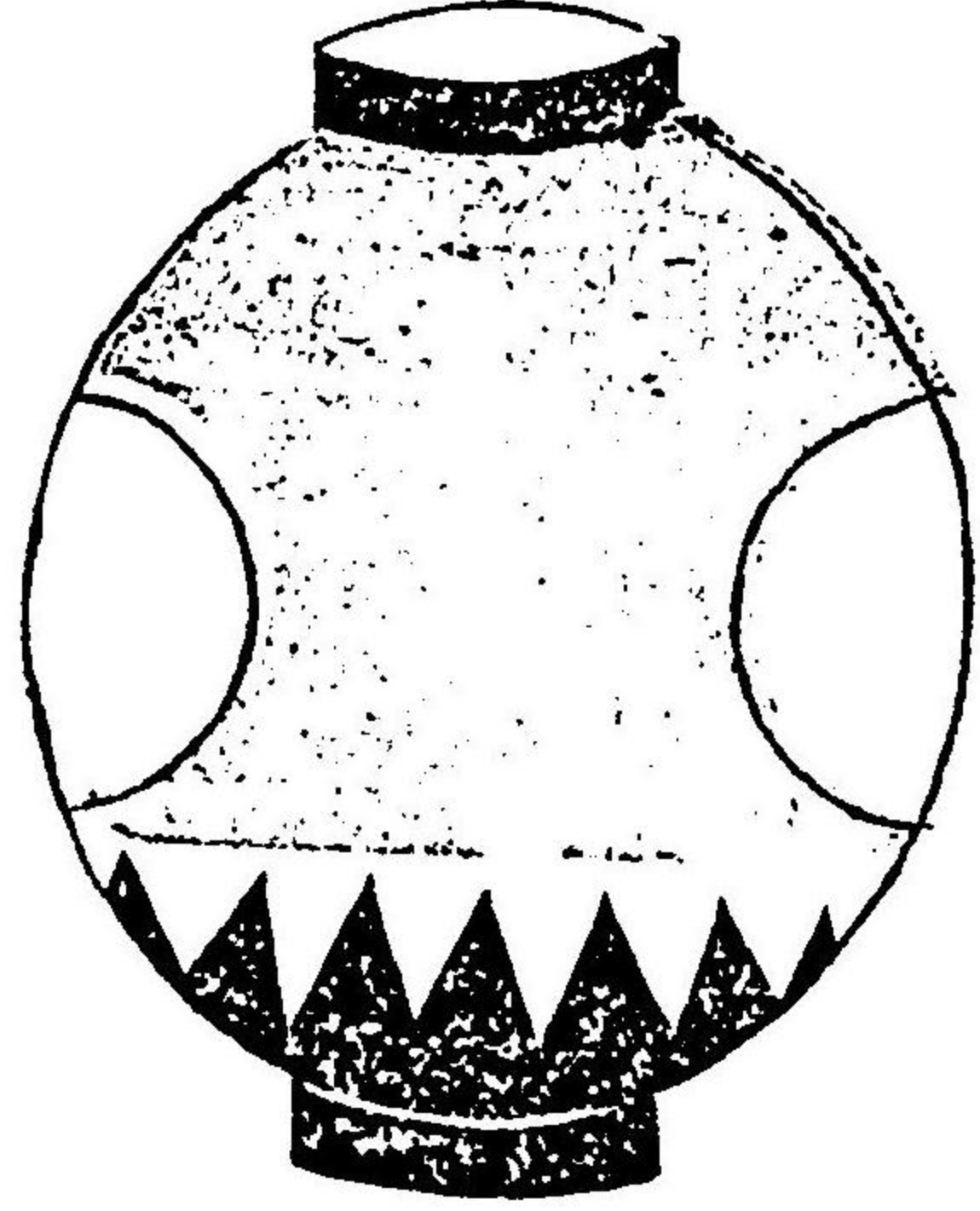
櫻白一處彫形下圖ノ如シ



自分紋黒三處以下同
紋ヨリ上ヲ赤クス

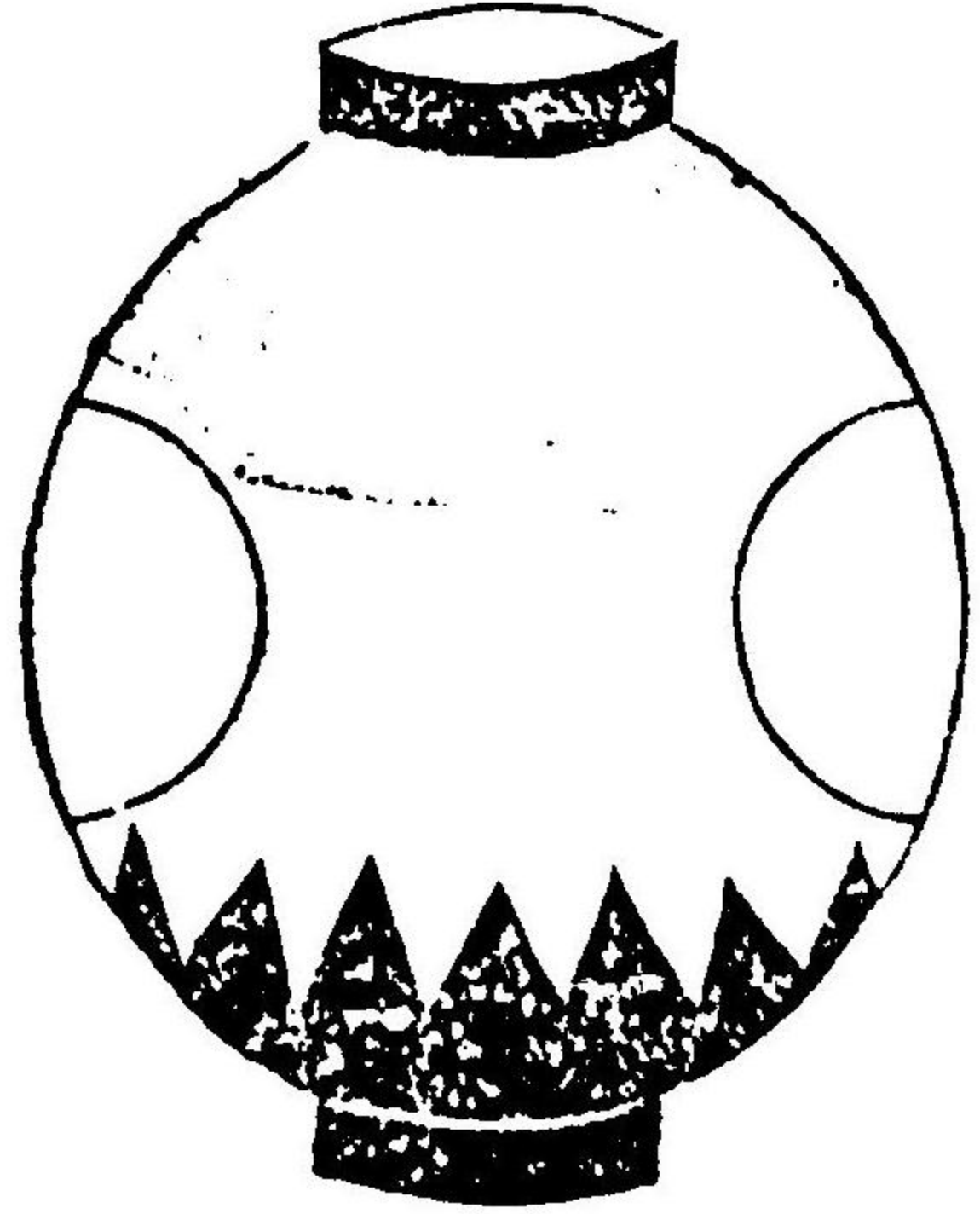


勅 任

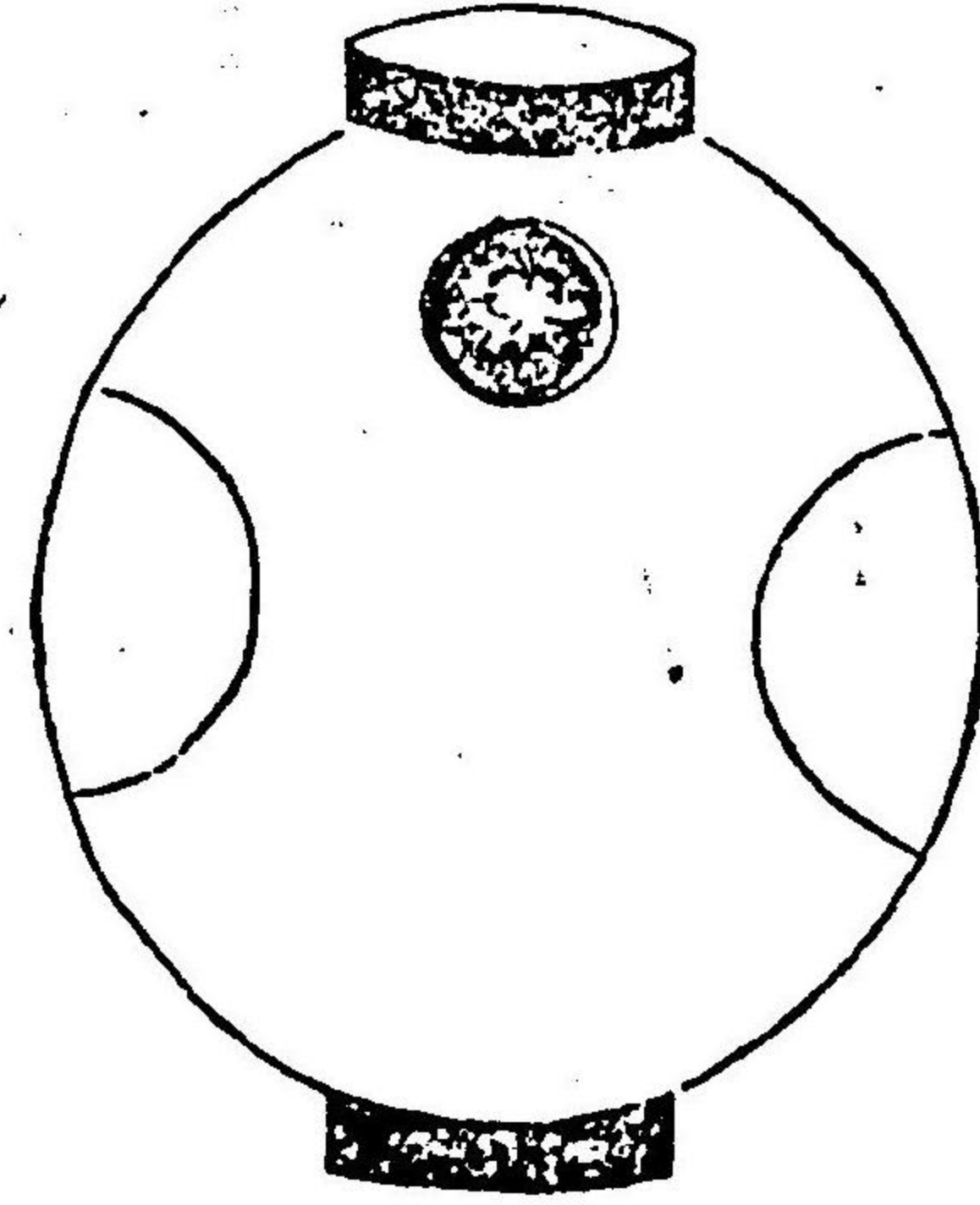


兵部省官印

奏 任

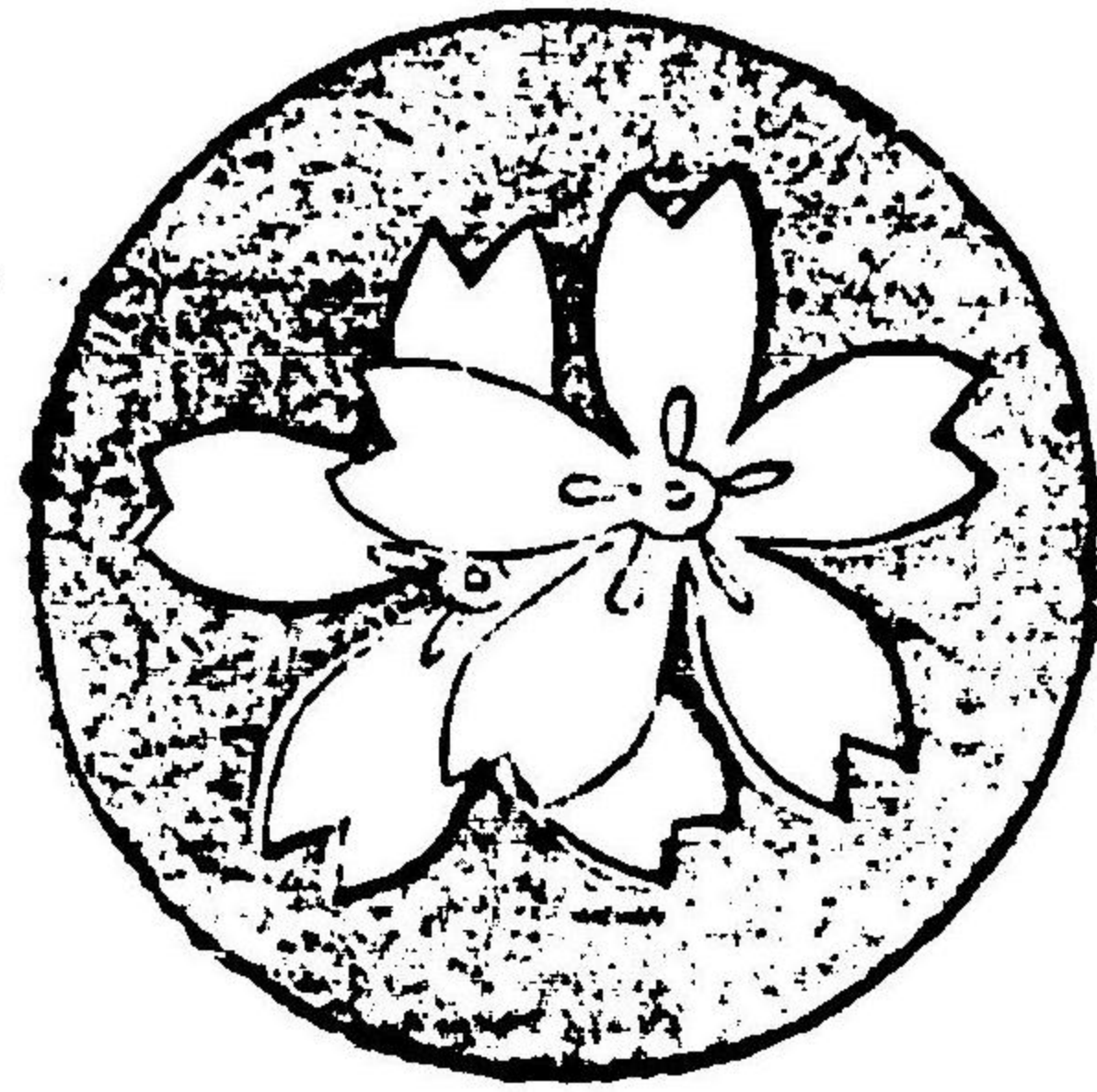


下 等 官 女

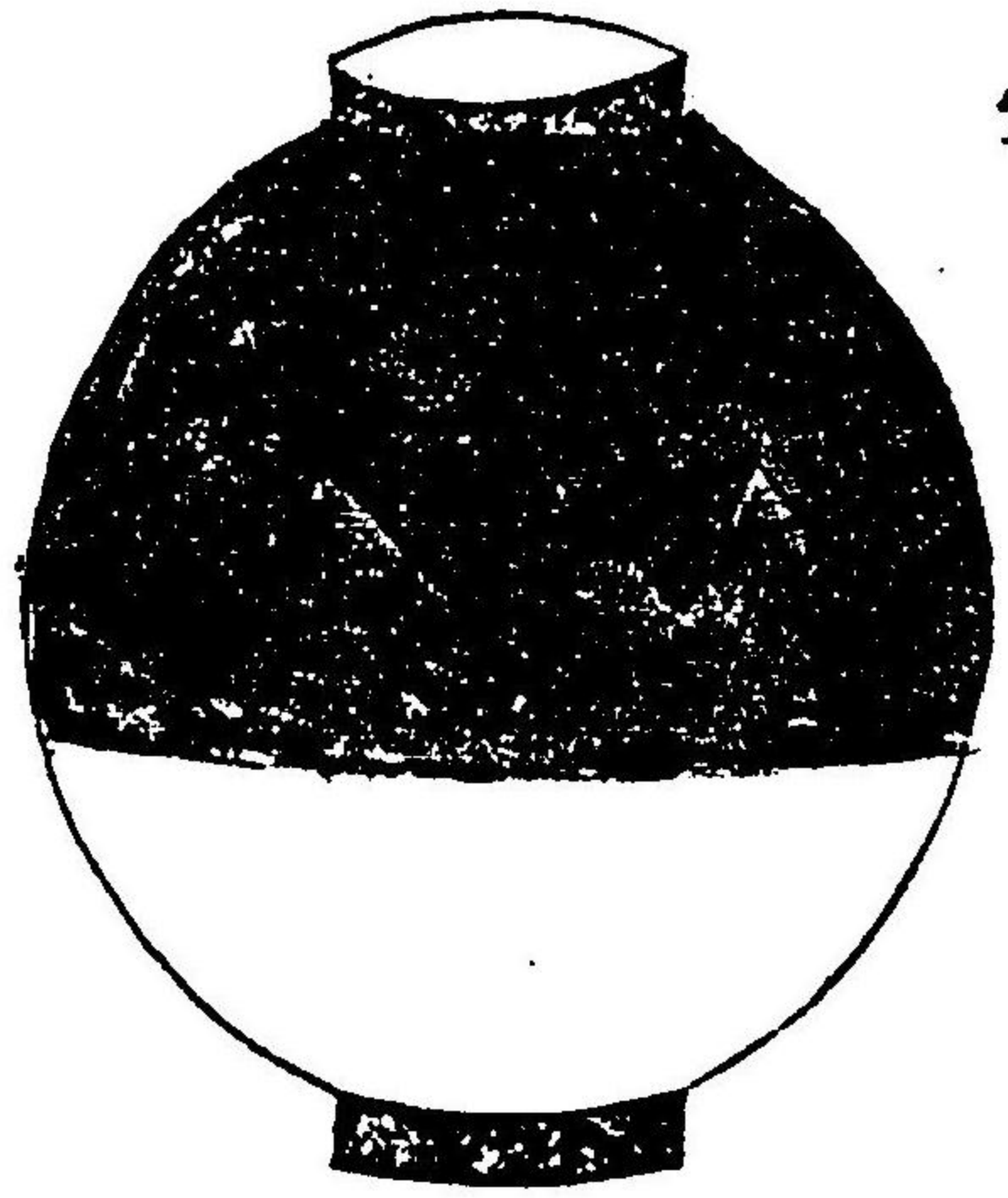


印赤丸一處ワタリ二寸

櫻白雁形下圖ノ如シ

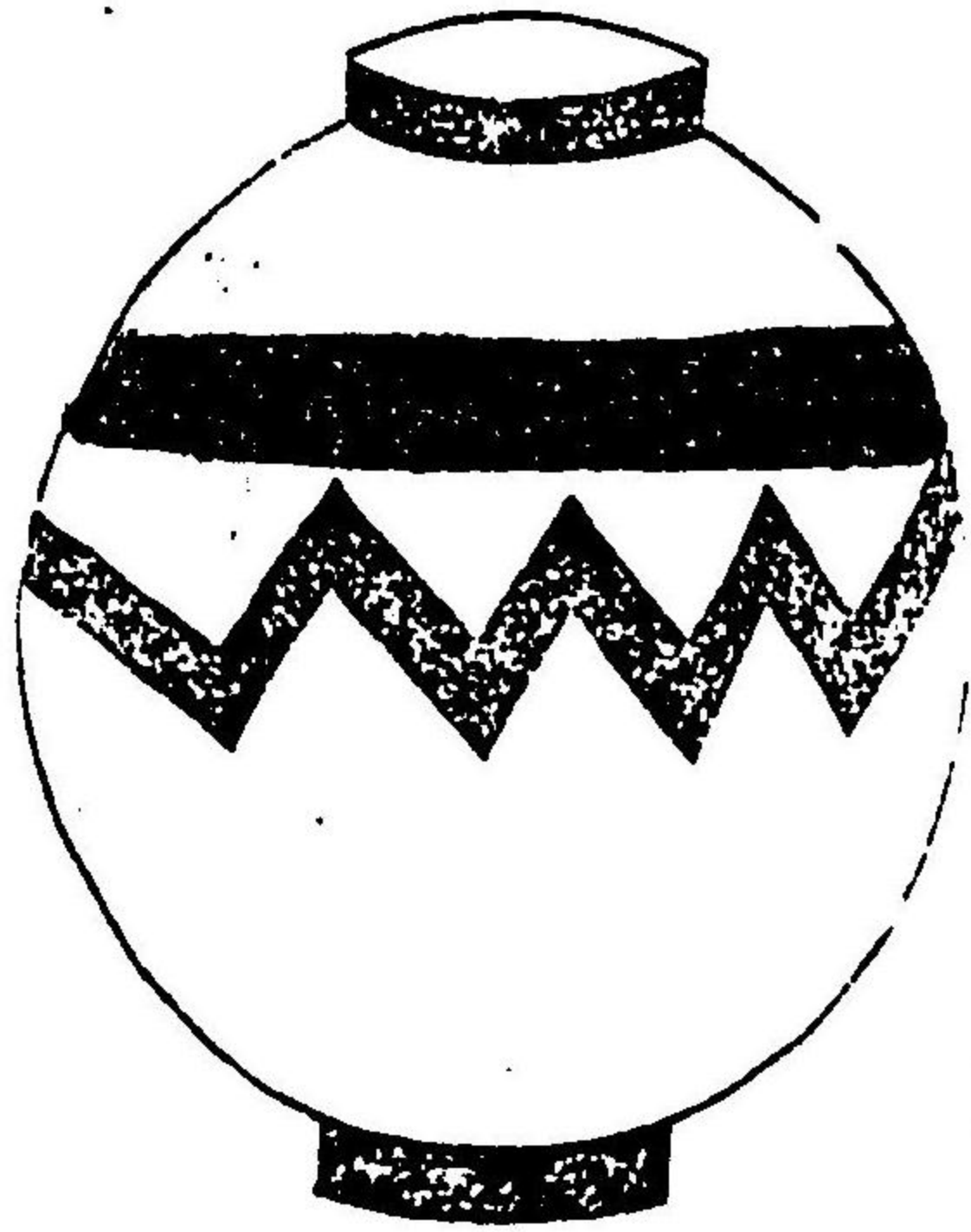


任 勅 海 軍

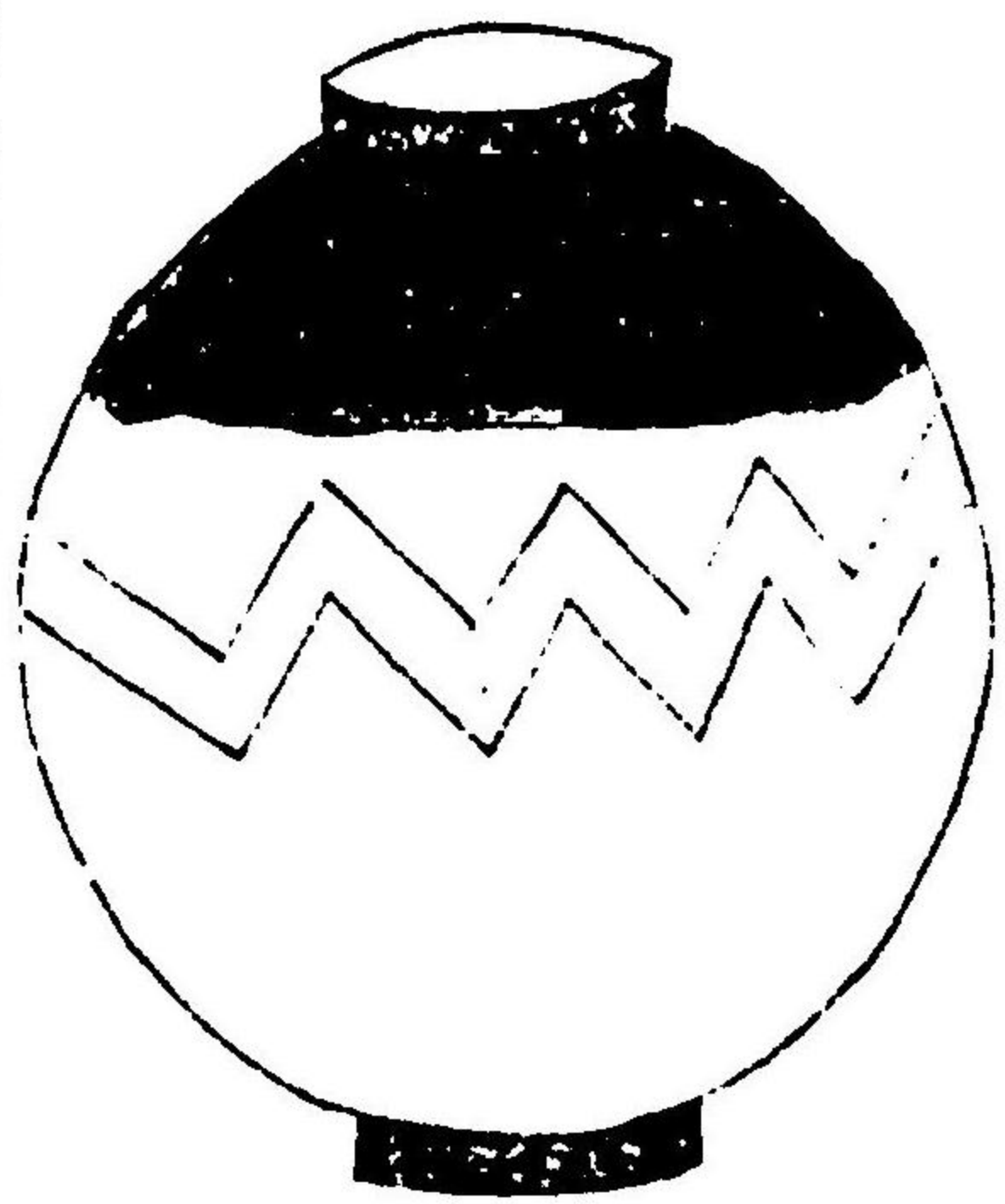


下等十官

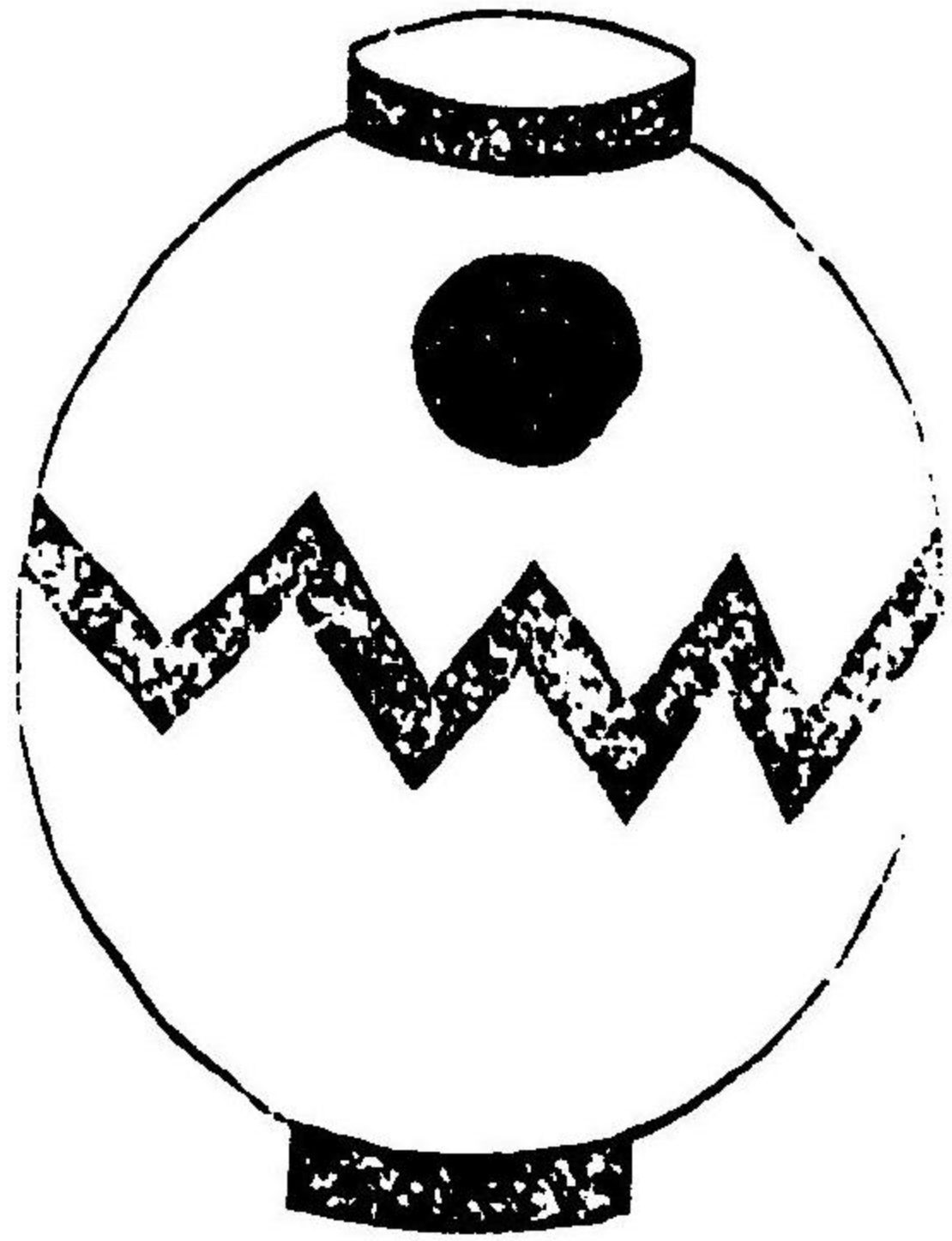
任 判



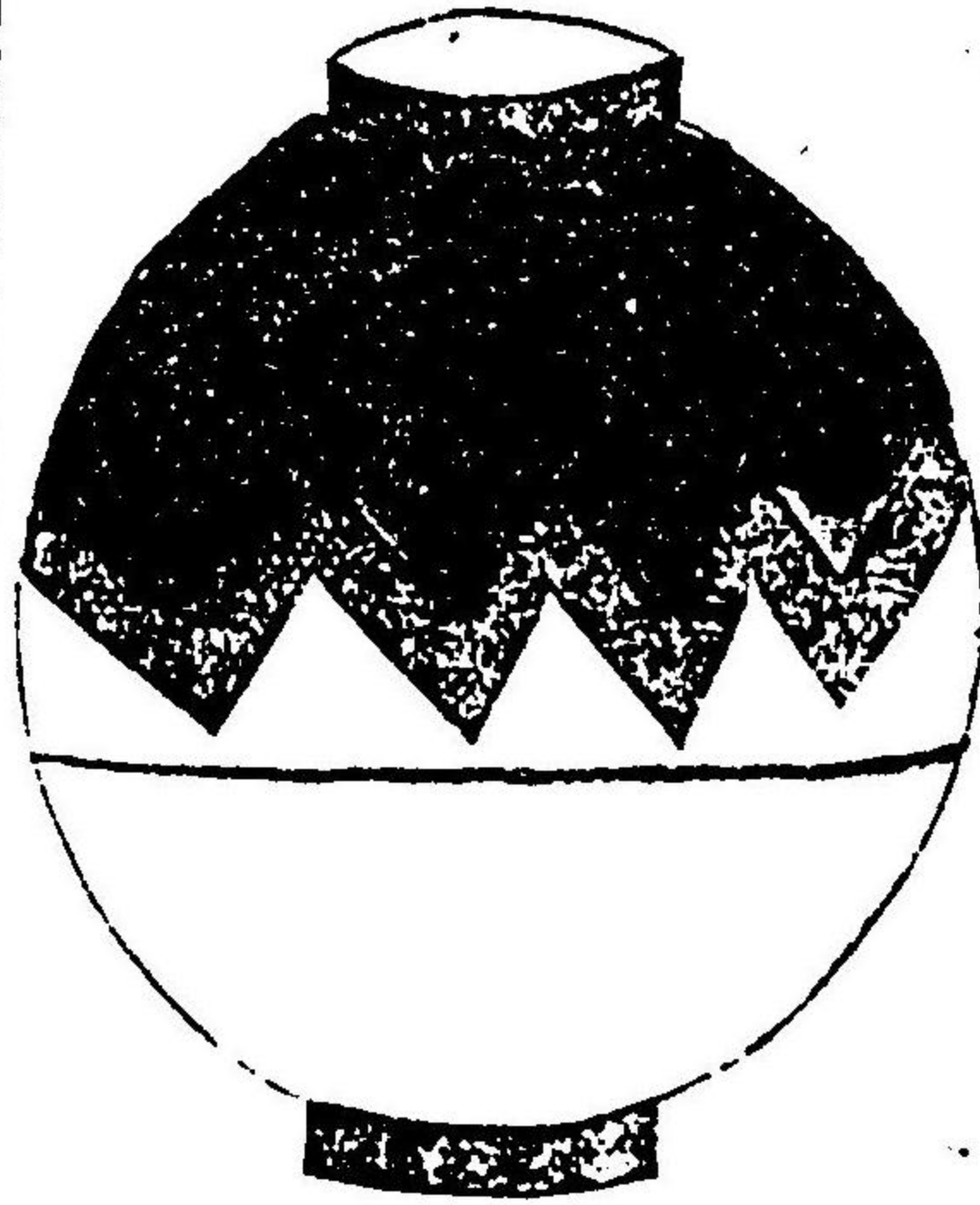
任 奏



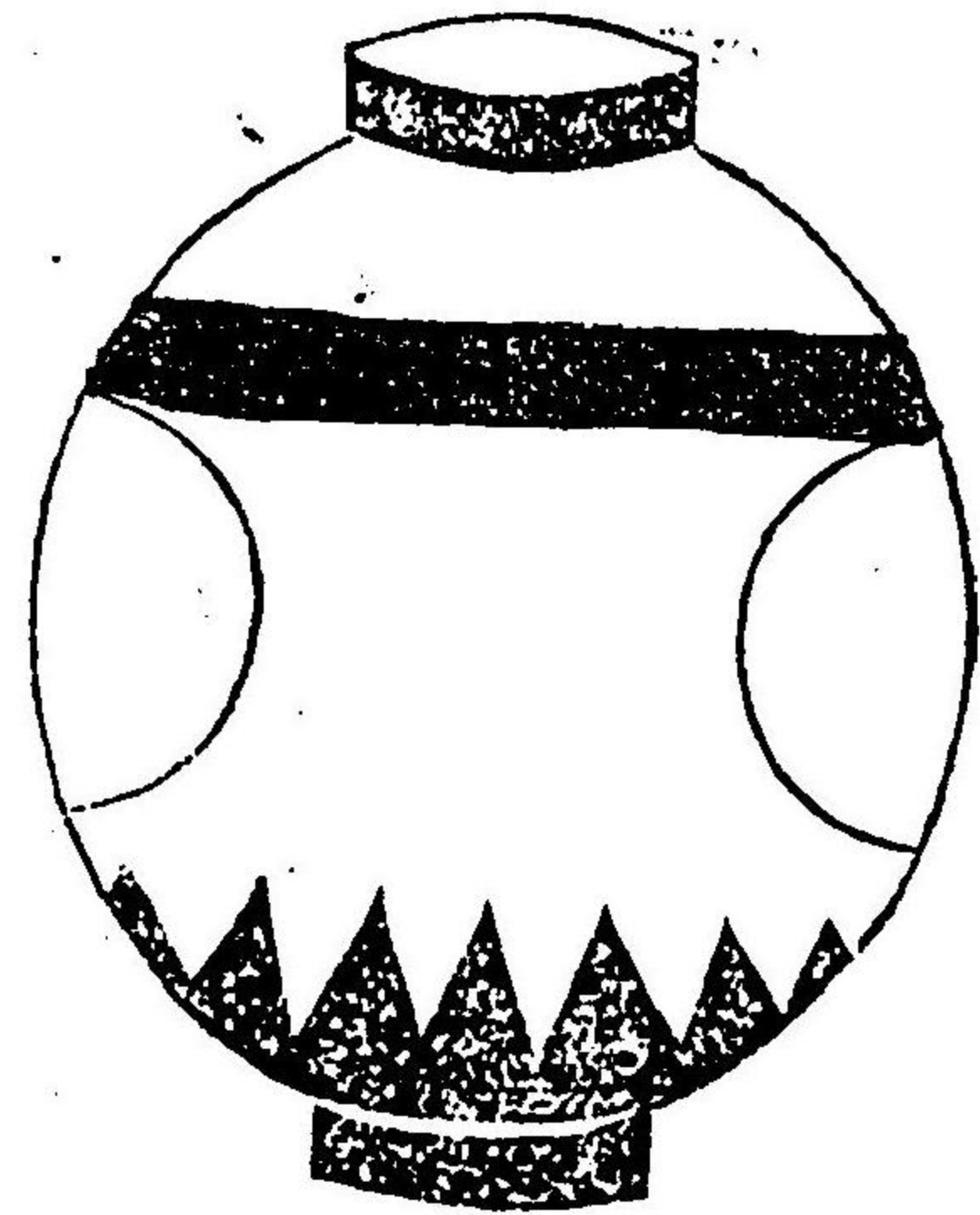
下 以 長 伍



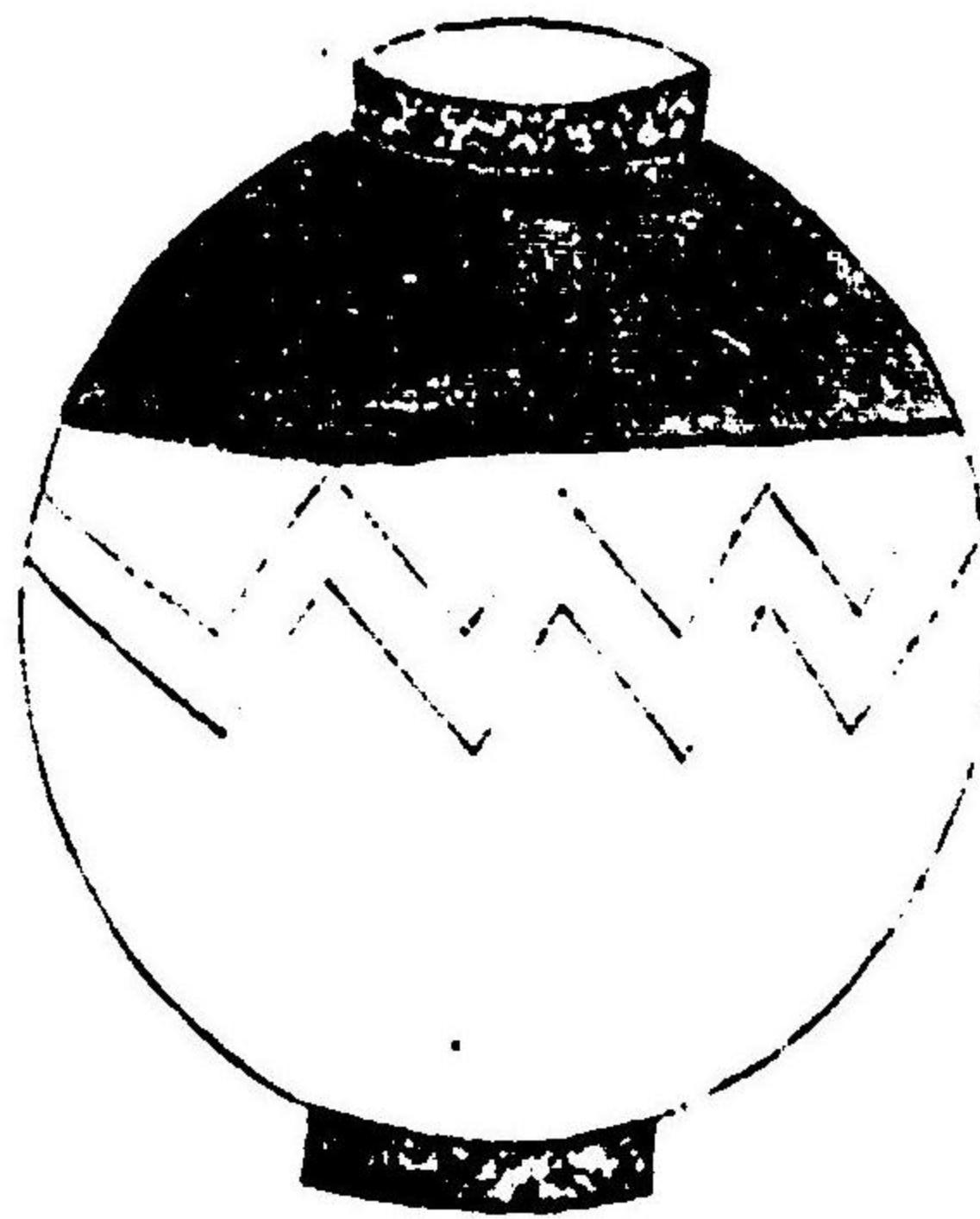
任 勅 陸 軍 任 判



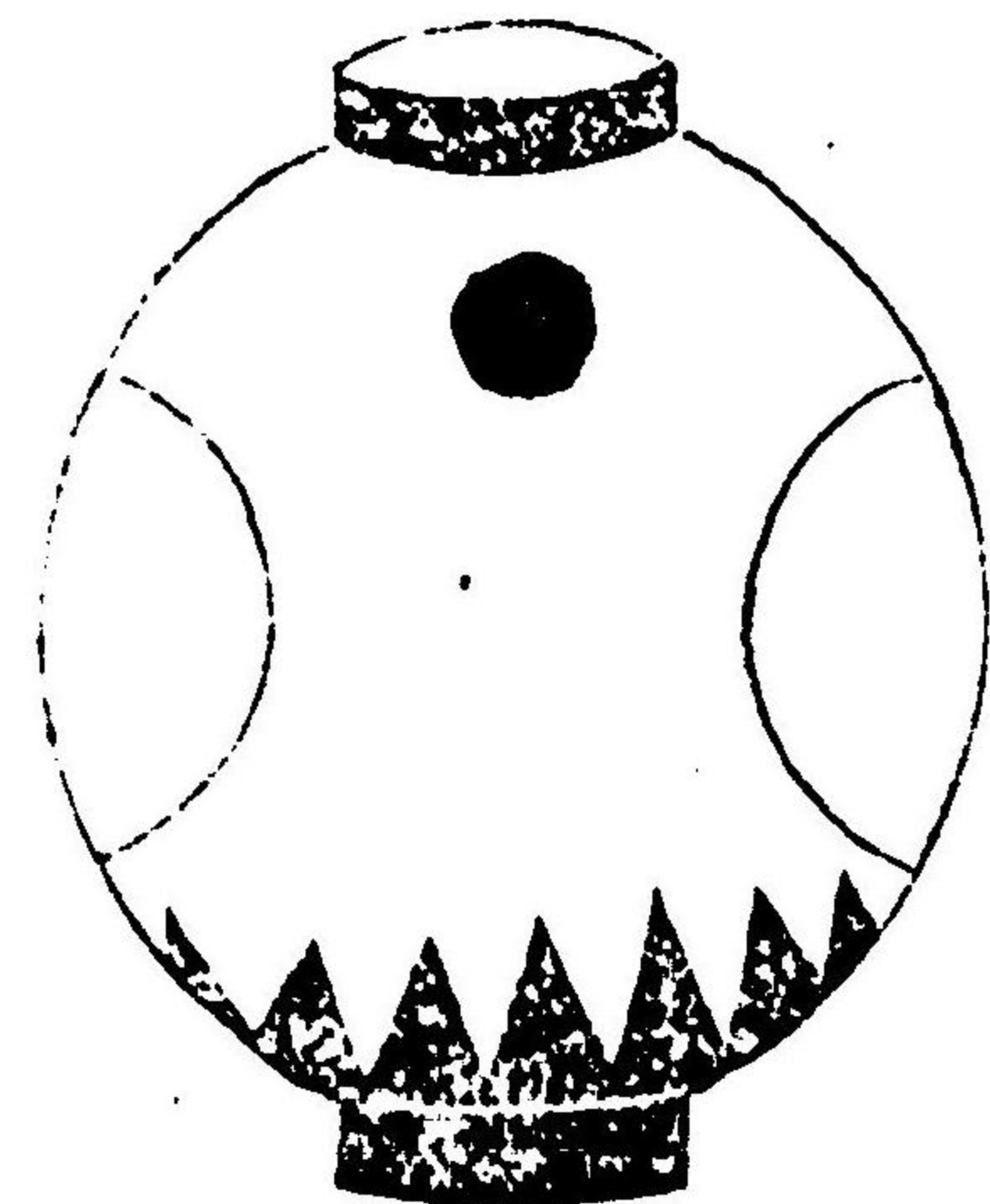
軍



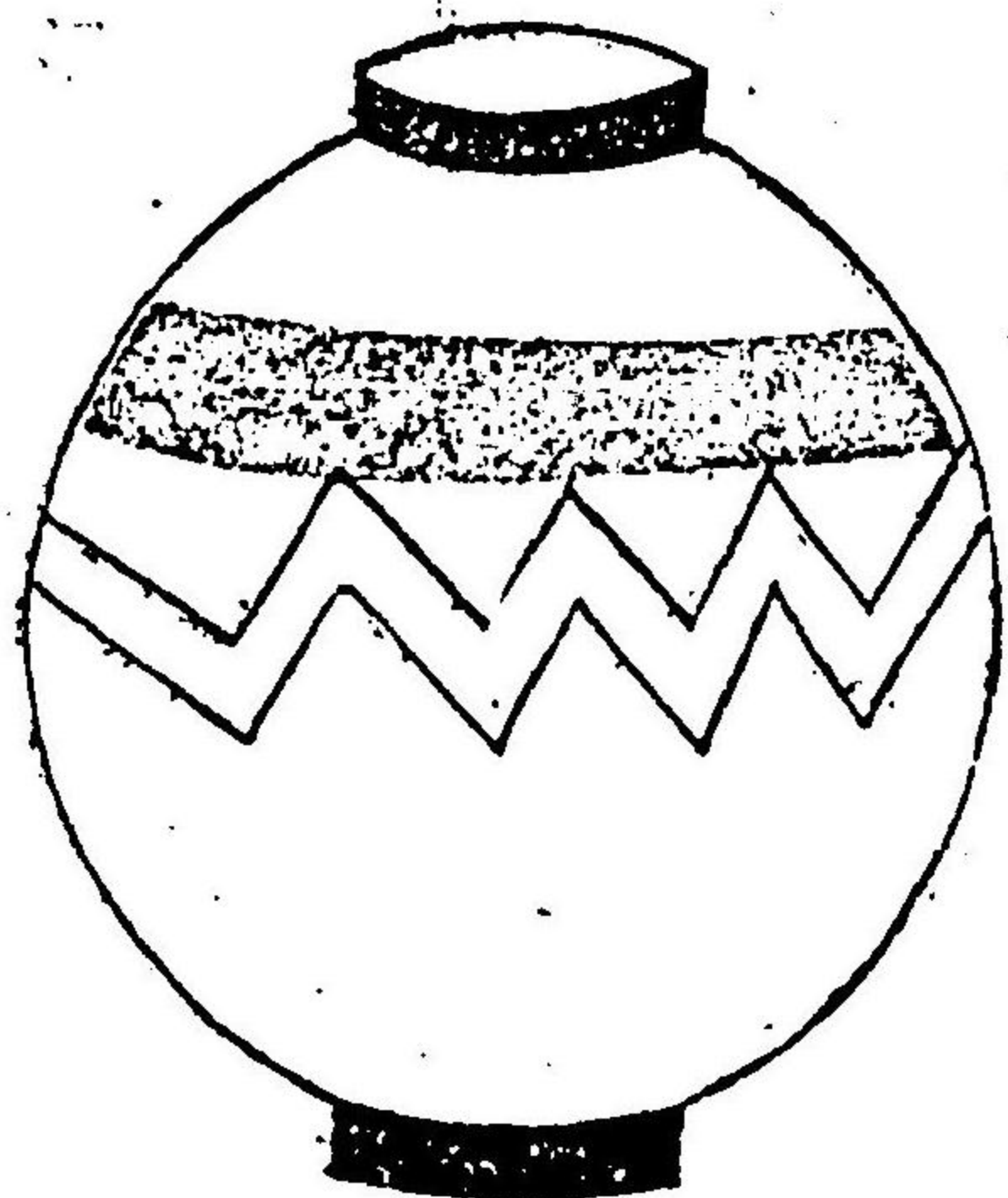
任 奏



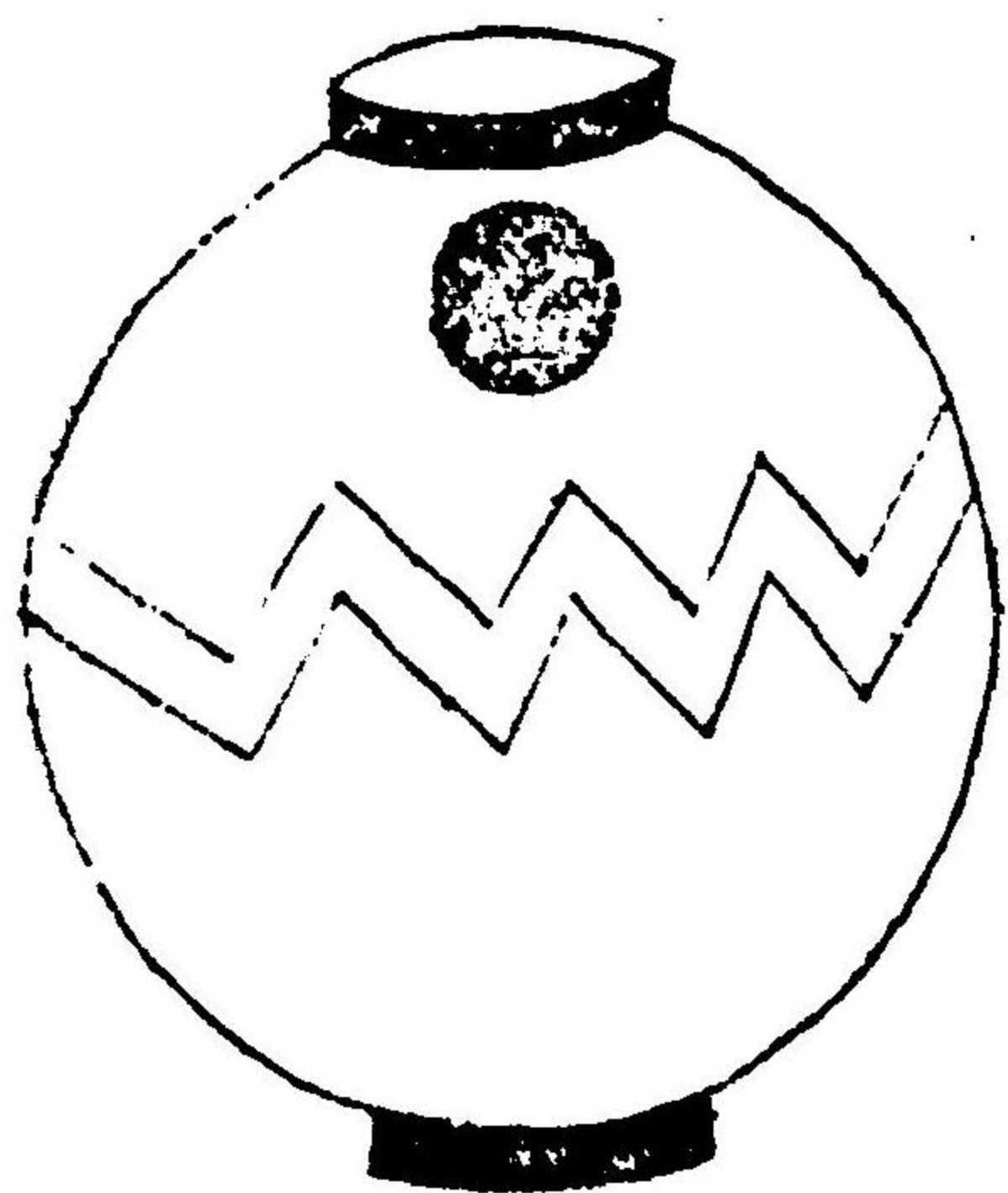
任 丁 使 部



判 任



一等水夫 以下



下等土官

四八〇

●第五百四十九號 明治七年十一月廿四日

挑灯目印ノ義ニ付テハ本年四月第二百六號ヲ以布達ノ次第モ有之候處士民ノ内間々官印ニ紛敷朱引朱繪印付挑灯相用候者モ有之哉ニ相見ヘ不都合ノ事ニ付於ル八年一月一日ヨリ銘々未紋ハ勿論朱印相川候義ハ屹度差止候條心得違無之様可致候事

●甲第二百二十七號 明治八年三月廿八日

挑燈朱紋並朱印ノ儀ニ付昨七年第二百六號第五百四十九號ヲ以相違候趣モ有之候處今以相川候者有之哉ニ相聞ヘ不都合ノ事ニ付直ニ可及處置ノ處自然未々布達ノ趣熟知不致モノ有之候クハ愍然ノ儀ニ付來ル五月十五日限リ猶豫致シ右日限後ハ相當ノ可及處分候就テハ自今挑燈職ノモノハ撰ニ朱紋朱印ノ挑燈職致間敷若強テ依頼ヲ請候ハ其姓名住所ヲ聞置キ早々可届出此旨厚ク可相心得事
右之通管内無洩相達スルモノ也

●甲第三百二號 明治九年九月十八日

提灯朱紋朱印之儀ニ付本年甲第二百八十七號ヲ以及布達候處朱紋又ハ朱文字有之提灯ハ人民一般相用不苦朱印ノ儀ハ嚴禁之筋ニ候條心得違無之様注意可致事

但藍紅取交彩色有之提灯神佛寄進及ヒ小兒鬪弄ニ相用候儀ハ不苦尤惣朱丸之儀ハ不相成候事
右之通管下出雲國ニ無洩相達スルモノ也

●甲第二百二十四號 明治八年五月三十日

第七十七號

使 府 縣

金銀貸借証書面金員數等ヲ改作塗抹シ又ハ一二十等ノ數字ヨリ往々紛雜ヲ醸シ不都合ノ儀不辨候間凡ソ他日ノ証據ヲ要スル書類ハ自今一二十ノ數字ハ壹貳拾ノ字体ヲ用ヒ無餘儀改作塗抹スル時ハ其處ニ押印・且物品員數等一紙ニ書盡シ難ク又ハ帳簿ヲ爲スモノハ其欄目及ヒ綴目ニ押印シ總テ他日紛雜ノ基ヲ生セリル様深ク注意可致旨各管下ヘ可曉諭此旨相達候事

●第三類 ○雜

四八一

明治八年五月十二日

太政大臣 三條實美

右之通從太政官御達相成候條管内無漫觸示者也
●甲第六十三號 明治九年二月廿八日
第十三號

使 府 縣

近來 行幸ノ節御途中ニ於テ突然儀仗内ニ衝入シ詭狀建言者ノ類差出候者往々有之右ノ國律ニモ明載有之儀
ニテ甚以不相濟次第ニ候得共小民共情事切迫ノ餘リ心得違ニ依リ終ニ罪科ニ相觸レ候様ニテハ怒然ノ至ニ候
條向後右様心得違ノ者無之様諭達可致此旨相達候事
但訴願建言等規則ニ依リ其筋ニ差出候ハ、取上ケ可相成旨ヲモ是又懇諭可及置事

太政大臣 三條實美

明治九年二月八日
右之通從太政官御達相成候條管内無漫觸示者也

●甲第二百三十六號 明治十年八月十六日

人民實印ノ儀ハ後日ノ確証ト相成モノニ付最モ貴重スヘキ等ノ處兎角等閑ニ流レ間ニハ父兄ノ印ヲ子弟ニ讓
リ或ハ一印ヲ以テ父子兼用シ甚シキハ有合印店判等ヲ混用候向モ有之哉ニ相聞ニ候處右ノ公達ニ悖ルニミナ
ラス遂ニ黠民ノ奸策ニ陥リ許多ノ損害ヲ蒙ルモ難計ニ付爾後右等ノ所業無之様諭達可相心得此旨相達候事
但是迄若區會所ニ印鑑差出無之向ハ速ニ届出爾後廢減等ニテ改印ノ節ハ其事故ヲ詳記シ無遺漏可届出
候事

明治十一年十月七日

●諭達
人民實印之儀ハ諸事証據ニ相成大切之品ニ付以來實印相預候儀固被禁候旨明治五年太政官第百九十七號ヲ以
テ公布相成候處近來金銀公債証書買賣讓與等取組ノ爲メ妄リ實印ヲ他人ニ相預ケ又ハ封緘ノ上寄托イッ
置等ノ者有之哉ニ相聞以ノ外ノ事ニ候右者犯禁之所業ニ付預ケ人預人共刑罰ニ被處候ハ當給之儀ニテ後日
噬臍無及儀ニ候條豫テ公布之御旨意ヲ確守心得違無之様可致此旨諭達候事

●甲第六十二號 明治十一年六月廿四日

皇靈祭之義別紙之通太政官ヨリ御達有之候條右御祭日管内一般日章御國旗掲揚可致此旨相達候事
(別紙)

官院省使府縣

●第二十二號
綏靖天皇以下後櫻町院天皇迄御歷代御式年御正辰祭共被廢更ニ春秋二季祭ノ被撤神武天皇ノ御正席トシ先帝
迄御歷代並ニ后妃以下皇親御台祭被執行候條此旨相達候事

但神武天皇及ヒ後桃園院天皇以下御近陵御式年御正辰祭並ニ其后妃皇親御配享ノ儀ハ猶從前ノ通被執行候
事

春季皇靈祭 春分日

秋季皇靈祭 秋分日

明治十一年六月五日

太政大臣 三條實美

●第二十三號
明治六年十月第三百四十四號布告中休暇日ニ左ノ春秋二季祭日ヲ被加候條此旨相達候事
官院省使府縣

春季皇靈祭 春分日

秋季皇靈祭 秋分日

明治十三年一月八日

●郡乙第一號

郡役所叙勳者其勳章佩用ノ節ハ假皇居青山御所諸御門無鑰札ニテ通行被差許候條此旨叙勳者ニ可相達候事

●乙第六十二號 明治十三年九月三十日
非職有位並勳六等以上ノ輩一身上ニ係ル事柄ニ付郡役所若シハ戶長役場ニ喚起傳達等ヲ要スルコトアルト
キハ其執事ヲ可呼出若シ執事無之向ハ左ノ文體ニ倣ヒ書面ヲ以テ往復可致此旨相達候事

郡 町 村

●第三類 ○雜

文例

今般何々之儀ニ付云々 照會 有之候條 受寄送書 差出可有之此段及御通達候也

年 月 日 位階 姓名 殿

封面記載方同上

今般何々之儀ニ付云々 照會 有之候間 受寄送書 御差出相成度此段及御通知候也

年 月 日 位階 姓名 殿

封面記載方同上

●甲告第九十二號 明治十五年九月五日

非役從三位及勳三等以上ノ輩平常天機伺等ニテ參朝ノ節車寄門迄乘車馬被差許候旨其筋ヨリ違相成候條此旨

●乙第三十八號 明治十四年六月十七日

詞訟審判上必要ニ付郡役所並戸長役場所管ノ帳簿等寫取方各裁判所ヨリ照會越候條ハ右寫本ニ正寫ノ証トシテ該所ノ印ヲ捺シ同所ニ差廻候條可致此旨相違候事

但寫本多數ニテ費用相掛候條ハ其照會ヲ發シテ裁判所ヨリ仕拂候條ト可相心得且詞訟事件ニ依リ元帳ヲ要スルノ照會アルトキハ是亦差廻方可取計候事

●乙第八十二號 明治十七年六月十四日

犯罪証據物トシテ裁判所ニ於テ戸長役場備置ノ戸籍帳又ハ土地建物船舶賣買讓渡賣入書入典書判印簿ヲ謄寫シ本書加除スルヲ得サル様掛紙契印等ヲ爲シ原簿還付該寫書ハ戸長ノ關印ヲ要求ノ場合ニ於テハ日長之ニ調印スルニ若騰寫ニ拘ハル内加除ヲ要スル時ハ其都度裁判所ノ許否ヲ得ヘシ備ト心得ヘシ此旨相違候事

●甲第二十八號 明治十五年二月廿三日

某郡町村人民惣代又ハ某町村士族 某外若干名惣代等ノ名義ヲ以テ諸願伺書等差出候向ハ因ヨリ其委任狀所持スヘキ筋ニ付自今右等ノ書面差出候條ハ必ラス其委任狀持帶一應檢閱ノ可受義ト可相心得此旨相違候事

●乙第二百二十三號 明治十五年十二月五日

重罪ノ刑ニ處セラレタル者財産管理人ノ儀ハ受刑者ヲシテ家族又ハ親戚之内ニ就テ之ヲ指定セシメ其姓名所轄郡役所ヲ經テ管轄裁判所ニ届出置キ他日買貸借等ノコトアルトキハ都テ該裁判所ノ處分ヲ仰カシムヘシ此旨相違候事

但本文家族又ハ親戚等無之トキハ戸長ニ於テ保管ノ財産處分之儀ハ總テ裁判所ノ指揮ヲ受クヘシ

●郡乙第四百四十五號 明治十七年十月廿三日

自今暴風雨有之節ハ其概況及被害ノ員數等左ノ様式ニ倣ヒ一郡毎ニ製表五日以内進達可致此旨相違候事

但本文郡別ノ外人口壹萬以上ノ市街地ハ其市街地限リ別ニ取調一併進達スヘシ

暴風雨概況

何國何郡	名	稱	被	害	員	數	名	稱	被	害	員	數
	人		死	亡			堤	塘	破	損	筒	所
			負	傷			溝	渠	破	損	筒	所

第十七年郡乙第四百六十一號

第三類 ○雜

牛		馬		家屋		塀		日本		西		形		道		橋	
死亡	死亡	潰崩	半潰	破損	破損	破損	破損	沈没	流失	破損	沈没	流失	破損	流失	破損	流失	破損
		軒數	軒數	軒數	軒數	箇所	箇所	五十石以上	五十石未滿	五十石未滿	風帆	風帆	風帆	風帆	風帆	風帆	箇所
川除	破損	箇所	破損	井堰	田	畑	壁田	樹木	雜								員

四八六

明治何年何月何日

一員數ノ確實ヲ得難キモノハ姑ク概數ヲ掲ケ追テ補正スルヲ要ス
 一簿ノ欄内ヘハ名稱中ニ漏タルモノヲ掲ケ
 一名稱中被害ナキモノハ其員數ノ欄内ニ圓點ヲ付ス

郡乙第百六十一號

明治十七年十一月十二日

郡 役 所

本年十月本縣郡乙第百四十五號達本文五日以内進達可致ノ八字ヲ選クモ三日ヲ經過セサル内必ス其役所ヨリ直ニ内務省地理局ヘ送付スヘシノ三十二字ニ改メ但書末文進達スヘシノ五字ヲ削リ送付スヘシ且同時ニ本廳ヘモ同様進達スヘシト更正候條此旨相達候事

乙第百九十五號

明治十八年七月二日

郡 役 所 戶長役場

地所賃入書入建物船舶賃入質ノ公証ヲ受ケタルモノハ出訴期限無之儀ニ候條爲心得此旨相達候事
 但本文ニ抵觸スル從前ノ指令ハ取消ス

乙第百六十號

明治十九年四月廿三日

郡 役 所 戶長役場

地所賃入書入規則第六條但書ニ據リ金主ヨリ差出タル届書ハ自今當廳ヘ進達ニ及ハス戸長役場ニ保存スヘシ
 右相達候事

告示第百九十七號

明治二十年十二月廿八日

松江市街

來明治二十一年一月一日以降毎日縣廳報鐘ニテ十二打ノ緩鐘ヲ以テ標準時正午十二時ヲ報ス

告示第百二十八號

明治二十一年十二月六日

自今縣廳及所屬諸官衙門内下馬下乘ニ及ハス

鳥根縣訓令第百六十八號

明治二十五年五月廿一日

郡 役 所

郵便ニ依リ送達スル訴訟書類ヲ民事訴訟法第百四十五條第二項ニ據リ戸長(町村長)ヘ預ケ置キタル書類ニ

第三類 ○ 雜

四八七

テ其送達ヲ受クヘキモノ在ラサル場合ニ於テ戸長町村役場ヨリ返還候向モ有之哉一候處右ニテ涉又ノ旨
趣ニモ相反シ候條其儘該役場へ留置シヘキ旨戸長(町村長)へ訓示ス可シ

●島根縣訓令第九十二號 明治二十八年九月一日

島 廳 郡役所 警察署 警察分署 市役所 戸長役場
町村役場

明治二十八年八月陸軍省令第十七號陸地測量諸條例施行細則第十二條ニ依リ陸地測量諸標及同敷地保管ノ方法
左ノ通定ム

一市長戸長町村長ハ其市町村内ニ於ケル陸地測量諸標及同敷地ヲ監守シ毎二箇月一回以上巡視シ其景況ヲ每
年十二月末日迄ニ市長ハ知事ニ戸長町村長ハ島司郡長ニ報告シ島司郡長ハ翌年一月十五日迄ニ知事ニ報告
スヘシ

但暴風雨等アリタルトキハ速ニ巡視シテ其景況ヲ報告スヘシ

一陸地測量諸標及同敷地ニ失毀損其他異狀アルトキハ直ニ其景況ヲ詳悉シ市長ハ知事ニ戸長町村長ハ島司郡
長ニ報告シ島司郡長ハ知事ニ報告スヘシ

但毀損ニ係ルモノハ其景況ヲ記シタル圖面ヲ添付スヘシ

一警察署長同分署長ハ時々其所轄内ニ於ケル陸地測量諸標及同敷地ヲ巡視シ亡失毀損其他異狀アルトキハ直
ニ其景況ヲ詳悉シ知事ニ報告シ同時ニ之ヲ監守スル市長戸長町村長ニ通報スヘシ

但毀損ニ係ルモノハ其景況ヲ記シタル圖面ヲ添付スルハ前項但書ニ同シ

一陸地測量諸標ニ關スル犯罪ヲ告發シタルトキハ前各項ニ依リ其要領ヲ報告スヘシ其事件結局シタルトキ亦
同シ

第四類

土木

道路橋梁

●第二百六十四號 明治七年五月十四日

各區正副戸長

道路之儀從來修繕之不注意ヨリ些少ノ降雨ト雖捌クヘキ道無之道路ニ濫レ入馬通行ノ困却前已ナラス其爲不
潔ヲ生シ候間已後別紙規則之通相心得修築可致事

道路修築規則

第一條 道路修築ハ中央ヲ高クシ其兩端ヲ底ク修築スルヲ要ス

第二條 道路水捌悪敷場所ハ兩端ヘ水道ヲ設ケシム

第三條 水道ハ石或ハ竹木ヲ以テ圍ヲナシ不潔不相成様時々掃除スヘシ

第四條 道路修築ハ其區戸長副時々見分ノ上片時モ水溜リ無之様注意スヘシ

第五條 山陰ノ本道並枝道枝道トハ第二百二十
一號中ノ圖形ノ通可心得修築スル時ハ必ニ縣廳へ届出ルヲ法トス

第六條 修築入費賦課之儀ハ從來仕來ヲ以テ分賦スヘシ

右之通相定候事

●甲第六十一號 明治十八年三月十七日
道路ヲ橫裁スル小溝ハ之ヲ暗溝ニスルカ又ハ路面ニ齊ク蓋ヲ設ケヘシ此旨布達候事

但從前設置ノ分ニシテ本文ニ觸ルモノハ來ル五月限り改造スヘシ

●縣令第八十八號 明治二十年十二月七日

人民私費ヲ以テ道路ヲ開鑿シ又ハ橋梁ヲ架設シ其費用償却ノ爲メ賃錢請求ノ儀計可スルモノト雖モ左ニ記ス
ル者ニ對シ賃錢ヲ請求スルヲ得ス

但明治十八年六月甲第六十六號布達ハ廢止ス

一 隊伍ヲ組ニ行進スル軍隊及制服着用ノ憲兵

二 近衛鎮臺充員及後備軍召集令狀所持ノ軍人並令狀配達ノ脚夫

●第四類 ○道路橋梁

三 制服着用ノ警察官吏及囚人運送ノ看守押丁並囚人
 四 電信及郵便物集配人並飛信及郵便物運送脚夫 兼配人又ハ船夫等ノ往來ノ便ヲ爲スル者
 ●鳥根縣令第四十七號 明治二十七年六月廿五日
 明治二十年十月ニ縣令第八號項目中四ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス
 五 明治二十七年十月勅令第十五號消防組規則ニ依リ設置シタル消防組員（水及消防演習等ニ際シ成規ノ服裝ヲ爲シタル時）
 ●乙第二十八號 明治十三年五月三日
 人民私費ヲ以テ架設之橋梁渡津自今軍隊隊伍ヲ組ミ行進之節ハ其貨錢請求不相成候條案ヲ架設船頭所之者
 →無漏可相違此旨相違候事

●乙第五號 明治十四年一月廿四日
 管下各道川々渡船場ノ内新ニ架橋ケ錢取受ノ許可ノ得タルトキハ自然該渡船ノ營業ハ廢止候條ト可心得候
 ハ自今鹽橋等ニ際シ通行差支候節ハ架橋人ニ於テ既定ノ橋取受渡船取計旨其向ノ者ハ相違官營或ハ
 町村ノ共議費等ヲ以テ成立タル橋梁ニテ流通等ニ罹リ渡船ヲ要スルトキハ不取該該橋梁ノ町村ニ於テ預
 行差支無之様渡船取計旨キ道ヲ架設迄ノ間渡船資金取受方等ノ儀ハ其時々出願致シ候旨此旨相違候事
 ●乙第二號 明治十五年一月十九日
 人民私費ヲ以テ架設ノ橋梁渡津及其私費開墾ノ道路等志兵巡行ノ節ハ單騎歩ト雖モ制服着用ノ節ニ限リ貨
 錢請求不相成旨其筋ヨリ違有之候條案ヲ許可候條架設渡船開路職人共ニ無漏可相違此旨相違候事
 ●乙第三十二號 明治十五年十二月廿一日
 人民私費ヲ以テ開設シタル橋梁渡津及ヒ道路等電信配達人配達ノ節ニ限リ貨錢請求不相成
 旨其筋ヨリ違有之候條案ヲ許可ノ免許人共ニ遺漏無ク違シ置キ可シ此旨相違候事
 ●乙第八十九號 明治十六年七月三日
 郡 町 村
 郡 町 村

人民私費ヲ以テ架設ノ橋梁渡津等郵便脚夫ノ乘船運送郵便物等之儀ハ其時々出願致シ候旨此旨相違候事
 請求不相成旨客年日本縣乙第三十九號ヲ以テ相違置候條自今郵便局ヨリ左ノ如キ印紙相違候條右所持ノ者
 →制服ノ着否ニ不拘貨錢請求不相成旨其筋ヨリ違有之候條此旨免許人共ニ遺漏ナク違置シ候旨此旨相違候事
 此印ハ曾テ郵便局ヨリ各
 郵便局ニ渡シタル印

二寸五歩

第 一 號

何 國

何 地 郵 便 局 脚 夫

何 誰

明治十六年 月 日

何 何 郵 局 脚 夫

●無號 壬申九月二十五日
 河川堤防
 大橋其外共高欄へ魚圍籠繫下ケ置候儀問々有之以外ノ事ニ候以來見付次第其品取上ケ急度可及所置事
 一 越中網仕掛網橋杭へ繫留候儀不堪之至ニ候速ニ爲取拂給不取用候ハハ前同様可及所置事
 一 灘中へ魚圍舟仕立置候儀水行差障相成以ノ外ノ事ニ候條早々可爲取拂事
 一 家並津付へ諸材木等積立置候モノモ有之明テモ出張候テハ水行差障相成候條早々可爲取拂
 一 灘付へ棧橋仕立候儀長二間ヲ限其餘者可爲取拂事
 一 水行ニ關係候儀ハトモ聊ヲリトモ無願ニテイシ候儀不相成候若違犯ノモノ有之候ハハ相當之咎可
 及事

●第四類 ○河川堤防

右之赴其持主共へ嚴重可申渡事

●無號 明治五年十月二日

第一 大區

大橋川筋旋船自儘ニ繫杭ヲ打建限ニ五六艘ヲ双へ旋船イテ候儀モ間々有之以ノ外ノ事ニ候右ハ水行並通
船差障ニモ相成候條四艘双ノ外不相成事

但繫杭之儀ハ從來十本之差許ニ有之候處増杭打建有之哉ニ相聞候條定數之外ハ第一ニ按取可申事

一 大橋川ノ外川々筋自儘ニ舟繫杭打建候モノモ有之哉ニ相聞候條是所早々爲取可申事

●無號 明治六年一月四日

鳥根縣十郡戸長へ

一 堤防橋梁之儀是迄年中無期限普請イテ來不都合ニ付自今四季ニ相定候事

但願方之儀ハ春普請ハ十一月迄夏普請ハ二月迄秋普請ハ五月迄冬普請ハ八月迄ニ可願出申事

一 急水ニテ堤防潰崩等出來候節ハ其時々可相願出申事

一 普請願出候ハ官員出張檢査之上目論見帳相渡候間皆出來之上相願出申事分テ請候節出來形精算帳ニ
冊可差出内一冊ハ檢印ノ上相渡候事

一 堤上堤腹或ハ川中へ作付之儀ハ兼テ嚴禁之處兎角心得違之者モ有之以ノ外ノ事ニ候右ハ水害ノ生シ候基
ニ付自今一切不相成候事

但石地ニ組込有之分ハ追テ相違候マテ是迄之通可相心得候事

一 川中へ魚漁之爲竹木ヲ建或ハ石ヲ積候儀ハ大ニ水行ヲ妨ル條自今一切嚴禁之事

一 自普請ヲリトモ自儘ニ橋上土手或ハ水刃等ヲ補理候儀ハ不相成候事

右之趣得其意小前末々迄不漏様可相觸若違犯之者於有之ハ急度可及沙汰條其旨可相心得事

●縣令第七十九號 明治二十八年八月十日

水防規則左ノ通制定シ本年九月一日ヨリ施行ス

但規則第一條ニ據リテニ組合相立所部役所及警察署又ハ分署へ届出シテ部役所ニ於テハ其部内取寄當局

第二十一年
照第百四號令

～申出～

水防規則

第一條 第一種第二種河川堤防及同種道路線ニ架設シタル橋梁ノ水防ハ其地主及關係町村ニ於テ組合ヲ設ケ
之ヲ負擔シ堤防ハ諸村區域境橋梁ハ便宜ノ箇所へ其受持橋木ヲ建設スヘシ
但人民私設ニ係ル橋梁ハ其所有者ニ於テ負擔スヘシ

第二條 斐伊川上流谷村新川馬木村飯梨川山佐布田高津川天見川五川ハ堤防有間ニ付左ノ割合ノ
以テ常ニ杭木以下ノ諸品ヲ最寄便宜ノ場所へ備置ヘシ
但他ノ諸川ハ水勢ノ強弱橋梁ノ大小等ヲ計リ本條ニ準シ適宜ニ備置ヘシ

- 一 杭木 長每百本
取交百本 一掛 矢 五挺
- 一 鐵 但長六尺以上 一 錫 籠 三挺

- 一 竈口 五 挺 負擔區域内橋梁ア
ル組合町村ニ限ル
- 一 蓋 三 個

- 一 空俵 四百俵
- 一 明松 五十本
- 一 荷 棒 三本
- 一 繩 百五十房
- 一 薪 二十貫目

以上ノ員數ハ本條ニ掲ケル五川ト雖堤防ノ大小水勢衝突ノ景况ニ據リ舊酌増減スルヲ得尤其他ノ物品ト雖
必要ト見認ムルモノハ適宜増加シ其増減ヲ要スルモノハ所轄郡役所ノ認可ヲ受シヘシ

第三條 出水ノ景况アルトキハ戸長ハ縣廳及所轄郡役所ニ飛報スヘシ郡役所ニ於テハ直テニ吏員ヲ派遣シ水
防ヲ指揮セシムヘシ

第四條 出水ノ景况アルトキハ地元町村人民ハ速ニ受持場ニ取付ケ樋門ノ閉鎖橋梁ノ支持其他防禦ニ必要ナ
ル手當ヲナン尙水量増嵩スルトキハ堤防及橋梁等ノ要所ニ相當ノ人員ヲ配駐シ嚴重ニ警戒スヘシ

●第四類 ○河川堤防

十三 家屋又は仮小屋ヲ建設スル事

十四 瓦礫塵芥其他汚穢物ヲ投棄スル事

第五條 第四條ニ違背シタルモノハ式拾錢以上壹圓貳拾錢以下ノ科料ニ處ス但刑法ニ正條アル者ハ各其本條ニ依リ處分セラルヘシ

●縣令第七十號 明治二十一年六月廿一日

明治二十一年五月縣令第六十一號堤防取締規則第四條第八項左ノ通更止ス
牛馬ヲ飼養スル事

●島根縣訓令第二百二十六號 明治二十五年八月五日

鳥 郡役所 市役所 戸長役場 町村役場

管内河川調査ニ關シ土木監督署員ヨリ照會若クハ協議アルトキハ便宜之ニ應ジ調査ニ要スル一切ノ事項ハ付キ支障ナキ様取計フ可キ

官舎 郡廳舎

●乙第四百十號 明治十七年九月三日

郡 町 村

町村内ニアル官舎官倉ノ類平常監守者ナキ分ハ於戸長取締方諸々注意シ破損或ハ非常ノ事變アルトキハ直チニ縣廳へ上申スヘシ此旨相違候事

●那乙第五百十五號 明治十七年十一月四日

郡 役 所

郡役所並附屬建築共營繕工事目録見及正算帳ハ自今別冊雛形ニ倣ヒ調査(調査)ス可シ此旨相違候事

(別冊)

(表紙)

何々 新築模樣替 舊算帳 算帳

何 所

何々建築費目録見帳

一 金何程 但登坪ニ付金何程

何登錄建築費

桁行何間

梁間何間

外底ニ何間ニ何尺共

但ニ階建又ハ三階建トモ
又ハ六尺何寸ノ以テ間トス

右仕様

一 地形石外面ヨリ何尺通リ内何十坪高何寸土持

一 柱下何石幾個ツ、土臺石下何個ツ、築込ニ

一 土臺下蹴込石何石何本重ヲ又ハ飛石敷

一 土臺何木何寸ニ何寸繼目何繼

一 柱何木何寸角

一 横何木何寸ニ何寸幾側入

一 桁何木何寸ニ何寸繼目何繼

一 母屋折同何寸角繼目何繼片屋根幾通リ

一 柱木同何寸ニ何寸繼目何繼

一 裏側同何寸ニ何寸瓦座何寸ニ何寸

一 裏板何板厚何歩或ハ野地打又ハ軒外計ニ裏板打

●第四類 (官舎郡廳舎)

土后杉竹木何寸是許又ハ杉皮又ハ建專
 根太尾引松丸太末口何寸置間ニ何本入レ根太何々何尺行ニ繩石何指付ケ
 意居鴨房何寸ハ何寸片橋入寄輪留
 何戸何本棧上テ留棧又ハ車付

天共建ニ線松何寸ハ何寸字線何寸ニ何寸置間送テ通テ杉何枚取テ又ハ羽決ニ板節ナシ
 爾下見高何尺杉皮又ハ杉板又ハ折下テ迄不殘而枚打
 屋根瓦葺又ハ何寸何寸足葺又ハ葺葺
 遺物何々疊新床何通リ繩ハ何表何線付キ以上列記ルル尚且細ニ記載スル

△印ハ朱書

大工何人

金何程
 但一坪何人一人ニ符何程

鐵物代

内

何釘何百本
 代金何程
 鐵釘何枚中何寸厚何歩
 代金何程
 是ハ戸壹枚ニ付何枚打何枚分
 算釘鐵何十本長何尺厚何歩
 此鐵自何程百文付テ
 代金何程
 但何百五ニ付
 但何百五ニ付
 但壹枚ニ付
 但壹枚ニ付
 但何百文ニ付

金何圓
 △以下幾廉アル乎此例ニヨルヘシ

是ハ何尺何寸ニ打

家根壁代

何瓦何枚
 代金何程
 但壹枚ニ付
 茅何ハ何尺打邊
 代金何程
 壹坪ニ付何ハ邊
 土居何坪何割何寸
 代金何程
 家根坪何坪
 代金何程
 但壹坪ニ付
 棟長何間
 代金何程
 但壹間ニ付
 小舞檜何坪
 代金何程
 但壹坪ニ付
 但壹坪ニ付間或壁横ニテ何何何本此金何程
 但小舞何何本此金何程繩何程此金何程

荒塗何坪代塗手間共

代金何程

但 壹坪土何程此金何程
手間何歩此質何程

但 壹坪二付
何 程

中途何坪土代手
間質共

代金何程

但 壹坪二付
何 程

但全上

上塗何坪何塗土代手間質共白
土ハ壹坪何分掛ケ

但 壹坪二付
何 程

代金何程

但 壹坪二付
何 程

但全上

金何程

建具代

内

雨戸何枚高何尺何本棧車付
横何尺

代金何程

但 壹枚二付
何 程

是ハ何所ニ用ニ

障子何枚高何尺腰高何寸
横何尺

代金何程

但 壹枚二付
何 程

是ハ全上

金何程

雜師代

内

障子何枚高何尺何紙張
横何尺

代金何程

但 壹枚二付
何 程

天井何坪

但 壹坪二付
何 程

下張何何紙上張

但 壹坪二付
何 程

代金何程

但全上

但全上

代金何程

但全上

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

代金何程

但全上

内
 何若何間何寸
 代金何程
 野面又ハ何割石
 代金何程
 石工何人
 賃金何程
 但何人ハ何々何人何々
 △但同上
 金何程
 内
 人夫何人
 賃金何程
 内
 何人
 人足何人
 賃金何程
 但長何間何間土厚何寸地形此立坪何坪何所ヨリ取敷敷平均共里程何立坪ハ何人
 △但同上
 金何程
 内
 土落下石
 但何間ニ付
 而何寸四幾ツ柱下築込石
 但何間ニ付
 但何人ニ付
 人夫方
 但何人ニ付
 内
 何々
 地形
 但何人ニ付
 諸色並運送費

何々ニ付延長何間是場其波杭木起持出取共共計何十日分一日ニ付金何程
 此金何程
 何所ヨリ何所迄何々程運送費此里程何程
 此金何程
 △但同上
 金何程
 内
 何木長何間何寸何木
 代金何程
 是ハ何々ニ遣
 何板長何間何十枚
 代金何程
 是ハ何々ニ遣
 △但同上
 何々模様替費
 此仕様何諸所中仕請壁何間之所取拂元ニ間ヲ一ト間ニ模様替候ハ付差障ノ柱何木取除キカマニ何延何何寸
 ニ何寸柄入ニハ悪ク何寸録何延ヲ以打天井等縁何何寸ニ何分何本ヲ以入板杉何分何枚何足ニ入繕ヒ根太貴木
 何何寸ニ何寸何本ヲ以入レ板何何分何枚何枚ヲ以繕ヒ中窓何間之所取拂古敷居鴨居取用ヒ何障子何枚何紙コナ
 張兩戸敷居鴨居何何寸ニ何寸幾ツ種突ニシテ取付ケ兩戸何何本棧上下何様取付立付五欠キニシテ立戸袋何何枚
 何何寸板底何何何何分何何何何何何何何分ニ何分上ハ凌付ニシテ打戸袋下線何本何何寸ニ何分何本人何何

分板打壁損ノ所何坪何合小舞ヨリ荒塗中途白土上塗共繕但上塗白土ハ登坪ニ付何升掛ケニ塗其他尙五細ニ記スヘシ

内譯

大工何人

但 費人ニ付

賃金何程

内何人何々何人何々

何釘何百本

但 何百本ニ付

代金何程

何百本ニ付
何十枚

何寸録何挺

此鉄目何百枚

代金何程

但 何百枚ニ付

是ハカガタミヨリ柱ニ懸ケ何ケ所何挺打

但 何百枚ニ付

障子何枚高何尺何紙張

但 何枚ニ付

何長何間高何寸何挺

但 何枚ニ付

代金何程

但 何枚ニ付

是ハカガタミニ遣フ

何長何間何寸何本

但 何本ニ付

是ハ天井竿縁ニ遣

杉何分板長何間何枚幅何寸

但 何枚ニ付

是ハ天井板繕ニ遣

何長何間何寸何本

但 何本ニ付

是ハ根太木足ニ入ニ遣

何長何間何枚幅何寸

但 何枚ニ付

是ハ根太板足ニ入ニ遣

何長何間何寸何本

但 何本ニ付

是ハ兩戸敷居鴨居ニ遣

小舞何坪何竹掃

但 何坪ニ付

何尺ニ何尺何ケ所合ケ坪數如此登坪ニ付竹何本此金何程繩何程此金何程手間何分此貨何程

荒塗何坪

但 登坪ニ付

●第四類 ○官舎郡廳舎

中塗何坪

代金何程

但塗坪ニ付

但全上

白土何合

代金何程

但塗坪ニ付

左官何人

賃金何程

内何人何々何人何々

但塗人ニ付

一金何程

何々修繕費

此仕様何諸所根太板共損何坪之所取拂置尾引何本松丸太末口何寸ノ以取替機石何石掛付々榎木何丸太末口何寸間中毎ニ切込ニ何釘ヲ以縫釘打根太古物用ニ何釘ニテ打板古板用ニ何板何何分板何枚ヲ以繕ニ其他何巨細ニ記スヘシ

内

大工何人

賃金何程

但塗人ニ付

松丸太長何間何寸何本

代金何程

但塗本ニ付

是ハ尾引ニ遣

何丸太長何間何寸何本

代金何程

代金何程

但塗本ニ付

是ハ榎木壹間幾ツ伐ニシテ遣

何板長何間何枚何寸何分

代金何程

但塗本ニ付

是ハ座板足ニ板ニ遣

何釘何百本

代金何程

但百本ニ付

人足何人

賃金何程

但塗人ニ付

是ハ大工手傳

一金何程

何々修繕費

此仕様何所硝子戸高何尺何寸巾何尺壹以立板壹本損何何分角ノ以百組ニシテ取替硝子何枚切羽目バテ留(又ハ押縁打)ニシテ立台セ其他何巨細ニ記スヘシ

内

大工何人

賃金何程

但塗人ニ付

檜長何尺何分何本

代金何程

但塗本ニ付

是ハ硝子戸壹棧ニ遣

同長何尺何分板何寸

代金何程

但塗尺ニ付

是ハ全上押縁ニ遣
硝子何枚何尺ニ
代金何程

但壹枚ニ付
何尺ニ付

一金何程

何々修繕費

内

金何程

何修繕費

此仕様何所屋根東隅棟長何間南同長何歩西長何間合セテ何間何歩損古瓦用ヒ何枚新規足入彌葉土何程ヲ以
築直ノ漆喰雨面ニテ何升懸ニシテ付ケ其他尙巨細ニ記スヘシ

内

何瓦何枚

代金何程

但壹枚ニ付
何尺ニ付

彌葉土何荷

代金何程

但壹荷ニ付
何尺ニ付

漆喰何斗

代金何程

但壹斗ニ付
何尺ニ付

是ハ壹斗ニ付石灰何程布海苔何程坊何程油何程ヲ以練立

左官何人

賃金何程

但壹人ニ付
何日分

内何人隅棟築立何人漆喰付
人足何人

賃金何程

但壹人ニ付
何日分

是ハ左官手傳

長何間道場懸ケ渡損料

此金何程

是ハ何日分

金何程

何修繕費

此仕様何諸所壁所々損此寄押何合何勻小舞何竹何本ヲ以テ繕ヒ荒塗ヨリ裏戻シ何坪中途白土何升懸ニシテ繕
塗其他尙巨細ニ記スヘシ

内

何竹何本

小舞竹

代金何程

但壹本ニ付
何尺ニ付

繩何把

代金何程

但十尋曲ケ

荒土何荷

代金何程

裏戻シ共

中途何荷

代金何程

白土何斗

代金何程

左官何人

是ハ壹斗ニ付石灰何程布海苔何程坊何程油何合ヲ以テ練立

何釘壹枚ニ何本打目板同板幅何寸ニ挽割何枚何釘何十本ヲ以打笠木何脚ノ所何釘何本ヲ以増釘打扣柱何本何丸太末口何寸ヲ以根カセ古木ニテ十字形ニ入頭ハ何々ニテ本柱ハ取付ケ緒ヒ何巨細ニ記スヘシ

内

松長何間何寸何本

代金何程

但壹本ニ付

是ハ板塀下縁ニ遣

何板長何間何丈何尺厚何歩

但壹枚ニ付

代金何程

是ハ全上板足ノ入ニ遣

何丸太長何間何寸何本

代金何程

但壹本ニ付

是ハ扣柱ニ遣

何釘何百本

代金何程

但百本ニ付

何釘何百本

代金何程

但百本ニ付

大工何人

賃金何程

但壹人ニ付

人足何人

賃金何程

但壹人ニ付

一金何程

竹垣修繕費

右仕様何所竹垣長何間高何尺既末何々何大高何々根人何程ニシテ獨立修竹何道ノ杭竹ノ何繩ノ以結ヒ何竹地ニ切割竹ニシテ查荷ニ何程(又ハ篠屋多何ノ懸)用ヒ上縁何竹用ヒ何繩結ヒ何巨細ニ記スヘシ

内

何々丸太長何間何寸何本

代金何程

但壹本ニ付

是ハ杭木ニ遣

何竹何本

代金何程

但壹本ニ付

是ハ下縁ニ遣

何竹何十本

代金何程

但壹本ニ付

是ハ割竹ニシテ垣ニ遣

何竹何本

代金何程

但壹本ニ付

是ハ上縁ニ遣

篠屋多何

代金何程

但壹本ニ付

是ハ查問ニ何ノ懸垣ニ遣

繩何十把

代金何程

但壹把ニ付

是ハ杭付登脚ニ何程級結繩登脚ニ何程何間分

人足何人
賃金何程

但賃人ニ付

一金何程

石垣修繕費

右仕様長何間高何尺此面積何坪何台何石ヲ以繕築登坪ニ付金何程

內譯

而何寸四方
扣何寸

何石何箇

代金何程

但賃人ニ付

石工何人

賃金何程

但賃人ニ付

人足何人

賃金何程

但賃人ニ付

一金何程

地所鋪取費

右仕様鋤取長何間横何間平均深何寸又ハ掘取長何間横何間深何尺又ハ掘土其何間横何間平均厚何寸此平坪

(堀取ハ)何坪何合何所ハ取捨或ハ何所ヨリ運送敷平均此里程何里何丁何間

內

人足何人

賃金何程

但賃人ニ付

但取捨登坪立坪ニ付何人何歩又ハ置土坪平登坪ニ付何人何歩

土堤修繕費

一金何程

右仕様東ノ方長何間何歩北ノ方何間何歩延長何間何歩馬踏尺高何尺並尺此土坪何坪何合何程

內譯

人足何人

賃金何程

但賃人ニ付

內

但何所ヨリ土運送此里程何丁何間

築立登坪ニ付何人何歩

何人

但高麗芝植付長延何間打越何間此平坪何坪何合何所ヨリ運送植付此里程何丁何十間

一金何程

下水修繕費

右仕様南側何間何歩西側何間何歩長延何間修繕

內譯

用石何々何間何寸

代金何程

但賃人ニ付

何々何程

代金何程

但賃人ニ付

是ハ何々ニ遣

人夫何人

賃金何程

內

但賃人ニ付

何人

是、堀割長何間巾何尺深何尺此立坪何坪何所へ取捨堀割共立坪ニ付何人何歩此里程何里何丁何人

是、下水片側登間ニ付杭木送り何本登人ニ付何本打箒高何尺登人ニ付何間橋キ成ヘ石工手傳

右ノ通相違無之候也

明治何年何月何日

●土達第十三號 明治十九年二月十日

郡長 姓名 印

仁多大原 郡役所

飯石 郡役所

邑智 郡役所

美濃 郡役所

鹿足 郡役所

周吉外三郡役所

郡 役 所

其廳舎並附屬建家トモ圖面別紙雛形ニ倣ヒ(地方稅ヲ以建廳ノ箇ノ所ハ米書ヲ以區別ス)調整米ノ三月三十一日限進達スヘシ且爾來建家ノ模樣ヲ變換シタル箇所ハ其都度圖面相添申出ヘシ此旨相違候事
●訓令第八十二號 明治十九年十一月二十六日
郡廳舎修繕ハ郡長ニ於テ施工其模樣替ノ箇所ハ落成ノ都度圖面相添届出ヘシ
但建坪ニ増減アルモノハ施工ノ際豫メ伺出ヘシ

工事

●甲第四十九號 明治十九年四月廿二日

壹個人又ハ數個人ノ負擔ニ屬スル河港堤塘道路橋梁樋渠溝渠池ノ修築ヲ要スルトキハ左項ニ從フヘシ
但明治十八年二月甲第三十三號布達ハ廢止ス

一 原形ヲ變更シ又ハ新ニ開設セントスル者ハ其工事自論見帳及書面(地租目ヨ異動ヲ生スル者ハ其取調書實測圖トモ)相橋戸長ノ與印ヲ以テ郡役所ヲ經照應ニ許可ヲ請フヘシ其利害ノ他ニ關係スル者ハ其關係者ノ連署ヲ要ス

一 通常ノ修繕ニ止ル者ハ戸長ニ認可ヲ請フヘシ
右布達候事

●訓令第九十八號 明治二十二年十月十九日

島 郡 郡役所 市役所
戸長役場 町村役場

土木起工規則左之通定ム

明治十九年四月乙第五十七號達ハ廢止ス

土木起工規則

第一條 河港堤塘道路橋梁樋渠溝渠池ノ修築ヲ要スルトキハ此規則ニ從フヘシ

第二條 第一種ニ屬スル工事ハ市町村長戸長ニ於テ其翌年度ニ要スル修繕箇所取調毎年五月三十日迄(町村ニ於テハ島郡縣役所ヲ經テ)照應ヘ申出ヘシ
但臨時急施ヲ要スルモノハ其時々申出ヘシ

第三條 第二種ニ屬スル工事(地方稅補助ニ係ルモノトモ)市ハ市長限施行シ町村長戸長ニ於テ自論見帳ヲ橋島町郡長ヘ申出許可ヲ請フヘシ

●第四類 ○工事

第四條 第二種通常修繕工費ニ對シ地方稅ノ補助ヲ要スルモノハ市町村長戸長ニ於テ翌年度ニ屬スル豫算取
調町村ハ島廳郡役所へ申出ヘシ島廳郡役所市役所ハ日驗見帳ヲ以毎年五月三十日迄ニ縣廳へ申出ヘシ
但臨時急施ヲ要スルモノハ其時々申出ヘシ

第五條 第一種第二種ニ屬セサル通常工事ハ市町村長戸長ニ於テ決行スルモノトス
但別ニ規則等アルモノハ其規則ニ從フヘシ

第六條 改修工事ニ係ルモノハ左ノ第一項縣道ニ屬スルトキハ第一項及第二項其工事ニ對シ地方稅ノ補助ヲ
要スルモノハ第一項第二項及第三項ニ依リ圖面書類相添(町村ハ島廳郡役所ニ對シ縣廳ノ許可ヲ請フヘシ)縣廳ノ許可ヲ請フヘシ
但地方稅ノ補助ヲ要スルモノハ前年五月三十日迄ニ(町村ハ島廳郡役所ニ對シ縣廳ノ許可ヲ請フヘシ)申出ヘシ

第一項

一 工事目驗見帳

但新舊別

一 平面圖

一 遺地取調書野取圖也

一 移轉料ニ係ル調書見取圖也

一 市町村會議決書寫

一 計書說明書

一 實測平面圖

一 實測橫斷面圖

一 實測縱斷面圖

一 橋梁隧道暗渠等ノ圖

一 一位代價表

一 一

一

一

一

一

一

●第四類 ○工事

明治二十二年十月訓令第九十八號土木起工規則中第六條左之通更正ス
第六條 縣道ノ改修工事ニ係ルモノハ左ノ第一項縣道ニアナル第二種以下道路河川堤塘等ノ改修ニ係ルモノ

第三項

一 物貨運輸公益ニ關スル事項新舊道路ニ對シ比較表

一 工費負擔町村反別地價戶數

一 市町村會議決書ノ内支出收入議案ノ寫

第七條 第二條第三條第四條及第六條ノ工事箇所ニハ標木木柱ヲ建設工事竣成ノ時迄保存スヘシ

第八條 地方稅ヲ以補助スル修築工事ハ縣廳吏ニ査定ス仍ホ實施ニ臨ミ指揮監督スルコトアルヘシ

第九條 地方稅ノ補助ヲ許可セントキハ着手竣功ノ日限ヲ期シ通常修繕工事ハ指令ノ日ヨリ二十日改修工事
ハ五十日以内ニ届出認可ヲ受クヘシ

第十條 前條ノ工事竣成スルトキハ出来形精算帳ヲ添届出ヘシ

第十一條 通常修繕工費ノ補助金ハ工事竣成ノ後出来形檢査ノ上下渡スヘシ

第十二條 改修工費補助金ハ工事竣成ノ後下付スヘシト雖モ其内渡ヲ要スルトキハ四回以内其請求ニ應ジ實
地檢査ノ上出来形ノ歩合ニ依リ下付スルコトアルヘシ

第十三條 明治十五年本縣甲第一百一號布達第一條第二條ニ定メタル市町村負擔ノ修築ハ竣功ノ時々其出来形
精算帳ヲ製シ市ハ市長之ヲ保存シ町村ハ島廳郡役所へ届出ヘシ

第十四條 第九條ノ手續ニ從ハサルトキハ其効ヲ失フモノトス

●訓令第五十號 明治二十三年三月十二日

島 廳 郡 役 所 市 役 所
戶 長 役 場 町 村 役 場

ノ第二項ニ依リ圖書類相添(町村ハ島根県ニ依リ)縣廳ノ許可ヲ乞フヘシ
但地方税ノ補助ヲ乞フモノハ前年五月三十日迄(町村ハ島根県ニ依リ)申出ヘシ

第一項

- 一 計畫說明書
- 一 工事目録見帳
- 一 實測平面圖新舊共
縮尺六千分ノ一ヨリ
- 一 實測橫断面圖
縮尺七サレモノ
- 一 實測縱断面圖新舊共
縮尺六千分ノ一
- 一 橋梁隧道暗渠等ノ圖
縮尺六千分ノ一
- 一 一位代價表
- 一 掘割及盛土土坪計算書
- 一 潰地反別代價取調書野取圖共
- 一 移轉料取調書見取圖
- 一 物貨運輸公益ニ關スル事項新舊道路ニ對シ比較表
- 一 工費負擔ノ市町村反別戸數
- 一 市町村會議決書寫

舊道ノ長幅勾配ヲモ
記入シタルモノ

縮尺六千分ノ一ヨリ

縮尺七サレモノ

縮尺六千分ノ一

縮尺六千分ノ一

第二項

- 一 工事目録見帳
- 一 實測平面圖新舊共
縮尺適宜
- 一 實測縱断面圖新舊共
縮尺適宜
- 一 隧道ノ圖
縮尺適宜

潰地反別代價取調書野取圖共

移轉料取調書見取圖共

物貨運輸又ハ公益ニ關スル事項新舊ニ對シ比較表

工費負擔ノ市町村反別戸數

市町村會議決書寫

橋梁暗渠等其構造ノ異ナルモノハ其圖面

訓令第九十二號 明治二十三年九月十二日

島 廳 郡役所 市役所
 戶長役場 町村役場

明治二十二年訓令第九十八號土木起工規則第十三條ヲ削リ第十四條ヲ第十三條トス
 ●島根縣訓令第四十二號 明治二十四年三月三日

道路河川修築變更等ノ目録見帳自今別紙雛形ニ準據調製スヘシ
△橋梁架設目録見帳雛形 △(用紙美濃紙)

明治何年何月調

何年度

第何種何街道開鑿ノ内

一字何(土)橋目録見長何間幅何間

調理 姓名印
 精査 姓名印
 何郡何村 大字何

●第四類 ○工事

此工賃金								
△備考								
△一橋每二一帳ヲ造ル								
字何川字何橋								
一板橋	長八拾貳間	板坪貳百四拾六坪						
但 橋上八拾間 橋下六拾間 橋板上下ロリ等木上迄貳尺七寸 高欄板六尺								
袖四ヶ所共長六尺 橋梁渡リ均配中央ロリ前後ハ各間ニ付量下リ								
全所								
一橋臺石垣	上幅四間 敷幅五間七步	兩袖平均	上幅四間 敷幅五間八步					
北側鏡通	上幅四間 敷幅五間七步	兩袖平均	上幅四間 敷幅五間八步					
南側鏡通	敷幅五間五步 法高貳間七步五間	兩袖平均	敷幅四間六步 法高壹間九步					
此石垣合面坪								
但 橋臺石垣法ハ鏡通貳歩程ハ壹間兩袖各々法參歩ニシテ撥入平均八歩五歩ニ示ス石材								
此工賃金								
物名	數	長	末口巾	合銀目	代價	登代價	用	名
松丸太	本	尺	尺	尺	圓	圓	拾土壹	拾土壹下延長二十間八步ノ所間
							十呂盤木	地杭頭ハ掛々渡シ地杭二本
								拾土壹 上延長二十間八步ノ
								枕土壹下登ケ所三本ツ、二ヶ所
								枕土壹 前後二組分
								檣杭 三本建十三組分
								梁木
								行桁 五通り前後同ノ間分繼手三尺
								全上 全上中ノ間分繼手全上
								芥除杭
								全扣木
								平均板
								橋板
								男柱
								柚柱
								櫻木
								笠木 高欄繼手五寸ツ、

全	全	全	松	全	松	全	全	全	全	全	全	全	全	全
			木	板										
			△本	△枚										

●第四類 〇工事

△開鑿費仕譯書雛形 (用紙美濃紙)

何街道開鑿費仕譯書

一 開鑿延長
 內 道路延長
 此物工費金
 內

何橋

道路築造費
 橋梁架設費
 家屋其他移轉費
 道路瀝地費
 砂利費
 河替費
 河替瀝地費

△(暗渠費等含有)

一 道路築造費平均一間ニ付金何程
 一 砂利平均何寸敷ニシテ立一坪金何程
 一 橋梁平均一坪ニ付金何程
 一 瀝地代價

田 地價(或ハ地價ノ何割増)
 畑 全上
 山 全上
 宅 全上

一 人夫 一人賃金何程
 一 大工 全上
 一 石工 全上

△道路改修目論見雛形
 △(用紙美濃紙)

明治何年何月調

何年度
 第何種何街道

一 道路開鑿目論見長何間幅何間
 此工費金
 △備考
 △大字毎ニ合計ヲ附シ一村毎ニ一帳ヲ造ル

一 道路開鑿長何間何歩何厘
 此工費金

大字 何

何那何村

精査 何村

調理 姓名
 精査 姓名
 姓名 姓名
 姓名 姓名
 姓名 姓名

●第四類 ○工事

第壹號間	築立	位置	名稱	長	平均幅	平均深	坪數	金員	仕
				間	間	間	坪	圓	

高及道巾法勾配等ハ別冊細安表ニ據
 ●築立土設々ニ築キ固シ路面ハ中央
 ●全道巾ノ六十分一ノ中高橋圓形
 (山腹築立ノ箇所ハ山手ノ方ヲ抵テ
 片勾配ニ仕立ニシテ長サ尺五寸巾六
 寸厚二寸ノ筋芝敷越シ法高七寸間
 仕付方等總テ仕上メテ一式

砂利										裏込石目費、二用ニ栗石立登坪、付三合ツ、
石工賃										石垣高登間未満面坪何坪何合何勺築造方仕上迄一式
全										石垣高貳間未満面坪何坪何合何勺前全上
人夫賃										石垣高參間未満面坪何坪何合何勺前全上
全										石垣高肆間以上面坪何坪何合何勺築造方石工手傳並裏込石砂利詰メ圓メ方共一式
全										石垣高何間以上前全所
全										全
<p>一 石造暗渠延長何百何拾何間何步 此石垣合面坪何坪何合何勺 内</p> <p>第何號 長何間何步 高何步 石垣面坪 第何號 長何間何步 高何步 石垣面坪 第何號 長何間何步 高何步 石垣面坪 全</p>										

此工費金	全	全	全								
物名	全	全	全								
野面石											築石
面坪											
全											全
切石											全
校											全
全											全
栗石											全
立坪											全
石工賃											全
石工賃											全
石工賃											全
<p>此工費金</p> <p>物名 數 長 末口巾 合尺目 代 價 登個代價 用 名</p> <p>野面石 一〇〇 一一 〇〇〇</p> <p>全 一五〇 一一 〇〇〇</p> <p>切石 一五〇 一一 〇〇〇</p> <p>全 一五〇 一一 〇〇〇</p> <p>栗石 一五〇 一一 〇〇〇</p> <p>石工賃 一五〇 一一 〇〇〇</p> <p>石工賃 一五〇 一一 〇〇〇</p> <p>石工賃 一五〇 一一 〇〇〇</p>											

物名	數	長	末口厚	合尺鐵目	代價	壹個代價	用名
人夫賃							根切築キ圓ノ石工手傳裏込詰メ圓ノ等一式
全							全上
一 木造暗渠延長何拾何間何歩							
内							
第何號間	全	長何間何歩	全	高何何歩	全		
此工費金	全						
雜丸太	△本				△圓	△圓	側板留杭間ニ送リ四本兩側延長何間何歩分留メ貳本共
全							梁木 留杭貳本ニ壹本ツ、
何板	△板						側板 高何歩ノ所片側何枚何歩ツ
全							蓋板

五三四

物名	數	長	末口厚	合尺鐵目	代價	壹個代價	用名
人夫賃							根切杭打大工手傳共一式
全							略渠構造方仕上迄一式
大工賃							側板ヨリ留杭ニ打側板壹枚ニ何本打何枚分
全							蓋板ヨリ梁木ニ打蓋板壹枚ニ何本打何枚分
全							側板ヨリ留杭ニ打側板壹枚ニ何本打何枚分
全							略渠構造方仕上迄一式
一 井圍石造暗渠延長何拾何間何歩							
内							
第何號間	全	長何間何歩	全	内徑何尺何寸	全		
此工費金	全						
來海							井圍石受杭 繼手毎ニ壹本ツ、前後口貳本ツ、
井圍石	△本				△圓	△圓	間ニ三本送ヒ延長何拾何間何歩分

●第四類 ○工事

〇三五

位置 名稱	長	幅	高深	坪	數	金	員	仕	様
一 川替延長何百何拾何間何步 内									
	此工費金								
		長何間何步	幅何間何步	深何尺					
	第何號間								
	全								
									杭打繼キ合七割付方共化上迄一式
								非園石職手登ケ所登升ツ、何百何拾何ケ所分	

位置 名稱	長	幅	高深	坪	數	金	員	仕	様
一 用水路付替延長何百何拾何間何步 内									
	此工費金								
		長何間何步	幅何間何步	深何尺					
	第何號間								
	全								
									馬路何間何步敷何間何步段々。然キ固ノ筋芝仕付方共一式立登坪。全
								上口幅何間何步出床幅何間何步。掘立登坪ニ付金	

位置 名稱	長	幅	高深	坪	數	金	員	仕	様
合計金 内									
	此工費金								
		長何間何步	幅何間何步	深何尺					
	第何號間								
	全								
									掘割出土取捨方共仕上マ、一式立登坪ニ付金
								仕上桁幅平均何歩高何歩段々。然キ固ノ筋芝仕付方共一式立登坪。全	

職工賃
人夫賃
諸色代

位置	摘要		大字何		距離	勾配 (登付間)	
	中心點	全	法	左			右
	上ケテ	下ケ					
第壹號	間	一間	三〇	登	全	何拾何	
第貳號		五八					
第參號	六七		三〇				
第四號	四五		三〇				
一 道路開鑿長何間何步 此工費金 (以下前同斷ニ付略ス) 合計金 内 職工賃 人夫賃 諸色代							

通計金	内	職工賃	人夫賃	諸色代	大字何
金	金	金	金	金	何
△堤防目論見離形 明治何年何月開 △(用紙美濃紙)					
何年度分	第何種何川通目論見帳	調理	精査	姓名	何郡何村
此工費金	町地方費	姓名	姓名	姓名	
△内金	△備考	姓名	姓名	姓名	
△一箇所毎ニ計ヲナシ大字毎ニ合計ヲナシ一村ノ通計ヲナシ一村毎ニ一帳ヲ造ル △一修繕長ノ記載方ハ例之ハ一ヶ所ニシテ上置又ハ腹付或ハ箒等ノ數種アルトキハ其内最モ長キモノヲ採リ長トス其長ヲ積算セシモノヲ延長トス					
一 堤防欠所長何間	平均幅何歩	此立坪何程	大字	何	

●第四類 ○工事

物名	數	長	末口代	價	代登價個	摘	要
砂							
粘土							
柳粗朶							
人夫							
計金							
全所箒長何間 高何尺 此平坪何程							
雜木							
葉唐竹							
雜粗朶							
人夫							

五四〇

合計金	計金	砂	粘土	砂	粘土				
合計金	計金	砂	粘土	砂	粘土				
						一字何	一字何	一字何	一字何
						一堤防上置長何間	一全川表腹附長何間	平均幅高	平均幅高
						此立坪何程	此立坪何程	大字何	大字何
						川表箒長何間	川表箒長何間	高何尺	高何尺
						川表箒長何間	川表箒長何間	高何尺	高何尺
						川裏箒長何間	川裏箒長何間	高何尺	高何尺
						箒坪何程	箒坪何程	箒坪何程	箒坪何程
						箒坪何程	箒坪何程	箒坪何程	箒坪何程
						箒坪何程	箒坪何程	箒坪何程	箒坪何程
雜木									

●第四類 ○工事

五四一

石工	拾石	野面石	松木	大字何	合計金	人夫	雜粗朶	棄唐竹	全
				北面坪	合計金				
				此面坪					
				平均高					
				表長何間					
				一宇何					
				堤防石腹付					

五四二

人夫	計金	諸色代
	合計金	職工賃
	通計金	諸色代
	内	職工賃
	金	職工賃
	金	職工賃
	金	職工賃

報告

●甲第六十四號 明治十七年六月十日

河港道路堤防用懸水路等新設又ハ變更ノ工事落成ノ上ハ別紙書式ニ據リ取調速ニ届出シ〜此旨布達候事
 但明治十三年六月甲第八十六號布達ハ廢止ス

(別紙)

河港道路等新設變更落成届出書式

何國何郡何村ニ至ル 何川筋堤防改築及變更ニ係ル件

出願年月日 着手年月日
 許可年月日 落成年月日
 一 堤長 馬踏 高 深
 一 川長 上口 床
 正算額 自給見額ヨリ増減アルモノハ口
 但協議費或ハ自費等ノ各種アルトキハ内率ニ詳記ス以下倣之

第四類 ○報告

一 反別 川堤 廢地減租 川堤敷開墾地何地種へ編入但敷ケ村アルトキハ一村ニ記スヘシ以下敷之
 一 廢 川堤 長橋等前 何地種地目へ編入但存在スヘキ分ハ理由ヲ詳記ス以下敷之
 出願年月日 何國何郡何村地内何港波止新設或ハ變更ノ件 着手年月日
 許可年月日 落成年月日
 一 波止長 上下敷上 高
 一 浚長 上下敷下 深
 一 金 正算額
 何國何郡何村地内何々街道新道或ハ變更ノ件
 出願年月日 着手年月日
 許可年月日 落成年月日
 一 新道開墾長 巾
 一 金 正算額
 一 反別 道敷潰地
 一 廢道長 潰地減租 巾
 一 反別 廢道敷開墾地何地種へ編入何國何郡何村何往還何川從前渡船ノ處新架橋ノ件
 出願年月日 着手年月日
 許可年月日 落成年月日
 橋名

一 土石或ハ刻橋長 巾 正算額
 一 金 右從前ノ橋或ハ新設ノ橋何年ヨリ何年迄何々年間收領
 一人 金何程 一疋 金何程
 車類等 金何程
 出願年月日 何國何郡何村用水缺乏或ハ何村地内附井新築溝渠ノ件 着手年月日
 許可年月日 落成年月日
 一 溜池長 湖
 一 右周圍堤長 馬踏 敷 高
 一 溝渠長 床 上 深
 一 金 正算額
 一 反別 敷地潰地
 一 金 潰地減租
 一 反別 新墾及起返地何地種へ編入
 右之通相違無御座候間此段御届申上候也 何國何郡何村何番地族籍
 年 月 日 請 願 人 何 某 印
 島根縣令某殿
 前書之通相違無御座候也
 (協議費ニ係ルモノニシテ一村ナレハ其戸長ヨリ敷村ニ沙ルモノハ各戸長連署届出ツヘシ)

年 月 日 戶 長 何 某印 郡役所

國令第五百五十一號 明治二十一年十二月九日
 國縣道新設及變更道幅取擴ノ工事ハ別表ノ如キ申報書左ノ日限ニ發送スヘシ
 新設變更工事 竣工ノ翌日
 道幅取擴工事 毎年二月二十日

何年月日創業 國道準何號路線(縣道何街道)何郡村地内 郡役所名
 何年月日竣工 又ハ何郡村路線新設(變更)工事竣工

種目	延長	幅	摘要
道路			
並木數			
滋板敷			
保壁			
暗渠			
石橋			
木橋			
土橋			

何々	計	何町何村間	舊道長
新道長	內	何村何村間	
		何驛何村間	

延長及幅ハ開數ヲ用非開未滿ハ分トシ新道及舊道長ハ里法ヲ用非開未滿ハ尺寸トス
 摘要ノ欄道路ハ平均勾配最險勾配ヲ大察平地ト山路ニ區分シテ記載スヘシ
 同並木敷及滋板敷ハ各條數ヲ記載スヘシ
 同保壁ハ小土堤及柵欄子等其種目毎ノ延長ヲ記載スヘシ
 新道長ノ内譯ハ新タニ里程標ヲ設ケルモノニ限ル
 幅ノ欄一種目ト雖モ幅異ナルモノハ各區別シテ記入スヘシ
 橋梁並ニ之ヲ附帶セシ道路ハ本表ニ準ニ調製スヘシ
 道錢及橋錢ヲ請求スヘキ工事モ本表ニ準ニ調製スヘシ
 實測平面圖及高低圖ヲ添付スヘシ

國(縣)道々幅取擴工事竣工 明治何年 郡役所名

創業年月日	竣工年月日	路線	場所	延長	在來	取擴

第四類 報告

縣道ノ部		何年月日	前業	自	何	地	地
何年月日	竣功	至	何	地	地	在來	取換

一 場所ノ欄ハ何郡何村ヨリ何郡何村迄或ハハハ間ト其場所ヲ判別シ得ル様記載スヘシ
 但一町村内ニ止ルモノハ右ニ準シ其字ヲ記載スヘシ
 一 延長ハ間位未滿幅ハ分未滿四捨五入シテ記入スヘシ
 一 取換ノ項ニハ在來ノ分ヲ除キ新ニ取換ケン幅ノモヲ記入スヘシ
 一 橋梁モ本表ニ準シ取調ヘシ

●訓令第五百五十四號 明治二十二年七月二十四日 市役所 町村役場
 明治二十年八月縣令第七十九號水防規則第三條ノ報告ハ機ヲ失セサル様一層注意ニ縣廳ヘハ第二部ヲ充テ飛
 報スヘシ

●島根縣訓令第二百二十七號 明治二十五年八月十三日 島 廳 郡役所 市役所 戶長役場 町村役場
 土木工費毎年度總計表別紙表式ニ依リ町村ハ翌年度八月三十一日迄ニ島廳郡役所ヘ申報島廳郡役所市役所ハ
 (島廳郡役所ハ所轄ノ内取替メ更ニ製表)十二月十五日發送縣廳ヘ報告スヘシ

但明治二十四年度ヨリ本表ニ準スヘシ明治二十三年五月訓令第三百二十一號廢止ス

(用紙美邊)

土木工費總計表 (明治何年度)

新築變換ノ部

類 別	地方稅	國庫補助金	市町村補助金	市町村土木費	協賛費	合計	河 川		港 灣		道 路	
							某 川	某 川	某 港	某 灣	縣 道	國 道
某川流域							支 派	支 派				
計							支派ナキ河川 (ハ此部ニ入ル)					
測量費及其他雜費												
計												
某 港												
測量費及其他雜費												
計												
某 灣												
測量費及其他雜費												
計												
縣 道												
測量費及其他雜費												
計												
國 道												
測量費及其他雜費												
計												
測量費及其他雜費												
計												

●第四類 ○報告

橋	梁	修繕ノ部		通	合	計
		計	計			
國道橋梁 第何號線						
縣道橋梁						
測量費及其他雜費						
道	里道何處ヨリ何處ニ達スル路線					
路	測量費及其他雜費					
橋	里道何處ヨリ何處ニ達スル路線					
梁	測量費及其他雜費					
合						
計						
通						
變換之部ニ新築						
通						
新築變換ノ部						

橋	梁	修繕ノ部		通	合	計
		計	計			
國道橋梁 第何號線						
縣道橋梁						
測量費及其他雜費						
道	里道何處ヨリ何處ニ達スル路線					
路	測量費及其他雜費					
橋	里道何處ヨリ何處ニ達スル路線					
梁	測量費及其他雜費					
合						
計						
通						
變換之部ニ新築						
通						
新築變換ノ部						

備考

一 協議費ノ欄ニハ地方税市町村費ニ屬スヘキ工事ニテ舊慣ノ協議費若クハ篤志者ノ自費又ハ會社ノ出金等
 ニテ地方税市町村費ニ收入セサル金額ヲ以テ之ヲ施行シタルモノヲ記入スヘシ

● 島根縣訓令第百五十號 明治二十五年九月三十日

島 縣 郡役所 市役所
 戶長役場 町村役場

水害アリタルトキハ別表ノ如ク取調戶長役場町村役場へ被害ノ日ヨリ三十日以内ニ島縣郡役所へ差出島縣郡
 役所市役所ハ毎分取調メ翌年一月三十一日發送縣廳へ進達スヘシ
 但明治二十五年分ヨリ施行ス尤戶長役場町村役場へ本年一月以降ノ分此際取調差出スヘシ
 明治十九年十一月十一訓令第百八十四號廢止ス

何川流域(或ハ)水害(又ハ英國何都市)表 (明治何年)

島縣 郡市役所 町村役場 名

● 第四類 ○ 報告

用 川 堤 雜 耕 建	惡 除 防 種 地 地 物	水 破 破	路 損 損	堤防			雜種地			耕地			建物		家 畜 死	負 傷	死 亡
				缺 所	切 所	其 他	森 林 山 野 地	宅 地	生 毛 ノ 損 耗	年 季 荒	流 亡	破 損 及 浸 水	流 失 及 崩 潰	死 亡			
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同			

五五二

道 路 毀 損	橋 梁 毀 損	波 止 場 破 損	延 長	雜 種 流 損	船舶流失沈没		損 耗 代 價 通 計	要 提
					日 本 形	西 洋 形		
					五十石以下	五十石以上		
					風帆船	蒸氣船		

一 河川ノ水害ハ一流域内ノ幹支派數回書ニ羅リタルトキハ其被害毎ニ一表ヲ製スヘシ但海嘯ノ損害ハ別表ニ製スヘシ
 一 損失價額ハ見積リ價格ヲ記入スヘシ
 一 道路堤防等ノ如キハ再築費ヲ記入スヘシ

●第四類 ○報告

五五三

- 一 員數ノ欄ニ建物ハ(軒)段別ハ(町)延長ハ(間)ヲ一位ニ定メ船舶ハ艘數ヲ揚クヘシ
- 一 家畜ノ内見積リ代價ヲ得カタキモノハ本表ニ記入ニ及ハス
- 一 鹽田ノ流亡・年季荒ハ雜種地ノ部其他ノ欄ニ通算記入スヘシ
- 一 開及隨ノ被損ハ用恩水路破損ノ欄ニ通算記入スヘシ
- 一 提嬰ノ欄ニ第一ニ洪水ノ月日、第二ニ損害ヲ來セシ幹川名竝ニ支派川名、第三ニ罹害ノ國郡市名竝ニ町村大字數、第四ニ被害ノ景況ヲ記載スヘシ
- 一 登記スヘキ事項ナキ空欄アラハ米縱線ヲ填充シテ脱漏ニ非サルヲ證スヘシ
- 一 料紙ハ美濃紙ヲ用ユヘシ

土木管區

島根縣令第二十六號 明治二十五年三月三日

土木工事ヲ處理スル爲メ土木管區ヲ設テ其規程左ノ通相定メ明治二十五年四月一日ヨリ施行ス

土木管區規程

- 第一條 土木工事ヲ處理スル爲メ管内ヲ區畫シ左ノ四管區トス
 - 第一管區 松江市 島根郡 秋鹿郡 意宇郡 能義郡 仁多郡 大原郡斐伊川ヲ除ク 隠岐國
 - 第二管區 大原郡ノ内斐伊川 飯石郡 出雲郡 楳橋郡 神門郡
 - 第三管區 迴摩郡 安濃郡 邑智郡安藝郡ヲ除ク 那賀郡那賀川以東ヲ除ク
 - 第四管區 邑智郡ノ内安藝道 那賀郡那賀川以東ヲ除ク 美濃郡 鹿足郡
- 第二條 各管區員派出所ノ位置左ノ如シ
 - 第一管區 島根縣廳
 - 第二管區 神門郡今市町

廿八年縣令第四十四號 參照

第三管區 迴摩郡大森村

第四管區 美濃郡益田町

第三條 管區派出所ハ左ノ事務ヲ處理ス

- 一 地方稅支辨ニ係ル土木工事
- 一 市町村費私費ニ係ル道路橋梁河川ノ新設變更工事ニ關スル事項

第四條 前條工事ノ申請若シハ願届ハ總テ其管區派出所ヲ經由スヘシ但第一管區ハ此限ニテラス

島根縣令第四十四號 明治二十八年五月二十八日

明治二十五年三月本縣令第二十六號第一條及第二條中左ノ通更正追則ニ來ル六月一日ヨリ施行ス

第一條中 四區トアルヲ五區ト改メ第三管區ノ内那賀郡那賀川以東ノ七字及第四管區ノ内那賀郡下ノ劃註並美濃郡鹿足郡ノ六字ヲ削リ同管區ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第五管區 美濃郡 鹿足郡

第二條中 第四管區ヲ那賀郡濱田町ト改メ同管區ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第五管區 美濃郡益田町

土木費

郡乙第百十三號 明治十七年九月三日

道路並木植糞費ハ其道路ノ修築地方稅經濟ニ屬スルモノハ該費途縣廳ニ請求シ其修築町村主務ニ係ルモノハ其地ノ慣行ニヨリ支辨セムヘシ此旨相達候事

訓令第二十二號 明治三十二年一月三十一日

第四類 ○土木管區 ○土木費

島 鹿 郡 役 所

廿二年訓令第二十二號 參照

明治十七年九月 郡乙第百十三號達中修築ノ下「地方税」以下「修築」ニ至ル二十四字ヲ明治二十二年度ヨリ削除ス
 ●訓令第五十八號 明治二十三年三月十八日

島 郡 郡役所 市役所
 戸長役場 町村役場

道路河川等改修費ニ對シ地方税ヲ以補助セル事業ノ工費精算ハ目論見帳ニ準シ調製工事落成届ト同時ニ其都
 度進達シ繼年季事業ノ毎年度中仕切精算ハ別紙書式ニ依リ毎年四月二十日限進達スヘシ
 何道(第一)何川(第二)改修工費中仕切精算帳
 目論見高金何程

- 一 金何程
- △内金何程
- 内課
- 金何程
- 金何程
- 金何程
- 金何程
- 金何程
- △外
- 金何程
- 目論見高金何程
- 一 金何程
- △内金何程
- 何年度精算高
- △地方税補助金
- 後何々年度間ニ可支出分

内課

- 金何程
- 金何程
- 金何程
- 金何程
- 金何程
- △外
- 金何程
- △内
- △金何程
- △金何程
- △金何程
- △金何程
- △地方税補助金
- 後何々年度間ニ可支出分

濱地買上代
 家屋移轉料
 諸色代
 職工賃
 人夫賃

△何年度中仕切精算高
 △地方税補助金
 △何年度中仕切精算高

右者何年度何道(第一)何河川(第二)改修工費中仕切精算書面之通相違無之候也
 年號月日 島 郡 郡役所 市役所
 ●島根縣訓令第六十一號 明治二十五年四月九日 島 郡 郡役所 市役所
 島 郡 郡役所 市役所
 戸長役場 町村役場

第二種道路橋梁河川堤防等修繕工事ニ對シ地方税補助ニ係ル工費精算書別紙書式ニ依リ調製尙一々町村別ノ
 内課書明治二十四年三月島根縣訓令第 相添毎年五月十日迄ニ進達スヘシ
 但明治十七年九月郡乙第百十八號達廢止ス

(別紙)

明治何年度第二種道路橋梁河川堤防修繕工費精算書

金何程	元 請 高
内	
金何程	堤防修繕費
金何程	臨時 道路修繕費
金何程	全 橋梁修繕費
内	精 算 高
金何程	道路修繕費
金何程	堤防修繕費
差引	
金何程	殘 金

但明治何年何月何日返納
右之通相違無之候也

年 月 日

島根縣令第二十號 明治二十六年二月六日

島司郡市長氏名印

二十七年
今第五十七
號參照

地方稅土木費及市町村土木補助費支出規則別紙之通相定、明治二十六年四月一日ヨリ施行ス
但明治二十五年三月島根縣令第四十四號ハ本文施行ノ日ヨリ廢止ス

地方稅土木費及市町村土木補助費支出規則

第一條 土木費及市町村土木補助費支出ノ種別道路河川ヲ種類スル左ノ如ク

第一種

- 伯耆道 縣境ヨリ出雲國能登郡島田村大字吉佐國境迄
- 長門道 出雲國松江府堅町元標ヨリ石見國鹿足郡津和野町大字中座國境迄
- 備後道 出雲國意宇郡安道村大字安道町長門道分レヨリ全國飯石郡赤名村大字上赤名國境迄
- 安藝道 石見國那賀郡石見村大字黒川長門道分レヨリ全國邑智郡市木村國境迄
- 安芸湖路 出雲國大橋川分レヨリ西南ノ方へ長七百五十五間幅三十間出雲國天神川分レヨリ西ノ方へ長二百七十五間幅三十間出雲國出雲郡莊原船川落口ヨリ東北ノ方へ長四百間幅十二間出雲國橋邊郡半田船川落口ヨリ東北ノ方へ長三百五十五間幅十間
- 航海路 出雲國大橋川落口ヨリ東南ノ方へ長五百間幅五十間
- 飯梨川 出雲國能登郡山佐村大字下山佐字福藏及全郡布部村大字菅原字堤原ヨリ中海ヨリ入ル迄
- 大橋川 安道湖分レヨリ中海ヨリ入ル迄
- 佐陀川 安道湖分レヨリ海ヨリ入ル迄
- 天神川 出雲國飯石郡飯石村大字上熊谷字入相及大原郡日登村大字西日登字高塚ヨリ安道湖ヨリ入ル迄(各派川共)
- 斐伊川 斐伊川分レヨリ安道湖ヨリ入ル迄
- 新川 出雲國神門郡朝山村大字所原字殿森ヨリ海ヨリ入ル迄
- 神戸川 國境ヨリ海ヨリ入ル迄
- 高津川 匹見吉賀河川落合ヨリ海ヨリ入ル迄
- 匹見川 石見國美濃郡豊田村大字横田後川分水口及全郡高城村大字神田字本郷寺ヨリ高津川ヨリ入ル迄

第四類 ○土木費

第二種

- 安來 出雲國能義郡安來町大字安來町字西灘海岸ヨリ西北ノ方へ長三百間幅七十間
- 航路 出雲國能義郡母里村大字東母里榎堤見通ヨリ中海ニ入ル迄
- 伯太川 出雲國意宇郡岩坂村大字日吉切通ヨリ中海ニ入ル迄
- 意字川 出雲國大原郡加茂村大字加茂中町上橋堤及全部神原村大字宇治橋堤ヨリ斐伊川ニ入ル迄
- 赤刀屋 出雲國飯石郡一宮村大字古城字ノコ淵及全部飯石村大字粟谷字米居上ヨリ斐伊川ニ入ル迄
- 三刀屋 石見國邑智郡市山村大字市山字古市及全村大字江尾字砂口ヨリ郷川ニ入ル迄
- 八戸川 石見國邑智郡川本村大字因原字松瀬見通ヨリ郷川ニ入ル迄
- 濁川 石見國那賀郡大内村大字内村字松元及全上字本郷ヨリ海ニ入ル迄
- 周布川 石見國美濃郡高城村大字白岩字小野及全村大字隅村字村上京ヨリ全部豊田村大字横田後川
- 匹見川 分水口及全部高城村大字神田字木郷寺迄
- 吉賀川 津和野川落合ヨリ高津川ニ入ル迄
- 廣瀬道 出雲國能義郡荒島村大字荒島伯若道分レヨリ全部廣瀬町大字新町土手下迄
- 龜嵩道 出雲國能義郡廣瀬町大字新町廣瀬道ヨリ全部山佐村大字奥田原ヲ經テ仁多郡横溝村大字龜嵩村ニテ仁多道ニ接スル迄
- 安來道 出雲國能義郡安來町大字安來村伯若道分レヨリ全部赤屋村大字上小竹岡堤迄
- 中津道 出雲國能義郡安來町大字安來村安來道分レヨリ全部飯梨村大字植田ニテ廣瀬道ニ接スル迄
- 美保關 出雲國松江府殿町京橋際ヨリ島根郡美保關村大字美保關美保神社際迄
- 加賀道 出雲國松江府北堀美保關道分レヨリ島根郡生馬村大字西生馬及全部津村ヲ經テ全部加賀

- 村加賀道迄
- 杵築道 出雲國松江府末次本町伯若道分レヨリ楯縫郡粟村大字園村渡場及平田杵築ヲ經テ神門郡神西村大字神西東分ニテ長門道ニ接スル迄
- 日御碕 出雲國神門郡日御碕村大字日御碕字船場ヨリ全部杵築町大字杵築東ニテ杵築道ニ接スル迄
- 大津道 出雲國神門郡大津村大字大津長門道分レヨリ全部川崎村大字武志ニテ杵築道ニ接スル迄
- 今市道 出雲國神門郡荒木村大字修理免杵築道分レヨリ全部今市町ニテ長門道ニ接スル迄
- 鷺道 出雲國神門郡杵築町大字杵築東字四角杵築道分レヨリ全部鶴鷺村大字笠浦迄
- 志學道 出雲國神門郡江南村大字畑村赤名道分レヨリ全部山口村大字佐津目山口及飯石郡志々村大字角井ヲ經テ石見國安濃郡佐比賣村大字志學ニテ三瓶道ニ接スル迄
- 仁多道 出雲國意宇郡湯町村大字湯町村長門道分レヨリ大原郡大東及仁多郡横田村大字横田町ヲ經テ全部八川村大字八川岡堤迄
- 忌部道 出雲國意宇郡乃木村大字乃木長門道分レヨリ大原郡大東村大字大東町ヲ經テ全部斐伊村大字里方ニテ備後道ニ接スル迄
- 駒返リ 出雲國松江府雜賀田道分レヨリ意宇郡岩坂村ヲ經テ能義郡廣瀬町ニテ廣瀬道ニ接スル迄
- 阿井道 出雲國大原郡斐伊村大字里方備後道分レヨリ全部日笠村大字東日笠及仁多郡三澤村大字三澤町ヲ經テ全部阿井村大字上阿井岡堤迄
- 赤名道 出雲國飯石郡赤名村大字野蓋備後道分レヨリ神門郡乙立村大字八幡原ヲ經テ全部神西村大字神西西分ニテ長門道ニ接スル迄
- 掛合道 出雲國飯石郡掛合村大字掛合村備後道分レヨリ全部松笠多根及神門郡神原山原治ノ五村ヲ經テ全部今市町ニテ長門道ニ接スル迄
- 吉田道 出雲國飯石郡飯石村大字粟谷備後道分レヨリ全部吉田村大字吉田町ヲ經テ仁多郡阿井村大

第四類 ○土木費

- 一 大田道
石見國瀨摩郡靜間村地内温泉津道分レヨリ安濃郡大田村大字大田及邑智郡船淵澤谷ノ駒村ヲ經テ出雲國飯石郡赤名村大字下赤名ニテ備後道ニ接スル迄
- 一 三瓶道
石見國安濃郡大田村大字大田長門道分レヨリ牛尾通リ全郡川合村佐比賣村ヲ經テ邑智郡澤谷村大字石原ニテ大田道ニ接スル迄
- 一 大森道
石見國瀨摩郡温泉津村字下市ヨリ全郡大森村及邑智郡川本村出羽村大字淀原ヲ經テ全郡田所村大字上田所國境迄
- 一 邑智道
石見國那賀郡今市村大字今市安藝道分レヨリ全郡和田村及邑智郡日貫村矢上村ヲ經テ全郡田所村大字下田所ニテ大森道ニ接スル迄
- 一 出羽道
出雲國飯石郡赤名村大字上赤名備後道分レヨリ邑智郡谷村郡賀行村郡賀村阿須那村ヲ經テ出羽村大字久喜國境迄
- 一 温泉津道
石見國安濃郡波根西村長門道分レヨリ瀨摩郡温泉津村ヲ經テ那賀郡都治村ニテ長門道ニ接スル迄
- 一 郡野津道
石見國那賀郡郡野津村長門道分レヨリ全郡跡市村及邑智郡長谷村那賀郡和田村大字重富ヲ經テ全郡都川村大字都川ニテ安藝道ニ接スル迄
- 一 外ノ浦道
石見國那賀郡濱田町大字新町長門道分レヨリ同町大字松原ヲ經テ全町大字淺井金刀比羅神社前横溝迄
- 一 長濱道
石見國那賀郡長濱村長門道分レヨリ全郡杵束村ヲ經テ美濃郡二川村大字宇津川ニテ郡茂道ニ接スル迄
- 一 波佐道
石見國那賀郡石見村大字黒川長門道分レヨリ全郡波佐村大字長田國境迄
- 一 湊道
石見國那賀郡岡見村長門道分レヨリ全郡西湊村ヲ經テ全郡大麻村大字折居ニテ長門道ニ接スル迄

- 一 跡市道
石見國那賀郡有福村大字大倉長門道分レヨリ邑智郡市山村大字市山及全郡船淵村大字船淵安濃郡佐比賣村大字志學出雲國飯石郡志々村ヲ經テ全郡波多村大字波多ニテ備後道ニ接スル迄
- 一 岡崎道
石見國美濃郡都茂村大字九茂郡茂道分レヨリ那賀郡西隅村大字矢原全郡黒澤村大字下古和全郡岡崎村ヲ經テ全郡西湊村湊港迄
- 一 郡茂道
石見國美濃郡豊川村大字久々茂益田道分レヨリ全郡都茂村及二川村大字宇津川ヲ經テ道川村國境迄
- 一 高津道
石見國美濃郡高津村大字須子長門道分レヨリ全郡全村大字高津ヲ經テ全郡二條村大字上黒谷國境迄
- 一 益田道
石見國美濃郡吉田村大字中ノ島ヨリ益田町ヲ經テ全郡匹見上村大字匹見國境迄
- 一 飯浦道
石見國美濃郡高津村大字高津高津道分レヨリ全郡小野村大字飯浦國境迄
- 一 津和野道
石見國鹿足郡本節村大字中山國境ヨリ全郡津和野町大字後田及森村ヲ經テ全郡藤木村大字田野原國境迄
- 一 左鏡道
石見國鹿足郡日原村長門道分レヨリ全村大字左鏡ヲ經テ全郡柿木村大字柿木ニテ津和野ニ接スル迄
- 一 北方道
隱岐國周吉郡西郷中町角ヨリ西町通リ穩地郡北方村字外濱迄
- 一 浦郷道
隱岐國周吉郡西郷西町ニテ北方道分レヨリ穩地郡津戸村海士郡豊田村福井村知夫郡宇賀村ヲ經テ全郡浦郷字中原小路入口橋際迄
- 一 津戸道
隱岐國周吉郡上西村藏見橋北方道分レヨリ穩地郡都方村字釜屋ヲ經テ全郡津戸村ニテ浦郷道ニ接スル迄

- 一 伯太川 出雲國能義郡井尻村大字市中屋字一乘寺頭須山福富川落合ヨリ全郡母里村大字京母里横堤迄片側
- 一 意字郡 出雲國意字郡熊野村若松川落合ヨリ全郡岩坂村大字日吉字切通迄
- 一 赤川 出雲國大原郡大東村大字大東村字大橋源ヨリ全郡加茂村大字加茂中町上橋堤及全郡神原村大字宇治橋堤迄
- 一 莊原船川 出雲國出雲郡莊原村大字下莊原字町後ヨリ宍道湖ヨリ入ル迄
- 一 平田船川 出雲國橋本郡平田町字大橋ヨリ宍道湖ヨリ入ル迄
- 一 横田川 出雲國仁多郡島上村大字竹崎字透谷川及全村字上井手川落合ヨリ全郡横田村大字横田村字下叶原及全村字馬頭ノ下ヲ迄
- 一 下横田川 出雲國仁多郡八川村大字下横田字土橋及全村字宮ノ前ヨリ横田川ヨリ入ル迄
- 一 大馬木川 出雲國仁多郡馬木村大字大馬木大津川小津川落合ヨリ全村字女良木川落合及全村字塚原後口迄
- 一 乙立川 出雲國神門郡乙立村大字乙立字坂根見通ヨリ字中島見通迄
- 一 八幡原川 出雲國神門郡窪田村大字一窪田字善光庵及乙立村大字八幡原字和江島ヨリ字梁瀬及字西前迄
- 一 田儀川 出雲國神門郡田儀村大字奥田儀字宮本谷川落合ヨリ海ヨリ入ル迄
- 一 三瓶川 石見國安濃郡大田村大字大田字長谷川落合ヨリ靜間川ヨリ入ル迄
- 一 靜間川 石見國安濃郡川合村大字川合字中原及全村瓜坂ヨリ海ヨリ入ル迄
- 一 八戸川 石見國邑智郡長谷村大字八戸字松原井手下ヨリ全郡市山村大字市山字古市及全郡全村大字江尾字砂口迄
- 一 波佐川 石見國那賀郡波佐村大字波佐字溝下橋際ヨリ全村落谷川落合迄

- 一 下府川 石見國那賀郡上府村字竹ヶ原新橋原ヨリ海ヨリ入ル迄
 - 一 出羽川 石見國邑智郡出羽村大字出羽大橋際ヨリ海ヨリ入ル迄
 - 一 濱田川 石見國那賀郡石見村大字黒川三宮社前見通ヨリ海ヨリ入ル迄
 - 一 三隅川 石見國那賀郡西隅村大字河内ヨリ海ヨリ入ル迄
 - 一 益田川 石見國美濃郡豐川村大字久々茂字堂河内見通ヨリ海ヨリ入ル迄
 - 一 白上川 石見國美濃郡中西村大字白上字瀧根及全村大字川登字横尾瀧ヨリ高津川ヨリ入ル迄
 - 一 吉賀川 石見國鹿足郡六日市村大字六日市字鹿足河内川落合ヨリ津和野川落合迄
 - 一 津和野川 石見國鹿足郡津和野町大字慈原字關門外及桂川落合ヨリ全郡全町大字後田字鏡砲町見通迄
- 第二條 第一種ニ屬スル費用ハ總テ地方税ヨリ支辨シ第二種ニ屬スル航路河川ノ費用ハ其一等ハ十分ノ七其二等ハ十分ノ四道路ノ費用ハ改修工事ニ限リ十分ノ五以内地方税ヨリ補助スルモノトス
- 但第二種航路河川ノ工事ニシテ著大ノ工費ヲ要スルトキハ特ニ其補助額ヲ増減スルコトアルヘシ
- 第三條 第二種ニ屬スル道路中長十間幅一間半以上ノ橋梁ハ改築費ニ限リ工費十分ノ三ヲ地方税ヨリ補助スルモノトス
- 第四條 國郡界標里程標以上國郡支辨ノモノヲ除ク道路河川種別界標深標道路河川看守等ノ經費ハ種別ノ如何ヲ問ハス地方税ヨリ支辨スルモノトス
- 但縣廳ニ於テ施設スルモノニ限ル
- 第五條 第一種道路河川並ニ第二種河川コシテ改築變更修繕疏浚ヲ要スルトキ該區域ニ關係スル場所ニシテ區域内ト均シク改築變更修繕疏浚ヲ要スル場合ニ於テハ該區域外ニシテ支辨若シハ補助スルコトアルヘシ
- 第六條 種別外ノ道路ト雖モ改修ニ限リ其工費ノ十分ノ三以内地方税ヨリ補助スルコトアルヘシ
- 第七條 第一種第二種ニ屬スル河川水防ノ經費ハ別ニ定ムル規則ニヨル

第四類 ○土費木

第八條 第二種道路橋梁ノ修繕及種別外道路橋梁海湖川用悪水路池種管堰球等ノ工事ト雖モ非常天災ニ罹
 リ著大ノ工費ヲ要スルトキハ特ニ地方税ヨリ補助スルコトアルヘシ

第九條 地方税ヲ以テ支辨若クハ補助スルハ縣廳ニ於テ必要ト認メタルモノニ限ル

第十條 前條々ニ相當スルモノト雖モ地方税ノ費途多端ナル場合ニテハ支辨若クハ補助ヲ中止スルコト
 アルヘシ

●島根縣令第五十七號 明治二十七年八月十七日

明治二十六年二月島根縣令第二十號地方税土木費及市町村土木補助費支出規則中第二條但書河川ノ下ニ及橋梁
 (附則)ノ六字追加及第三條ヲ左ノ如ク更正シ本年九月一日ヨリ施行ス

第三條 第二種道路ニ屬スル橋梁ニシテ改築(道路改修工事ニ附屬ス)ヲナストキハ左ノ區分ニ依リ地方税ヨリ其
 工費ヲ補助スルモノトス

- 一 長十間以上幅一間半以上ハ工費十分ノ三
- 一 長二十間以上幅一間半以上ハ工費十分ノ五
- 一 長三十間以上幅一間半以上ハ工費十分ノ七

●告示第百一號 明治二十年六月六日

明治十二年六月甲第百十四號布達第一種道路ノ部左ノ箇所ハ自今新道線ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 本廳ヨリ濱田ニ至リ夫ヨリ津和野ヲ經テ長門國徳佐村ニ至ル線路中意宇郡福富村ヨリ全郡布志名村迄
 神門郡下鹽治村ヨリ安濃郡波根東村迄那賀郡下府村ノ内ヨリ全郡濱田マテ美濃郡益田本郷ノ内ヨリ全
 郡橋田村迄鹿足郡寺田村ノ内ヨリ長門國境迄
- 一 本廳ヨリ宍道村ヲ經テ赤名通リ備後國横谷村ニ至ル線路中意宇郡宍道村ヨリ大原郡宇治村迄及飯石郡
 上赤名村地内

●告示第百四十九號 明治二十二年十一月二日

明治二十一年二月縣令第二十六號土木費及町村土木補助費支出規則中左ノ箇所ハ自今新道線ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 長門道ノ内意宇郡湯町村大字湯町村ヨリ全郡宍道村大字宍道村マテ
- 一 全上ノ内那賀郡江津村大字郷田地内渡船場ヨリ全郡濱田町地内三重橋際迄
- 一 全上ノ内鹿足郡青原村大字青原地内新道近分レヨリ全郡小川村大字寺田地内第一種道路ニ接スルマテ

●告示第百六十九號 明治二十二年十二月十三日

明治二十一年二月縣令第二十六號土木費及町村土木補助費支出規則中第一種長門道ノ内安濃郡波根西村ヨリ全
 郡大田村大字吉永字柳ヶ坪舊道接續箇所迄新道線ヲ以テ之レニ充ツ全上安藝道ハ改修工事全部竣功セシム付
 自今總シテ新道線ヲ以テ之レニ充ツ

●島根縣告示第十六號 明治二十四年二月二十六日

明治二十三年三月縣令第三十九號土木費及町村土木補助費支出規則中左ノ箇所ハ自今新道線ヲ以テ之ニ充ツ

石見國那賀郡淺利村ノ内市街入口舊道接續箇所ヨリ全村地内渡津村境舊道近分レ迄

●島根縣告示第四十六號 明治二十四年五月十五日

明治二十四年三月縣令第五十號土木費及町村土木補助費支出規則長門道中左ノ箇所ハ自今新道線ヲ以テ之ニ充
 ツ

石見國那賀郡大麻村大字西村地内(周布村大字治和界)ヨリ同國同郡西湊村大字西河内(岡崎村界)マテ及美濃
 郡鎌手村大字木部地内

●島根縣告示第五十二號 明治二十四年六月二十日

明治二十四年三月縣令第五十號土木費及町村土木補助費支出規則長門道中左ノ箇所ハ自今新道線ヲ以テ之ニ充
 ツ

石見國遷摩郡入利村大字市原ヨリ全郡大森村字櫻橋東詰舊道接續箇所マテ

●島根縣告示第九十九號 明治二十四年十月十三日

●第四類 ○土木費

第廿三年訓令
第廿四年訓令
第廿五年訓令
第廿六年訓令
第廿七年訓令
第廿八年訓令
第廿九年訓令
第卅年訓令

明治二十四年三月島根縣令第五十號土木費及町村土木補助費支出規則長門道中左ノ箇所ハ自今新道線ヲ以テ之ニ充ツ

出雲國意宇郡宍道村大字佐々布^{宍道村大字}ヨリ全國神門郡今市町大字今市村^{下地治境}マテ

●島根縣告示第百十八號 明治二十四年十一月十四日

石見國那賀郡濱田町市街^{三重橋際}ヨリ以西全部

●島根縣訓令第九十六號 明治廿六年九月二十日

第二種道路橋梁河川堤防修繕工事地方稅補助費豫算ハ每年五月九月ノ二期ニ割合下付ス

但實際ノ狀況ニ依リ此期節ニ拘ラス特ニ下付スル事アルヘシ

明治二十五年四月島根縣訓令第六十三號ハ廢止ス

土地

●訓令第二百三十二號 明治二十二年十二月廿八日

島 縣 郡役所 市役所
戶長役場 町村役場

但明治十二年七月第三十二號及十七年十月第五十七號連十九年十一月訓令第七十九號ハ廢止ス

一 地籍ハ毎年十二月三十一日ノ現在ヲ以テ別紙書式ニ據リ
一 島根縣役所ハ其郡地籍ヲ編纂シ六月二十日該縣廳ヘ差出スヘシ
一 道路敷反別ハ國道縣道一等二里道上ヲ區別シタル取調書ヲ製シ地籍ニ添附差出スヘシ

(表紙) 何國何郡(何市町)明治何年地籍

△郡地籍ニハ町村ノ數市村地籍ニハ大字及ヒ字ノ數ヲ表紙ノ裏面ヘ記載スヘシ
△表中米線ノ上ヲ以テ筆數ハ千位反別ハ町位トスヘシ
△用紙美濃トス若シ他紙ヲ用フルモ美濃紙ノ寸法ヲ準トスヘシ

地種	官		有		地		目	筆	數	方	積	前年比較方積
	御	陵	墓	地	神	社						
地	御	火	御	陵	官	幣	計	△	△	△	△	△
	火	葬	墓	附	幣	社						
種	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地	地
	地	地	地	地	地	地						

●第四類 ◎土地 ○地籍

地 有														
沼	池	用 惡 水 路	溝 渠	海 灘 地	濱 地	畦 畔	宅 地	畑	田	林				
										計	風 致 林	雜 木 林	土 砂 扞 止 林	用 材 林

官						官有地			官有地						
山						小	地	用	官	小	計	小	計	村 社 地	
計	風 致 山	榮 草 山	雜 木 山	用 材 山	土 砂 扞 止 山										水 源 涵 養 山

●第四類 ○土地 ○地籍

官有		種											
學校敷地	師範學校敷地 中學校敷地	小計	塵捨場	獸畜死屍埋沒場	籠牛馬捨場	墓	堂宇敷地	公園	舊跡地	名所地	城寨	倉庫敷地	荒地

五七三

第三														
竹	秣	揭	溝	河	堤	道	附	物	波	崖	井	河	湖	澤
		示	沿	沿			寄	揚	止	岸	戶			
林	場	場	地	地	塘	路	洲	場	場	地	地			

五七二

●第四類
◎土地
○地籍

地 有												
寺 院 敷 地	病 院 敷 地	學 校 敷 地	神 社 地			林			山			
			小 社 地	村 社 地	鄉 社 地	計	雜 木 林	禁 伐 林	用 材 林	計	石 斫 山	柴 草 山

五七五

民										合	地 第 四 種			
土 砂 打 止 山	水 源 涵 養 山	用 材 山	計	濱 地	宅 地	畦 畔	畑	田	計		小 計	病 院 敷 地	寺 院 敷 地	地 計

五七四

種														
計	獸畜 死屍 燒棄 場	獸畜 死屍 埋沒 場	斃牛 馬 捨 場	火葬 場	塵捨 場	石捨 場	岩敷 地	崖岸 地	鑛泉 地	冷泉 地	溫泉 地	水車 場	物置 場	物干 場

第													
波止 場	井戶 敷 地	溝渠	沼	池	海	試作 地	荒蕪 地	原野	竹林	牧場	捐示 場 敷 地	鄉 敷 地	堂宇 敷 地

明治二十二年^{十一月}訓令第二百三十二號地籍編纂書式中左ノ變更正ス

民有地第一種崖岸地ノ次へ左ノ地目ヲ挿入ス

岩敷地

石捨場

塵捨場

火葬場

猪牛馬捨場

獸畜死屍埋沒場

獸畜死屍燒棄場

傳染病者吐瀉物埋沒場

傳染病者排泄物燒棄場

民有地第二種中左ノ地目ヲ刪除ス

石捨場

火葬場

傳染病者吐瀉物埋沒場

傳染病者排泄物燒棄場

猪牛馬捨場

獸畜死屍埋沒場

獸畜死屍燒棄場

塵捨場

島根縣訓令第四十六號 明治二十五年三月十九日

島 郡役所 市役所

明治二十二年^{十一月}訓令第二百三十二號地籍編纂書式民有地第一種中傳染病者吐瀉物埋沒場傳染病者排泄物燒棄場及民有地第二種中井戸敷地ノ三地目ヲ刪除ス

●訓令第二百三十三號 明治廿二年十二月廿八日

島 郡役所

那地籍編纂方左ノ通心得可

那地籍編纂心得

一 那地籍編纂ハ毎年戸長役場町村役場ヨリ差出シタル地籍ヲ點檢シ其官有地ハ臺地ニ照合シ精數ノ調査ヲ遂ク民有地ハ收稅部出張所調ノ地租表及附屬ノ諸表ニ吻合スルヲ要ス尤左項ノ如キハ吻合セサルニ付其理由等詳記シタル書面ヲ地籍ニ添附差出スモノトス

一 十二月ニ於テ無稅地ヲ有稅地ニ變換スルトキハ其賦稅翌年一月ニ在ルヲ以テ之レ吻合セサル例ナリ
一 地籍上地目ヲ分別スルト雖モ實際内孕地ノ如キ地租表ニ於テ元地目ニ租入ル、モノ之レ亦吻合セサル例ナリ

●訓令第二百二十四號 明治二十三年五月七日

島 郡役所

明治二十二年^{十一月}訓令第二百三十三號那地籍編纂心得末項中(實際内孕地ノ如キ)ノ八字ヲ削除ス

●訓令第二百三十四號 明治廿二年十二月廿八日

島 郡役所 市役所
戸長役場 町村役場

官有地臺帳ヲ備置キ異動ノ都度訂正ス

●訓令第九號 明治二十三年一月十六日

●第四類 ◎土地 ○地籍

第三十訓令
第二百二十四號
號参照

民有地ヲ官有地ニ編入スル場合ニ於テハ自今其地種地目ヲ定メ所在戸長役場又ハ町村役場ニ訓令候條其令書ニ據リ官有地臺帳ヘ登記スヘシ

官有森林原野

訓令第八十五號 明治廿三年四月五日

島 廳 郡役所 市役所
戸長役場 町村役場

自今官林地ニ異動ヲ生セトキハ其旨市長戸長町村長ヨリ届出ツヘシ
●島根縣訓令第六十七號 明治二十五年十一月七日

山林原野ニシテ民有ヨリ官有ニ轉シタルトキ又ハ官有ニ係ルモノ、掘下ヲ掘出ツルモノアルトキハ前者ニ就テハ地種組換ノ訓令ヲ受ケタル日以後者ニ就テハ願書ヲ受理シタル日ヨリ十日以内ニ立竹木ノ數目ヲ調査シ左ノ書式ニ據リ上申スヘシ

官有山林原野立竹木調査表

郡	町村	大字	字	地番	反	別	用材尺ノ數	薪炭材樹數	竹	致

備考
用材ハ尺ノ本數、薪炭材ハ樹數、仰子木ノ長三尺ニシテ高六尺、竹ハ束數ニ三尺繩ノ一ヲ調査スヘシ

官有土地水面處分

●甲第二百號 明治九年六月九日

道路敷地貸渡ノ儀ニ付内務省ヨリ達ノ趣モ有之是迄差許シ有之分ヲ除キ外自今往來障害有無ニ拘ハンス處附卸シ並日仮屋ノ類ハ勿論堤防上建家等ニ至迄新シニ貸渡候儀ハ一切不調相候等ニ候條此旨可相心得事
右之通管内無洩相違スルモノ也

●甲第三百四十二號 明治九年十月廿三日

社寺領上地之儀ハ原山取調ニ據進々處分相濟居候處萬一上申漏之分有之候ハ、本年十二月五日限無延滞取調可差山右期限ヲ過申出候分ハ假令何等之事故及ヒ確證等有之候共一切採用不組成旨其筋ヨリ達有之候條此旨可相心得事
右之通管内無漏相違スルモノ也

●丙第二百八十七號 明治十年十二月十四日

道路敷地貸渡之儀ニ付内務省ヨリ達ノ趣モ有之是迄差許シ有之分ヲ除キ外自今往來障害有無ニ拘ハンス處付卸シ並ニ貸地住居ハ勿論堤防上建家等ニ至マテ新シニ貸與候儀ハ一切不相成候條此旨可相心得事
●丁第五十號 明治十一年七月九日

沿海各區戸長

凡ソ官地ヲ所用セント欲スルモノハ出願ノ上拜借可致ハ勿論之處砂濱ノ如キニ至テハ約千船位等ノ爲メ無願圖ヒ場等構造セルモノ有之哉ニ相聞不都合ニ候條右小屋等ヲ營々カ爲メ所用致度モノハ夫々拜借可願出此旨沿海湖村浦ヘ可相達事
●甲第六十一號 明治十六年六月廿九日
自今官地使用ヲ要スル地坪之儀市街ハ厘位在村ハ步止メニシテ其位數未滿ノ端歩ハ總テ切捨算定ス可シ

●第四類 (官有森林原野) (官有土地水面處分)

丈量ノ一里ハ六尺ノ百分一即チ六分算上ハ尤全地一步ニ滿テサルモノハ厘位ヲ以テ積算ス可シ此旨布達候事
但已ニ貸渡シ濟ノ分ハ引直スニ及ハヌ滿季繼續出願之際訂正ス可シ

●甲第二十四號 明治十九年二月廿四日

官有ノ川敷溝敷寄洲川沿地等ハ拂下ケ又ハ貸下ケテ許サス從前既ニ貸下ケタルモノハ其期ヲ限リ若許候條滿期ニ際シ返付ノ儀届出ヘシ

但物揚場等公益上ニ使用スルモノ及熟田畑ニシテ治水ニ妨害アル構造又ハ樹竹ノ栽培ヲナサ、ルモノハ貸下ケルコトアル可シ

右布達候事

●甲第六十七號 明治十九年五月十一日

本年ニ本縣甲第二十四號ヲ以官有ノ川敷其他拂下ケ又ハ貸下ケテ許サ、ル旨及布達候處捕魚場ニモ結構等ノ構造ヲナサス水利及通船ノ害ナキ位置ニ單ニ網留メ竹木ヲ建ルニ止マル如キモノ其他製氷諸興行等ノ爲メ一時使用スルモノ及河岸地ノ類ニシテ水防ノ保護充分ニ整頓シタル箇所等ハ詮議ノ上貸下ケ又ハ使用ヲ差許スコトアルヘシ此旨布達候事

●島根縣令第六十七號 明治廿六年七月廿九日

明治十九年五月本縣甲第六十七號布達中「結構等ノ構造ヲナサス水利及通船ノ害ナキ位置ニ單ニ網留メ竹木ヲ建ツルニ止マル如キ」トアル三十八字ヲ「水利通船等ニ妨害アル構造ヲ爲サ、ル」ト十七字ニ更正ス

●訓令第八十號 明治十九年十一月十九日

本年本訓令第六十二號郡長委任條件中第五第七兩項ニ係ル取扱手續左ノ通相定ム

- 一 官地拜借人所有ノ建物書入費及買取費與ノ與書ヲ願出ルモノアルトキハ貸地費帳ニ照合シ明治十年一月第六號及全訓令第三十八號布告ニ基キ甲號書式ニヨリ與書ヲ爲シ公証簿ニ封印シタル上下渡スヘシ

郡 役 所

(甲號書式)

番號

郡役所
印

前書宅地反別若干何年何月ヨリ何年何月マテ何年間官地貸地ニ相違無之候也

年月日

何郡長 姓 名 印

- 一 官地拜借及使用ヲ願出ルモノアルトキハ明治十八年八月甲第二百二十八號布達官有地貸渡規則ニ照シ向川敷溝敷川沿地等ハ全十九年甲第二十四號全五甲第六十七號布達ノ旨趣ニヨリ實地検査ノ上反別及類地比較地價額並所用ノ實況障礙ノ有無等詳細取調乙號書式ニヨリ検査表ヲ製シ願書ニ副差出スヘシ
- 一 捕魚採藻ノ爲水面場區借用ヲ願出ルモノアルトキハ明治八年十一月第二百九十五號布達告全年甲第二百二十四號全五甲第六十七號布達ノ旨趣ニヨリ實地検査ヲ遂ケ水利通船ノ妨害ハ勿論其材浦及隣接同業者故障ノ有無ヲ糾シ委詳願書ニ副申スヘシ
- 一 官地ニアル土石堀採願ハ明治十年十一月內務省甲第二十一號布達ニ照シ實地検査抗物代價ノ當否其他障礙ノ有無等取調前項同様取計ヘシ

(乙號書式)

官有地拜借(使用)願地検査表

郡村籍

願人 姓 名

(連帶出願ノ分ハ其人名列記スヘシ)

地名	地種	目	使用事故	反別	類地比較	全反歩	當上	拜借	願期
何郡何村	官有地第何種	地	何	若干	若干	若干	若干	何年何月何年迄何年	又何月何月何月迄何年

●第四類 ○官有土地水面處分

右地所拜借(使用)願出候ニ付送檢査候處何等故障無之候也
(故障アルモノハ其事由ヲ詳記スヘシ)

年月日

知事宛

何郡長 姓 名 印

訓令第七十四號 明治廿一年十二月廿三日

郡役所

堤防使用ノ義本年滿期後繼續使用ノ差許サ、ル等ノ處實際水防上ニ障害ナキ舊慣ノ場所ニシテ不得止事由アルモノハ常分ノ内繼續使用ヲ差許ス事アルヘシ

告示第九十四號 明治二十二年六月二十六日

地所拂下々渡ノ許可ヲ與ヘタルトキハ實地受取方(拂下ハ代金)所在市役所戸長町村役場へ申出ツ可シ
訓令第二百二十七號 明治二十二年六月廿六日

島 郡役所 市役所

町村役場 戸長役場

地所拂下又ハ下渡ノ許可ヲ得タルモノ及ヒ上地買上地等實地受取方申出タルトキハ其証(拂下ハ代金)ヲ見認メ然ル後(隣接地主)授受シ市戸長町村長ハ直ニ授受ノ年月日ヲ届出ツ可シ

但明治十七年十一月乙卯百七十五號全十九年四月乙卯四十二號達ハ廢止ス
訓令第九十四號 明治二十二年十月十六日

郡役所 市役所

國庫收入ニ關セサル官地貸渡料使用料徵收及其不納者處分並官地拂下代徵收手續左ノ通相定ム
但明治十九年十一月訓令第七十七號ハ之ヲ廢止ス
郡役所市役所ニ於テハ官地貸渡料使用料徵收手續左ノ通相定ム

本項但書ハ
一 第六百五十一
一 第六百五十二
一 第六百五十三
一 第六百五十四
一 第六百五十五
一 第六百五十六
一 第六百五十七
一 第六百五十八
一 第六百五十九
一 第六百六十

一 貸渡料使用料ハ官有地貸渡規則ニ據リ其納額ニ於テ之ヲ徵收シ徵收後七日以内ニ成規ノ手續ヲ以テ其額ヲ發シ送納スヘシ

但市町村費主擔ノ借地ニ係ル料金ハ成規ノ通處分シ左ノ様式(町費ノ分ハ甲表、市費ノ分ハ乙表)ニ依リ一周年度取締毎
年五月末日限報告スヘシ

一 貸渡料使用料ヲ本人納期內ニ納メサルトキハ直ニ返地セシメ保証人ヨリ其料金ヲ徵收スヘシ保証人ニ於テ尙完納セサルトキハ法衙ノ審判ヲ受ケ其額未定ニ開申ス可シ

一 官地拂下代金ハ其命令ノ期日ニ於テ之ヲ徵收シ徵收後七日以内ニ成規ノ手續ヲ以テ其額ヲ發シ送納ス可シ
訓令庶第二九二號 明治二十二年十一月十一日

島 郡

官地貸渡料使用料徵收及其不納者處分並官地拂下代徵收手續左ノ通相定ム

一 但國庫收入ニ係ルモノハ其額ニ於テ直ニ金庫ニ納附スヘシ

一 島廳ニ於テハ官地貸渡料使用料徵收手續左ノ通相定ム

一 貸渡料使用料ハ官有地貸渡規則ニ據リ其納額ニ於テ之ヲ徵收シ徵收後七日以内ニ成規ノ手續ヲ以テ其額ヲ發シ送納ス可シ

但町村費主擔ノ借地ニ係ル料金ハ成規ノ通處分シ左ノ様式ニ依リ一周年度取締毎
年五月末日限報告スヘシ

一 貸渡料使用料ヲ本人納期內ニ納メサルトキハ直ニ返地セシメ保証人ヨリ其料金ヲ徵收スヘシ保証人ニ於テ尙完納セサルトキハ法衙ノ審判ヲ受ケ其額未定ニ開申ス可シ

一 官地拂下代金ハ其命令ノ期日ニ於テ之ヲ徵收シ徵收後七日以内ニ成規ノ手續ヲ以テ其額ヲ發シ送納ス可シ

本項但書ハ
一 第六百五十一
一 第六百五十二
一 第六百五十三
一 第六百五十四
一 第六百五十五
一 第六百五十六
一 第六百五十七
一 第六百五十八
一 第六百五十九
一 第六百六十

第四類 ○官有土地水面處分

一 官沒地公賣代金及貸渡料ニシテ官沒ノ當時地租地方稅備荒儲蓄會町村費運帶不納ニ係ルモノハ其不納額ニ應シ夫々該經濟ニ分收町村費不納額ニ充ツル分配 地方稅及備荒儲蓄會ノ收入スヘキモノハ分收仕庫費相副送納ス可シ若シ拂下代金元不納額ニ不足スルトキハ第一ニ地租第二ニ地方稅ノ欠額ヲ引去リ殘餘アラハ順次其他ノ欠額ニ充ツヘシ

●縣令第八十三號 明治二十三年十二月十九日

明治二十二年六月縣令第九十六號水面埋立規則ヲ廢止シ水面埋立出願手續キ左ノ通定ム

一 水面埋立ヲ爲サントスルモノハ左ノ事項ヲ書寫シ埋立位置並區域四隣地々目ヲ明記シタル圖面ヲ添付ス可シ

埋立ノ目的 埋立ノ方法 着手ノ期限 成功ノ期限

一 既ニ免許ヲ與ヘタル後天災事變ノ爲メ期限内ニ着手若クハ成功シ難キ事情アルモノハ其事由ノ止ミタル後二ヶ月内ニ延期ノ儀願出ヘシ

一 大土工ニハ埋立方法書ノ外精密ナル設計書ト圖面ヲ添付ス可シ

一 埋立成功ノ上ハ實測圖面相添下渡ノ儀直ニ願出可シ

一 願書ハ町村役場及郡役所又ハ市役所若クハ戶長役場島廳ヲ經由ス可シ

●島根縣令第五十七號 明治二十四年四月二十七日

明治二十二年八月縣令第一百十一號官有地貸渡規則左ノ通更正ス

官有地貸渡規則

第一條 官有地ヲ借用セント欲スル者ハ別紙書式ノ願書ニ實地ノ圖面ヲ添ヘ出願スヘシ借地人ニ於テ使用ノ目的ヲ變更セントスルトキハ其事由ヲ具シテ更ニ許可ヲ請フヘシ

第二條 借地料金ハ評價委員ヲシテ評價セシメ競争ニ附スル者ハ最多額ニ據リテ之ヲ定ム

第三條 借地ノ許可ヲ受ケタル者ノ地所受取方ハ左ノ各項ニ據ルヘシ

第一項 新ニ借地ノ許可ヲ得タルモノハ市長戶長町村長ハ土地ノ引渡ヲ申出ヘシ

第二項 市長戶長町村長ニ於テ前項ノ申出ヲ受ケタルキハ實地ニ於テ境界坪數等取調ノ上之ヲ引渡スヘシ

第四條 借地人土地ヲ受取リタル上ハ借地ノ期限使用ノ地目反別及自己ノ姓名ヲ明記シタル適宜ノ標杭ヲ建設スヘシ

第五條 借用期限滿期ニ至リ尙ホ繼續借用セント欲スル者ハ滿期以前ニ出願スヘシ

第六條 借地人借地ヲ返還スルトキハ左ノ各項ニ據ルヘシ

第一項 借地ヲ返還セントスル者ハ市長戶長町村長ニ申出テ實地ヲ引渡スヘシ

第二項 市長戶長町村長ニ於テ前項ノ申出ヲ受ケタルキハ實地異狀ナキヲ認メタル上之ヲ受取リ其旨直ニ届出ツヘシ

第三項 借地期限内ニ於テ借地人自己ノ都合ニ據リ土地ヲ返還セントスルトキハ其事由ヲ明記シテ届出ツヘシ

第七條 借地人滿期ニ至ルモ尙ホ返還ノ申出ヲ爲ササルトキハ市長戶長町村長ハ期限後五日以内ニ土地返還ヲ命ジ第六條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 借地期限中ト雖モ官ノ必要アルトキハ豫メ期日ヲ設ケ返地セシムルコトアルヘシ

第九條 借地料ヲ不納若クハ屢々上納期限ヲ愆ツ者ハ返地ヲ命スルコトアルヘシ

第十條 借地人ニ於テ借地料ヲ上納セサルトキハ保証人ヨリ之ヲ辨納セシム

第十一條 借地料徵收期ハ左ノ各項ニ據ル

第一項 年ヲ以テ設定シタル借地料ハ甲年四月ヨリ乙年三月迄ヲ一期トシ甲年四月中ニ徵收ス

第二項 甲年五月ヨリ乙年三月迄ノ間ニ於テ新ニ借地ノ許可セントキハ其許可シタル月ニ於テ乙年三月迄ノ分ヲ徵收ス

第三項 月又ハ日ヲ以テ設定シタル借地料ハ許可ノ日ヨリ三十日以内ニ徵收ス

●第四類 ○官有土地水面處分